

SATO

DCS & Labeling Worldwide

株式会社 サトー

<http://www.sato.co.jp>

Barlabe *Ki*

フリーモード
操作説明書



Barlabe *Ki*

フリーモード操作説明書

はじめに

このたびは、当社ラベルプリンタBarlabeKi（バーラベKi）をお買い求めいただきまして、まことに、ありがとうございます。

本書は、BarlabeKi（以下、本プリンタと記述）フリーモードの操作方法について、説明しております。

BarlabeKiの『取扱説明書』をよくお読みいただき、本書をご覧ください。

Bluetooth 仕様または無線 LAN 仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく認証を受けた無線機器が搭載されています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本製品を分解／改造すること
- ・本製品に貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。



Bluetooth

“Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。

弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店へご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他権利の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

目次

第1章	BarlabeKiフリーモードの概要	4
	フリーモード発行のしくみ	5
	操作画面の構成	8
	用紙について	10
第2章	フィールドパラメータ	12
	フィールドパラメータについて	13
	フィールドパラメータ設定内容	14
第3章	ラベルを発行する	32
	漢字・カナ・記号の入力方法について	32
	項目名の入力方法について	40
	パラメータ登録と用紙設定について	42
	価格総額表示の設定について	60
	フォーマットを作ってみましょう	67
	初期設定をしましょう	72
	ラベルを発行してみましょう	73
第4章	プリセット	74
	プリセットを使ってみましょう	75
	プリセットデータの登録	77
	プリセットデータの発行	78
	プリセットデータの変更	79
	プリセットデータの削除	80
	プリセットデータのダンプ発行	81
第5章	テーブル	82
	漢字テーブルの登録	83
	漢字テーブルの変更	84
	漢字テーブルの削除	85
	漢字テーブルのダンプ発行	86
	添加物テーブルの登録	88
	添加物テーブルの変更	89
	添加物テーブルの削除	90

添加物テーブルのダンプ発行	91
店名テーブルの登録	93
店名テーブルの変更	94
店名テーブルの削除	95
店名テーブルのダンプ発行	96

第6章 プリンタを使いこなす 97

PCカードを使う	97
プリセットとテーブルデータの転送	99
印字パラメータデータの転送	108
パラメータのバックアップ（コピー）	116
共通データ管理ソフトを使ったデータメンテナンス	118
ユーザーメンテナンスモードについて	130
無線LANインタフェース設定モードについて	133
Bluetoothインタフェース設定モードについて	138
賞味期限（日付・時間加算）の印字	140
添加物テーブルのデータ入力について	142
店名テーブルのデータ入力について	145
別途記載機能について	146
日付の一時変更機能について	148
発行の一時停止／再発行について	150
バーコード検索発行について	151

第7章 エラーが発生したとき 152

第8章 オンライン発行 154

1. 表現方法	155
2. コマンド構成	156
3. シリアルインタフェース	162
4. 無線LANインタフェース	168
5. Bluetoothインタフェース	174

付録 179

文字コード表	179
パラメータ定義表	190
印字位置目安表	191
データ格納件数	192
基本仕様	193

第1章 Barlabekiフリーモードの概要

フリーモードの概要について説明します。

フリーモードでは、印字するレイアウトや文字・バーコードを自由に設定し、ラベルに印字することができます。

印字レイアウトや文字・バーコードの種類、入力方法などの設定は、フィールドパラメータと呼ばれ、登録モードで、あらかじめ設定します。

繰り返し発行するようなデータをプリンタ本体又はPCカード（オプション）に登録し、そのデータを呼び出すことで、簡単に発行できる機能もあります。（プリセット機能と呼ばれます）

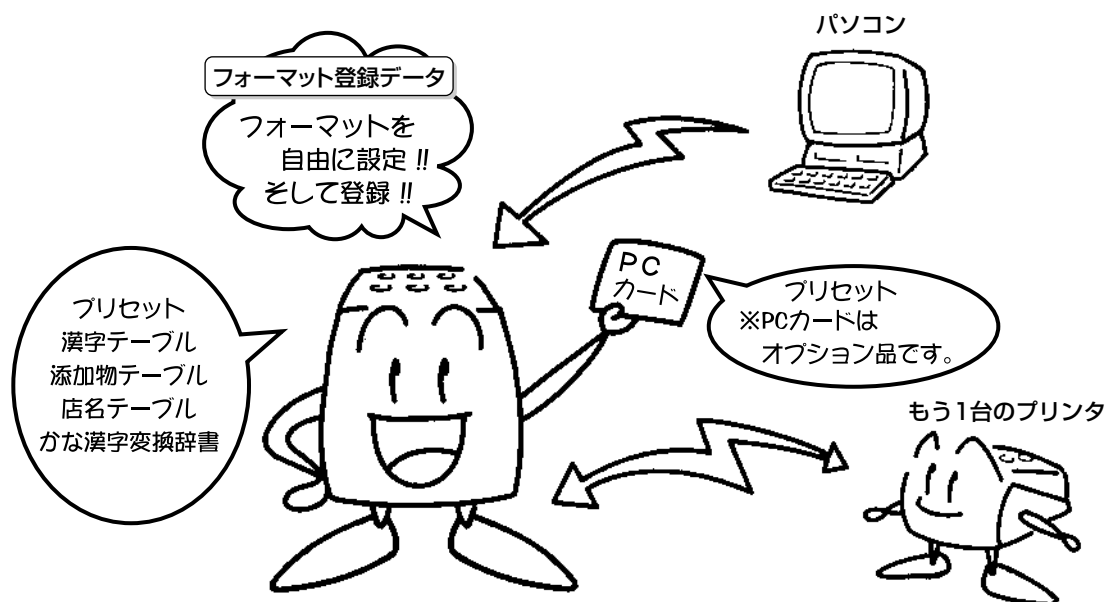
入力装置として、スキャナを接続することもできます。

本プリンタの操作は、発行モード、登録モード、メンテナンスモードに分かれます。

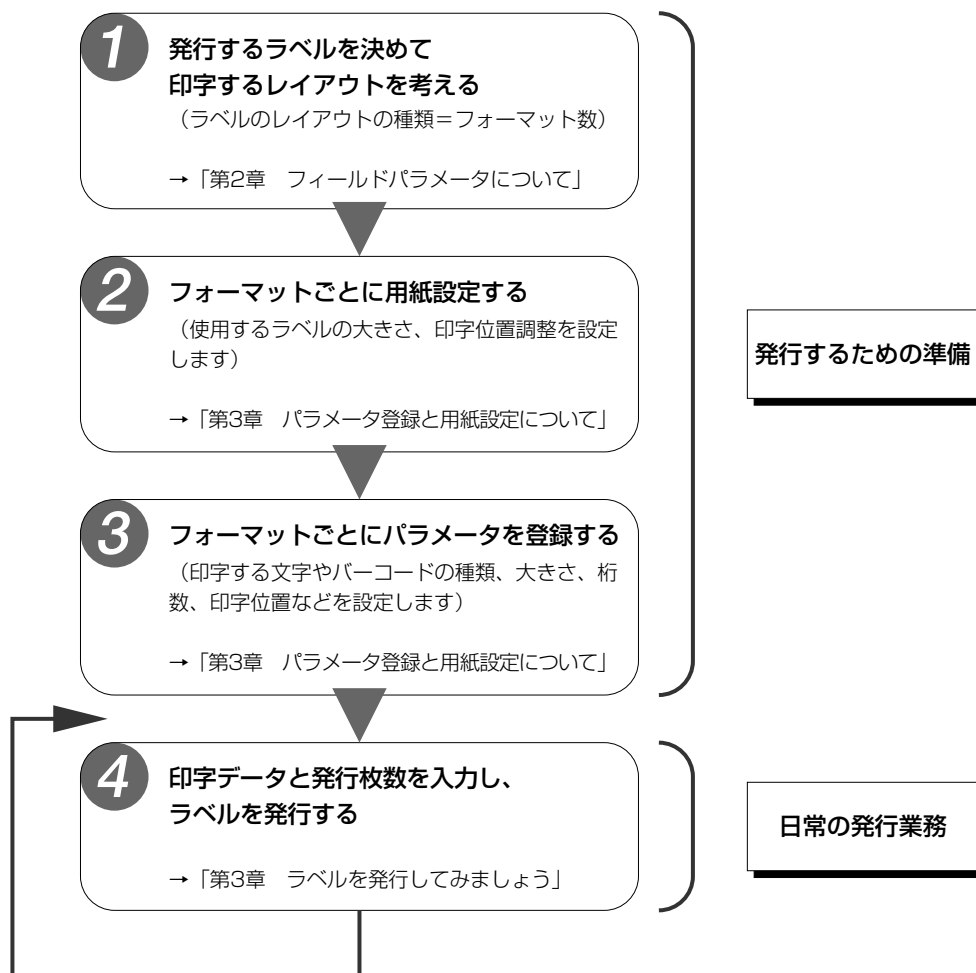
発行モード：マニュアル発行
プリセット発行
オンライン発行

登録モード：フォーマット登録・変更
プリセット登録・変更
テーブル登録・変更

メンテナンスモード：ユーザーメンテナンス
データメンテナンス



フリーモード発行のしくみ



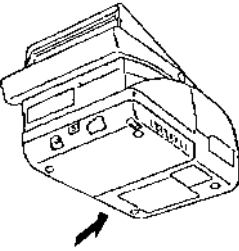
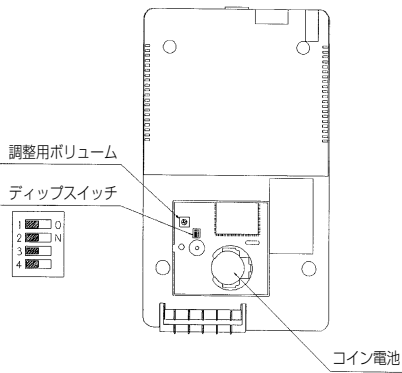
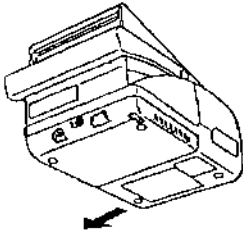
本機をはじめて使うときは

はじめて本機を使用するときは、プリンタ本体に取り付けられているディップスイッチの設定を固定モードからフリーモードに変更します。

フリーモードに変更する前に必ず、「メモリクリア」という操作を行います。この処理を行わないと正しく動作しないことがありますので、必ず行ってください。

重要 すでにデータが登録されているときは、登録済みのデータがすべて抹消されますのでご注意ください。固定モード・フリーモードの併用はできませんのでご注意ください。

ディップスイッチの設定を変更する



1

プリンタ底面にあるふたを取り外します。

2

コイン電池の左にあるディップスイッチの2をONにします。
購入時のディップスイッチの設定は、1,2,3OFF、4ONになっています。

3

ディップスイッチの設定を確認後、取り外したふたをプリンタ底面に取り付けます。

フリーモードに設定する



重要 固定モードのデータは全てクリアされますのでご注意ください。



参考 フィールド数の設定により、登録できるプリセットデータ件数が異なります。「付録 データ格納件数」をご覧ください。



参考 フリーモードのオンラインで使用する場合、フィールド数の設定に関係なく、30フィールドの設定になります。

1

電源スイッチをONにします。

2

DSWの設定が
違います
メモリアして下さい

ディップスイッチの設定を変更すると表示します。
(登録)を押します。

3

メモリア?
Yes No
全て消去します

(←)を押して、カーソルを「Yes」にあわせませ。
(登録)を押します。

4

フィールド数選択
10 20 30

(←)(→)を押してフィールド数を選び、(登録)を押すとメモリアします。

5

プリセット登録先
カード 本体

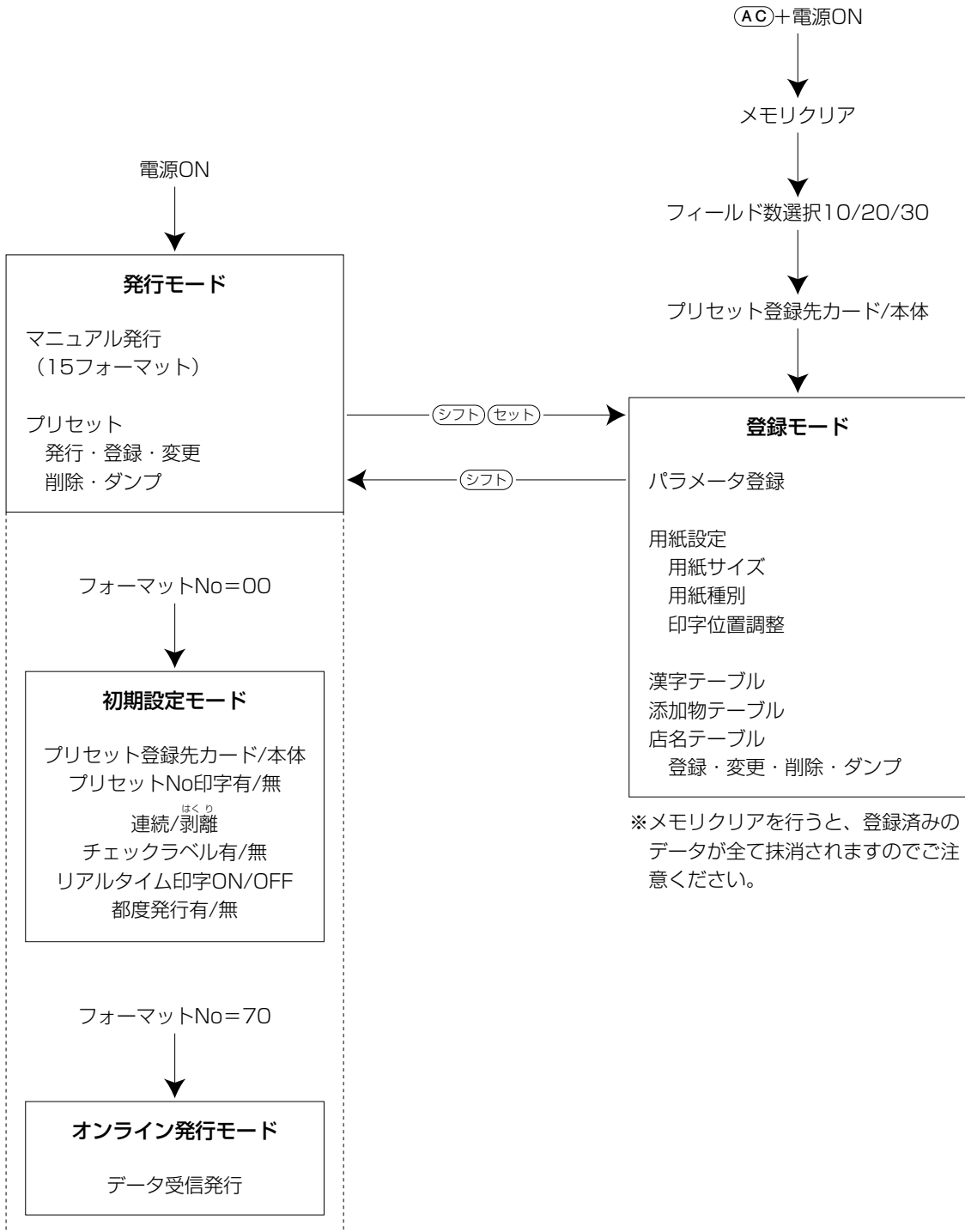
(←)(→)を押してプリセット登録先を選び、(登録)を押します。

6

フォーマットNo 数
[]
フリーモード (30)

フリーモードの設定は終了です。
画面に設定したフィールド数を表示します。

操作画面の構成



③+電源ON



- ユーザーメンテナンスモード**
- ①印字濃度 (5段階)
 - ②印字速度 (80/60)
 - ③オートパワーオフ設定
 - ④起動画面設定
(マニュアル/オンライン)
 - ⑤通信設定
(通信速度: 4800/9600/
19200、パリティ、発行通知有無)
 - ⑥フォーマット固定の設定
 - ⑦カレンダー設定
 - ⑧カレンダー時変更の設定
 - ⑨ヘッドチェック機能の設定
(ヘッドチェック有/無、
標準/バーコード)
 - ⑩キー入力音設定
 - ⑪モード設定
 - ⑫通信種別の設定
(RS232C/無線LAN
/Bluetooth)
 - ⑬LCD節電設定

⑥+電源ON



- データメンテナンスモード**
- ①カードクリア (1/10)
(データ登録用/バックアップ用)
 - ②プリセットデータと (2/10)
テーブルデータの転送 (通信)
プリンタ⇔プリンタ
 - ③バックアップカードコピー (3/10)
プリンタ⇔カード
 - ④印字パラメータの転送 (通信) (4/10)
プリンタ⇔パソコン
 - ⑤プリセットデータの転送 (通信) (5/10)
プリンタ⇔パソコン
 - ⑥漢字テーブルの転送 (通信) (6/10)
プリンタ⇔パソコン
 - ⑦添加物テーブルの転送 (通信) (7/10)
プリンタ⇔パソコン
 - ⑧店名テーブルの転送 (通信) (8/10)
プリンタ⇔パソコン
 - ⑨プリセットデータと (9/10)
漢字テーブルの転送 (通信)
HT200⇔プリンタ
 - ⑩プリセットデータと (10/10)
漢字テーブルの転送 (通信)
BarlabeK⇔プリンタ

⑨+電源ON

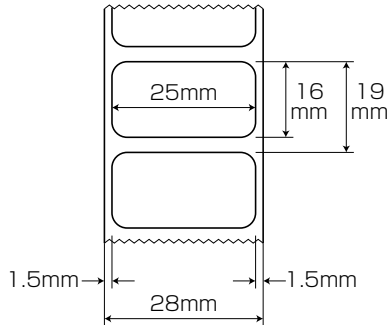


- サービスマイネンテナスモード**
- ①テスト印字
 - ②バッテリーチェック
 - ③メモリ電池チェック
 - ④カード電池チェック
 - ⑤ROM NO、漢字辞書、フォント
バージョン表示
 - ⑥日付チェック機能の設定
詳しくは、「取扱説明書 第8章
本機の状態をチェックする」を
ご覧ください。

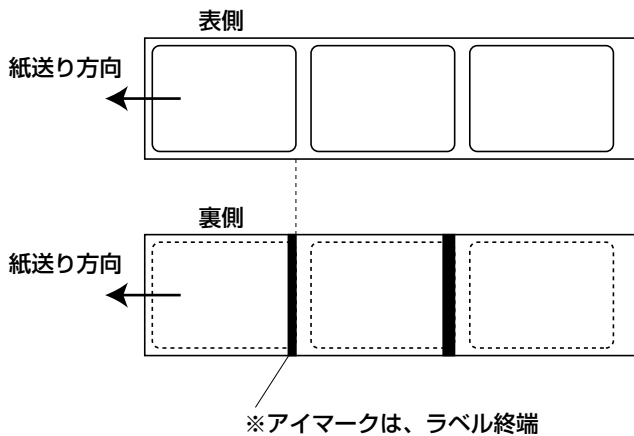
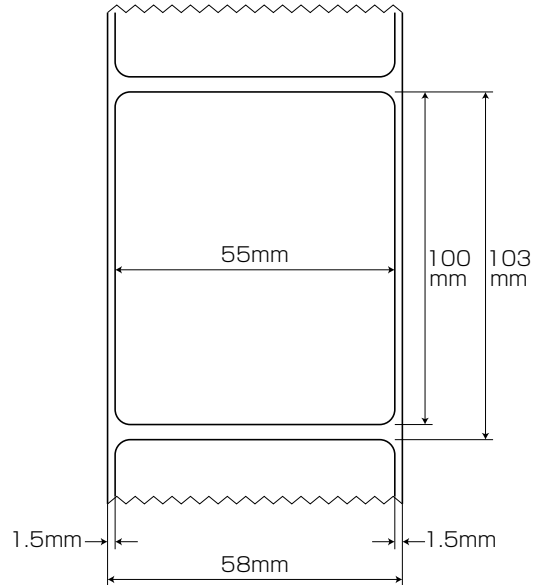
用紙について

●カス取りラベル

●最小サイズ



●最大サイズ



●ヒットカットラベル

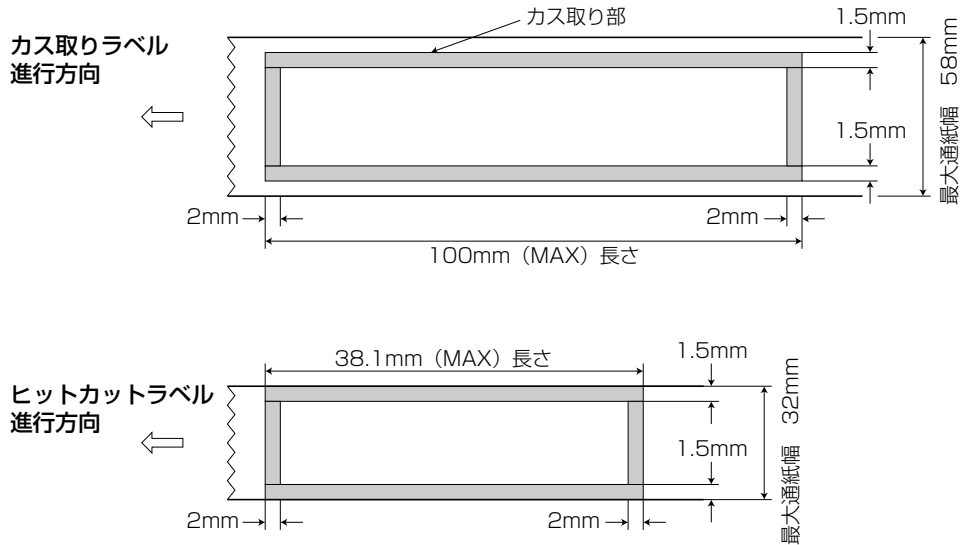
ラベルサイズは4種類限定です。

P16×W32mm	P20.3×W32mm
P25.4×W32mm	P38.1×W32mm

※アイマークはラベルサイズにより異なります。

用紙の最大印字有効範囲について

最大印字領域は幅48mm×ピッチ96mm（384ドット×768ドット）。
用紙の最大通紙幅は、幅58mm。



※ラベルサイズは4種類限定となります。

 は印字不可領域

重要

用紙の上下2mm、左右端1.5mmは印字不可領域です。

ただし、最大印字幅が48mmのため、通紙幅51mm以上のカス取りラベルでは、左右端の印字不可領域が1.5mmより大きくなる場合があります。

バーコード印字では、左右5mm以上の余白が必要です。

第2章 フィールドパラメータ

フィールドパラメータについて説明します。

フィールドパラメータとは

本プリンタは、どの大きさのラベルに、どのような文字や数字、バーコードをどういうレイアウトで作りたいかデザインし、自由に設定できますが、この設定したデータをフィールドパラメータと呼びます。

このフィールドパラメータにしたがって、ラベルを印字します。

フィールドパラメータによってデザインする印字レイアウトは、フォーマットと呼ばれ、本プリンタ内に、15種類まで登録することができます。

1フォーマット内で使用するフィールド数を30、20、10の何れかを指定することができます。

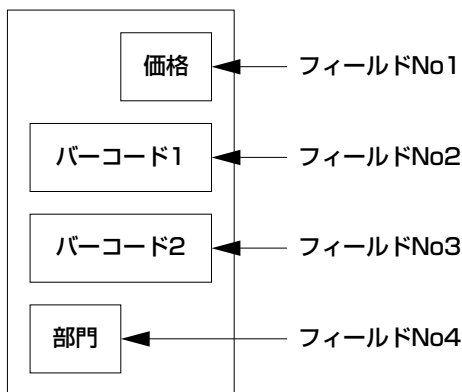
ただし、1フォーマットの内では発行枚数フィールドが必要となるため、印字フィールドとして設定可能なフィールド数は設定したフィールド数より1フィールド少なくなります。

1フォーマット内で使用するフィールド数を変更することで、登録できるプリセットデータ件数が異なります。

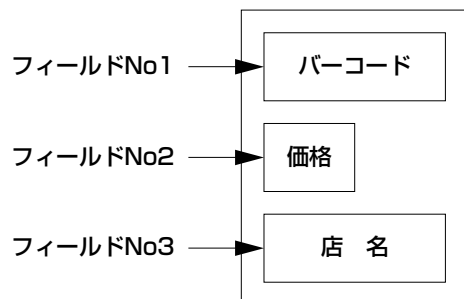
「付録 データ格納件数」をご覧ください。

フォーマットとフィールドの考えかた（例）

フォーマットNo1（ラベルA）



フォーマットNo2（ラベルB）



この例では、ラベルAに印字するレイアウトをフォーマットNo1とし、ラベルBに印字するレイアウトをフォーマットNo2としています。

そして、ラベルAに印字する価格、バーコード1、2、部門の各項目をフィールドNo1～4としています。

ラベルAは、フォーマット1・フィールド1～4のフィールドパラメータを設定します。

ラベルBは、フォーマット2・フィールド1～3のフィールドパラメータを設定します。

フィールドパラメータについて

本プリンタのフィールドパラメータは、このような構成になっています。

大項目	フィールド指定	印字指定	入力チェック指定	コピー指定
桁位置	1~2	3~15	16~21	22~30

フィールド指定

これから設定するフィールドは、何を印字したいのか設定する項目です。
(価格、バーコード、漢字など)

印字指定

どんな種類の文字やバーコードを、どの位置に何桁印字したいのか設定する項目です。
(文字種、縦位置、横位置、文字数など)

入力チェック指定

データ入力時、どのようなチェックをしたいのか設定する項目です。
(入力検査、チェックデジットなど)

コピー指定

データコピーを行う場合のコピー方法を設定する項目です。
(コピー方法、コピー先など)



フィールドパラメータは、プリセット登録を行うときも基準となる重要なデータです。
プリセットデータ登録後に、印字パラメータの内容を大きく変更した場合は、すでに登録したデータを削除し、もう一度登録する必要がありますので注意してください。

フィールドパラメータ設定内容

1. フィールド指定

フィールド指定は、これから設定するフィールドの利用方法を指定する項目です。
フィールド指定の設定によって、印字指定～コピー指定で設定する内容が違います。

フィールド指定		文字種
1桁目	2桁目	
1：通常	0：通常	0：X1 1：X2 2：X3 4：OB 5：価格文字 6：POP1 7：POP2 8：POP3
	2：連番	0：X1 1：X2 2：X3 4：OB
2：価格	0：通常	0：X1 1：X2 2：X3 5：価格文字
	1：POP	0：POP1 1：POP2 2：POP3
	2：本体価格フィールド 3：税額フィールド	0：X1 1：X2 2：X3 5：価格文字
3：カレンダー	0：日付	1：X2 2：X3
	1：時間	
5：漢字	0：テーブル印字	0：16×16 1：22×22
	1：漢字直接入力	
	4：QRコード	
6：グラフィック	0：グラフィック印字	
7：バーコード	0：解説文字無し	0：NW-7 1：CODE39 2：INT2of5
	1：解説文字付き	3：JAN13 4：JAN8 5：UPC-E
		6：CODE128（Bセット/制御符号を除く）
		7：CODE128（Cセット/制御符号を除く）
9：UPCアドオン		
8：QRコード	0：QRコード	
0：機能フィールド	0	0：発行枚数

※桁位置の2桁目が「0」の項目は0固定です。

※フィールド指定の《通常》は価格やカレンダーのように入力制限や、データの加工を行わないことです。



本プリンタでフィールドパラメータを設定するときは、設定する桁位置、指定内容の値は意識せずに、画面上で設定項目を選択できるようになっています。

詳しくは、「第3章 パラメータ登録と用紙設定について」をご覧ください。

2. 通常フィールドの設定

フィールド指定で、"10：通常"を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	10：通常
3	文字種	0：X1文字（20×50ドット） 1：X2文字（8×20ドット） 2：X3文字（13×21ドット） 4：OB文字（20×24ドット） 5：価格文字（16×24ドット） 6：POP1（28×48ドット） 7：POP2（48×68ドット） 8：POP3（26×56ドット）
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位） ^{※注} 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位） ^{※注}
10	回転	0：パラレル1 1：シリアル1 2：パラレル2 3：シリアル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位） ^{※注}
12、13	文字数	01～32：桁数
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率（POPIは1～3倍）
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率（POPIは1～3倍）
入力チェック指定		
16	入力検査	0：チェックなし 2：未入力禁止 5：数字のみ入力 6：数字全桁必須入力 7：数字のみで、0、未入力禁止
17	タイトル表示指定	0：タイトルとして表示しない 1：プリセット発行時、このフィールドをタイトルとして最初に表示する （1フォーマット1フィールドのみ） タイトル表示指定を1フォーマット内で複数指定した場合、最後に指定したフィールドのタイトルが表示されます。
18	予備	0固定
19	0補填	0：0補填しない 1：コピーのときに右詰め0補填する（例：1入力→001）
20	プリセット入力指定	0：プリセット発行時入力なし（プリセット発行時、表示なし） 1：プリセット発行時入力あり（プリセット発行時、表示あり） ただし、固定データを全桁入力すると表示されません。
21	予備	0固定

※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

フィールド指定で、以下の指定を行ったときのコピー機能設定について説明します。

"10：通常	12：通常・連番"
"20：価格	21：価格POP"
"50：漢字・漢字テーブル	51：漢字・直接入力"
"70：バーコード・解説なし	71：バーコード・解説あり"

コピー指定		
桁位置	指定項目	指定内容
22	コピー	0：コピー機能なし 1：コピーを出す 2：コピーを受ける
		以降は、「1：コピーを出す」に指定したときのみ有効
23、24	コピー先1	01～29：コピー先のフィールド番号
25、26		01～32：コピー先の桁位置
27、28	コピー先2	01～29：コピー先のフィールド番号
29、30		01～32：コピー先の桁位置

※「第2章 パラメータの補足説明 2.」を参照してください。

3. 連番フィールドの設定

フィールド指定で、「12：通常・連番」を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	12：通常・連番
3	文字種	0：X1文字（20×50ドット） 1：X2文字（8×20ドット） 2：X3文字（13×21ドット） 4：OB文字（20×24ドット）
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注
10	回転	0：パラレル1 1：シリアル1 2：パラレル2 3：シリアル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注
12、13	桁数	01～08：桁数
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率
入力チェック指定		
16	入力検査	6：数字全桁必須入力
17	連番機能	1：加算連番（+1） 2：減算連番（-1）
18	予備	0固定
19	予備	0固定
20	プリセット入力指定	0：プリセット発行時入力なし（プリセット発行時、表示なし） 1：プリセット発行時入力あり（プリセット発行時、表示あり）
21	予備	0固定

※「第2章 パラメータの補足説明 6.」を参照してください。

※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

4. 価格フィールドの設定

フィールド指定で、"20：価格" "21：価格POP"を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容	
1、2	フィールド指定	20：価格	21：価格POP
3	文字種	0：X1文字（20×50ドット） 1：X2文字（8×20ドット） 2：X3文字（13×21ドット） 5：価格文字（16×24ドット）	0：POP1文字（28×48ドット） 1：POP2文字（48×68ドット） 2：POP3文字（26×56ドット）
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注1 000：入力のみで印字しないフィールド	
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注1	
10	回転	0：パラレル1 1：シリアル1	2：パラレル2 3：シリアル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注1	
12、13	文字数	01～07：桁数 ※「¥」「[、」は含みません。	
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率（POPは1～3倍）	
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率（POPは1～3倍）	
入力チェック指定			
16	入力検査	5：数字のみ入力 6：数字全桁必須入力 7：数字のみで、0、及び、未入力禁止	
17	予備	0固定	
18	表現方法	0："¥"、"、"なし 先頭スペースあり 5："、"付き、"¥"なし 1："¥"付き、"、"なし 6："¥"、"、"なし 先頭スペースなし 2："¥"、"、"付き 7："、"付き、"¥"なし 先頭スペースあり	
19	0補填	0：0補填しない 1：コピーのときに右詰め0補填する（例：1入力→001）	
20	プリセット入力指定	0：プリセット発行時入力なし（プリセット発行時、表示なし） 1：プリセット発行時入力あり（プリセット発行時、表示あり）	
21	未入力時の印字指定	1：未入力、または0入力時、"¥0"を印字しない。 0：未入力、または0入力時、"¥0"を印字する。	

※注1 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

5. 本体価格／税額フィールドの設定

フィールド指定で、“22：本体価格フィールド” “23：税額フィールド”を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	22：本体価格フィールド 23：税額フィールド
3	文字種	0：X1文字（20×50ドット） 1：X2文字（8×20ドット） 2：X3文字（13×21ドット） 5：価格文字（16×24ドット）
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注1 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注1
10	回転	0：パラレル1 2：パラレル2 1：シリアル1 3：シリアル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注1
12、13	文字数	01～07：桁数（「¥」は含みません）
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率
入力チェック指定		
16、17	予備	0固定
18	表現方法	0：“¥”、“”、“なし 先頭スペースあり 5：“”、“付き”、“¥”なし 1：“¥”付き、“”、“なし 6：“¥”、“”、“なし 先頭スペースなし 2：“¥”、“”、“付き 7：“”、“付き”、“¥”なし 先頭スペースあり
19、20	予備	0固定
21	未入力時の印字指定	1：未入力、または0入力時、“¥0”を印字しない。 0：未入力、または0入力時、“¥0”を印字する。
22、23	コピー元フィールド	01～29：フィールド（運用フィールドにより異なります）
24～30	予備	0固定

※注1 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

注意

- 本フィールドでは、総額表示テーブルの印字は行いません。
- 総額表示テーブル印字は、漢字フィールドで別途設定してください。
- コピー元フィールドは、価格フィールド限定になります。他のフィールドからコピー受けできません。
- 本フィールドは、価格フィールド（20、21）が設定されている場合のみ設定可能です。

6. カレンダーフィールドの設定

フィールド指定で、「30/31：カレンダー」を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容															
1、2	フィールド指定	30：カレンダー・日付 31：カレンダー・時間															
3	文字種	1：X2文字（8×20ドット） 2：X3文字（13×21ドット）															
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注1 000：入力のみで印字しないフィールド															
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注1															
10	回転	0：パラレル1 2：パラレル2 1：シリアル1 3：シリアル2															
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注1															
12、13	文字数	01～11：桁数															
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率															
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率															
入力チェック指定																	
16	入力検査	5：数字のみ入力（17桁目が8のときに設定可能） 6：数字全桁必須入力 7：数字のみで、0、未入力禁止（加算ありのときは、6か7を選択）															
17	加算機能	0：加算なし 3：加算ありで別途記載機能対応 1：加算する 8：日付を手入力する 2：加算なしで別途記載機能対応															
18	表現方法	日付フィールド <table border="1"><tr><td>0： 01. 12. 24</td><td>3： 01年12月24日</td></tr><tr><td>1： 2001. 12. 24</td><td>4： 2001年12月24日</td></tr><tr><td>2： 13. 12. 24</td><td>5： 13年12月24日</td></tr></table> ※注2 時間フィールド <table border="1"><tr><td>0：5：30</td><td>23：05</td><td>(24時間表現)</td></tr><tr><td>1：AM5：30</td><td>PM11：05</td><td>(AM、PM表現)</td></tr><tr><td>2：午前5時30分</td><td>午後11時05分</td><td>(午前、午後表現)</td></tr></table> 「第2章 パラメータの補足説明 5.」を参照してください。	0： 01. 12. 24	3： 01年12月24日	1： 2001. 12. 24	4： 2001年12月24日	2： 13. 12. 24	5： 13年12月24日	0：5：30	23：05	(24時間表現)	1：AM5：30	PM11：05	(AM、PM表現)	2：午前5時30分	午後11時05分	(午前、午後表現)
0： 01. 12. 24	3： 01年12月24日																
1： 2001. 12. 24	4： 2001年12月24日																
2： 13. 12. 24	5： 13年12月24日																
0：5：30	23：05	(24時間表現)															
1：AM5：30	PM11：05	(AM、PM表現)															
2：午前5時30分	午後11時05分	(午前、午後表現)															
19	予備	0固定															
20	プリセット入力指定	0：加算指定フィールドのとき、プリセット発行時入力なし 1：加算指定フィールドのとき、プリセット発行時入力あり															
21	予備	0固定															

※注1 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

※注2 西暦/和暦表示

0： 1： 3： 4：は西暦を表し、2： 5：は和暦を表します。

7. 漢字フィールドの設定

フィールド指定で、“50/51：漢字”を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	50：漢字テーブル印字 51：漢字変換による直接入力
3	文字種	0：漢字（16×16ドット） 1：漢字（22×22ドット）
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注1 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注1
10	回転	0：パラレル1 2：パラレル2 1：シリアル1 3：シリアル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注1
12、13	文字数	01～16：桁数※注2
14	縦拡大	1～4：文字の縦方向の拡大倍率
15	横拡大	1～4：文字の横方向の拡大倍率
入力チェック指定		
16	入力検査	0：チェックなし 2：未入力禁止
17	テーブル種類	0：指定なし（漢字変換入力） 3：添加物テーブルを利用 1：漢字テーブル1を利用 5：店名テーブルを利用 2：漢字テーブル2を利用
18	予備	0固定
19	予備	0固定
20	プリセット入力指定	0：プリセット発行時入力なし 1：プリセット発行時入力あり
21	別途記載機能	0：なし 1：別途記載対応として印字する（漢字変換入力時のみ） ※1 指定時、コピー機能は指定できません。

※注1 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

※注2 文字数

漢字直接入力、漢字テーブル1、漢字テーブル2では、文字数の設定が必要となります。

添加物テーブル、店名テーブルでは、文字数の設定はなく、改行桁数の設定が必要となります。

「フィールド指定」で“添加物テーブル”、“店名テーブル”を選択したとき、コピー機能の登録エリアを使用します。

①添加物フィールドの場合*1

桁位置	指定項目	指定内容
22、23	改行桁数	01～50：桁数*2
24、25	改行ピッチ	00～99：行間隔（ドット単位）*注1
26	スペース種類	0：「空白」 1：「、」 2：「・」 3：「.」 4：スペースなし
27～30	予備	0固定

②店名フィールドの場合

桁位置	指定項目	指定内容
22、23	改行桁数	01～30：桁数*2
24、25	改行ピッチ	00～99：行間隔（ドット単位）*注1
26	店名テーブル種別	0：店名 1：住所 2：電話番号 3：メモ
27	店名コピー*3	0：コピー機能なし 1：コピーを出す 2：コピーを受ける 以降は、“1：コピーを出す”に指定したときのみ有効
28	店名コピー先1	01～29：コピー先のフィールド番号
29	店名コピー先2	01～29：コピー先のフィールド番号
30	店名コピー先3	01～29：コピー先のフィールド番号

※注1 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

※1 添加物フィールドは、2フィールド分の領域を使用します。

※2 改行桁数は、添加物フィールド、店名フィールドで設定が必要となります。

また、設定できる桁数は項目によって異なります。

添加物テーブル : 50桁

店名テーブル（店名） : 20桁

（住所） : 30桁

（電話番号） : 20桁

（メモ） : 20桁

※3 店名フィールド指定時のコピー機能は、店名テーブルに登録した店名・住所・電話番号・メモを“コピーを出す”、“コピーを受ける”を指定して、同じテーブル番号のデータを設定することができます。

8. 漢字フィールド（QRコード）の設定

フィールド指定で、「54：漢字フィールド（QRコード）」を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	54：漢字フィールド（QRコード）
3～22	予約	0：固定
23、24	コピー先1	01～29：コピー先のフィールド番号
25、26		01～32：コピー先の順番（コピーされるデータの順位）
27、28	コピー先2	01～29：コピー先のフィールド番号
29、30		01～32：コピー先の順番（コピーされるデータの順位）

※コピーに関しては、「第2章 パラメータの補足説明 8.」を参照してください。

※QRコードのデータ入力に関しては、「第3章 ラベルを発行する - 文字の入力方法 - ③全角／半角文字混在入力編」を参照してください。

注意

- 漢字フィールド（QRコード）を使用することで、全角／半角混在入力が可能となります。ただし、本フィールドを使用することで、8フィールド分をQRコードのデータとして使用します。
- 本フィールドは、必ずQRコードフィールドとペアで使用してください。単独で使用することはできません。

9. グラフィックフィールドの設定

フィールド指定で、“60：グラフィック”を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	60：グラフィック
3	予備	0：固定
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注
10	回転	0：パラレル1 2：パラレル2 1：シリアル1 3：シリアル2
11	予備	0：固定
12、13	予備	0：固定
14	予備	0：固定
15	予備	0：固定
入力チェック指定		
16	入力検査※1	0：チェックなし 2：未入力禁止
17	予備	0：固定
18	予備	0：固定
19	予備	0：固定
20	プリセット 入力指定	0：プリセット発行時入力なし 1：プリセット発行時入力あり
21	予備	0：固定



入力検査でチェックなしを選択し、発行時未入力とした場合、無印字となります。
 チェックなしを選択し、未登録の番号を入力した場合、無印字となります。
 入力検査で未入力禁止を選択し、発行時未入力した場合、“データが未登録です”を表示し、再入力となります。
 未入力禁止を選択し、未登録の番号を入力した場合、入力可とし、無印字となります。

使用可能なグラフィック番号

グラフィック番号	印字内容	画面表示
01	ブラマーク（サイズ6×6mm）	ブラ6×6
02	ブラマーク（サイズ10×10mm）	ブラ10×10
11	紙マーク（サイズ6×6mm）	紙6×6
12	紙マーク（サイズ10×10mm）	紙10×10

※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

10. バーコードフィールドの設定

フィールド指定で、"70/71：バーコード"を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	70：バーコード解説文字なし 71：バーコード解説文字あり
3	文字種	0：NW-7 1：CODE39 2：INT2of5 3：JAN13/UPC-A/EAN13 4：JAN8 5：UPC-E 6：CODE128（Bセット/制御符号を除く） 7：CODE128（Cセット/制御符号を除く） 9：UPCアドオンコード
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）※注 000：入力のみで印字しないフィールド
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）※注
10	回転	0：パラレル1 2：パラレル2
11	文字間	0～9：文字の間隔（ドット単位）※注 ※解説文字ありのとき、解説文字の文字間
12、13	文字数	01～24：桁数 ※「第2章 パラメータの補足説明 4.」を参照してください。
14	バー比率	0：無効（JAN、UPC-E、CODE128） 1：1：2 2：1：2.5 3：1：3
15	細バー幅	2L(0.25mm) 3L(0.375mm) 4L(0.5mm) バー比率1：2.5は2Lと4Lのみ
入力チェック指定		
16,17,18	バー天地	001～240：バー天地をドットで指定します。
19	チェックデジット	0：C/Dなし 1：C/D生成（自動計算） ※CODE128は1のみ 2：C/D照合（入力データと照合） 3：価格C/D付き（JAN13の場合のみ）
20	プリセット入力指定	0：プリセット発行時入力なし（プリセット発行時、表示なし） 1：プリセット発行時入力あり（プリセット発行時、表示あり）
21	スキャナ入力	0：スキャナ読み取りなし 1：スキャナ読み取りあり（スタート/ストップコードもデータとする） 2：スキャナ読み取りあり（スタート/ストップコードを除いて、データとする）

※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。



バーコード検索発行機能を使用する場合は、「第6章 バーコード検索発行について」をご覧ください。

UPCアドオンコードについて

※UPCアドオンコードの前部であるJAN13/UPC-A/EAN13コードと、UPCアドオンコードとの印字情報の関連付けはありませんので、それぞれのバーコードの印字設定を行い、セットで印字します。これにより、UPCアドオンコードのスキヤンが可能になります。なお、セットのバーコードが印字設定されていない場合でも、UPCアドオンコードの印字は行われます。

※文字数（12、13桁）は「02」か「05」で指定してください。それ以外の文字数を入力した場合印字されません。

※バー比率（14桁）は固定のため無効となりますので「0」を指定してください。それ以外の値を入力しても比率は固定となります。

※チェックデジット（19桁）は「0」（C/Dなし）を指定してください。それ以外の設定値を入力した場合印字されません。

11. QRコードフィールドの設定

フィールド指定で、「80：QRコード」を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	80：QRコードフィールド
3	予備	0：固定
4、5、6	縦位置	016～784：印字の縦位置（ドット単位）
7、8、9	横位置	001～384：印字の横位置（ドット単位）
10	回転	0：パラレル1 1：シリアル1 2：パラレル2 3：シリアル2
11	区切り文字	0：なし 1：.（半角） 2：空白（半角） 3：改行（CR/LF）
12、13	連結モード分割数	01：通常モード（分割なし） 02～16：連結モード分割数
14	セルー辺のサイズ	2,3：セルー辺のサイズ（ドット単位）
15	誤り訂正レベル	0：L 1：M 2：Q 3：H
16～30	予備	0：固定

※コピーに関しては、「第2章 パラメータの補足説明 8.」を参照してください。

注意

- QRコードの種類はモデル2です。漢字、数字、カタカナ、英文字をデータとして使用できます。
- QRコードフィールドは入力機能がありません。コピー受けのみとなります。
- QRコードのデータ数は、最大224バイト（漢字のみの場合112文字、半角のみの場合224文字）となります。
- QRコードのデータ数とエラーコレクションレベルによって、QRコードのバージョンが自動的に変わります。最大バージョン16（81×81セル）まで対応しています。
- 連結モードを設定した場合、QRコード間隔は4セル分固定となります。
- QRコードのスキヤン読み取り機能はありません。

12. 発行枚数フィールドの設定

フィールド指定で、"00：発行枚数"を指定したときの設定について説明します。

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	00：発行枚数のフィールド
3～15	予備	すべて0固定
16	カウント	ハクリモードでの枚数カウント方法を指定します。 0：入力された枚数分、ラベルを発行 1：枚数指定がなく、自由に発行
17～30	予備	すべて0固定



最後のフィールドは、発行枚数フィールドにするため、「フィールド指定=00」に設定してください。
(例：フィールド1～3を設定したときは、フィールド4は発行枚数フィールドに設定します。)

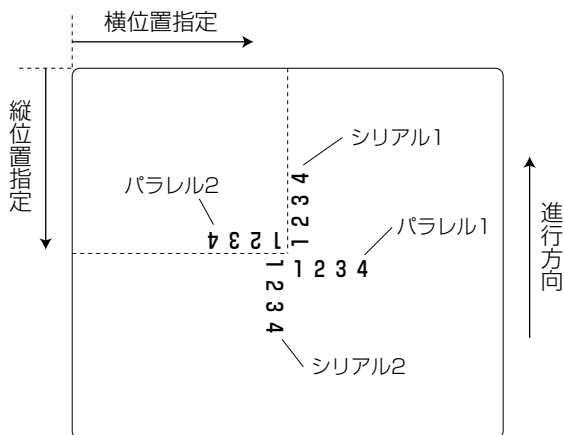
フィールドパラメーター一覧表

フィールド指定			印字指定							入力チェック指定							コピー指定				
フィールド指定			文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦拡大	横拡大	フィールド指定毎の設定							コピー	コピー先1、2		
桁	1	2	3	4,5,6	7,8,9	10	11	12,13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23~30			
通常	0	文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦拡大	横拡大	入力検査	タイトル表示	0	0補填	フリット入力	0	コピー	コピー先1、2指定				
	連番	//	//	//	//	//	//	//	//	//	連番指定	0	//	//	0	//	//				
価格		//	//	//	//	//	//	//	//	//	0	表現方法	//	//	0	//	//				
カレンダー	日付	//	//	//	//	//	//	//	//	//	加算指定	//	0	//	0	0	0	0			
	時間	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	0	//	0	0	0	0			
漢字	テーブル入力	//	//	//	//	//	//	//	//	//	漢字テーブル	0	0	//	0	コピー	コピー先1、2指定				
		//	//	//	//	//	//	0	//	//	添加物テーブル	0	0	//	0	22,23 改行桁数	24,25 改行ピッチ	26 スペース種	27~30 0		
	//	//	//	//	//	//	0	//	//	店名テーブル	0	0	//	0	22,23 改行桁数	24,25 改行ピッチ	26 店名種	27 コピー	28~30 コピー先指定		
	漢字直接入力	//	//	//	//	//	//	//	//	//	0	0	//	別途記載	コピー	コピー先1、2指定					
QRコード	0	0.....														コピー先1、2指定					
グラフィック	グラフィック印字	0	//	//	//	0	0	0	0	//	0	0	0	//	0	0	0	0			
バーコード	解説文字なし	//	//	//	//	0	//	バー比率	バー倍率	バー天地			C/D	//	スキャナ	コピー	コピー先1、2指定				
	解説文字あり	//	//	//	//	文字間	//	//	//	//			//	//	//	//	//				
QRコード	QRコード	0	//	//	//	区切り文字	連結コード分割数	セル一辺のサイズ	誤り訂正レベル	0.....						0	0				
機能フィールド	発行枚数	0.....								カウント	0.....										

※『縦位置』：すべて0入力印字しないフィールド
 “0”は設定できない項目です。

パラメータの補足説明

1. 印字の回転方向について



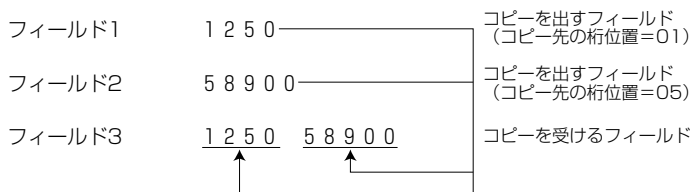
2. コピー機能について

コピー機能を利用すると、1つのフィールドで入力したデータを、他のフィールドにコピーすることができます。

1ヶ所の入力で2ヶ所以上での印字ができますので、入力したデータをそのまま印字するほかに、バーコードデータとしても使用するときなどに、便利な機能です。

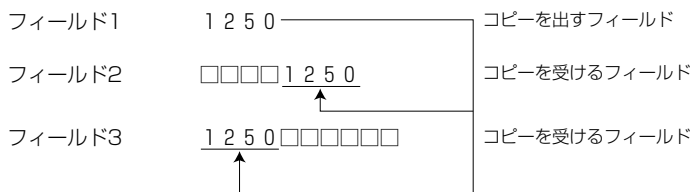
通常は、1ヶ所の入力で、2ヶ所のフィールドにコピー可能です。

例1：2ヶ所の入力を1ヶ所でまとめて印字する場合



フィールド1と2で、コピー先1を設定します。

例2：1ヶ所の入力を2ヶ所で印字する場合



フィールド1で、コピー先1とコピー先2を設定します。



- 1フィールドのデータの1部分のみをコピーすることはできません。
(コピーを出すフィールドの桁数全てがコピーされます)
- コピーを受けるフィールドは、固定データとコピーで受けたデータによって作られます。
直接、データを入力することはできませんので、画面には表示されません。
- 価格の「¥」記号、NW-7とCODE39のスタート記号は、1桁目に数えます。

3. チェックデジット計算方法

NW-7	: 7チェック
CODE39	: モジュラス43
INT2of5	: モジュラス10
JAN	: モジュラス10
UPC-E	: 専用モジュラス10
CODE128	: モジュラス103

4. バーコードの指定桁数

NW-7/CODE39のスタート・ストップは含みません。
UPC-Aは、12桁、UPC-Eは7桁に設定してください。

5. 日付・時間フィールド・印字パターン

日付フィールド	表現方法=0	西暦表示
"01. 1. 15"	"01. 12. 7"	"01. 4. 10"

日付フィールド	表現方法=1	西暦表示
"2001. 1. 15"	"2001. 12. 7"	"2001. 4. 10"

日付フィールド	表現方法=2	和暦表示
"13. 1. 15"	"13. 12. 7"	"13. 4. 10"

日付フィールド	表現方法=3	西暦表示
"01年 1月15日"	"01年12月 7日"	"01年 4月10日"

日付フィールド	表現方法=4	西暦表示
"2001年 1月15日"	"2001年12月 7日"	"2001年 4月10日"

日付フィールド	表現方法=5	和暦表示
"13年 1月15日"	"13年12月 7日"	"13年 4月10日"

時間フィールド	表現方法=0
" 5 : 3 0"	" 2 3 : 0 5" " 1 1 : 0 0" " 0 : 5 0"

時間フィールド	表現方法=1
"AM 5 : 3 0"	"PM11 : 0 5" "AM11 : 0 0" "AM 0 : 5 0"

時間フィールド	表現方法=2
"午前 5時30分"	"午後11時05分" "午前11時00分" "午前 0時50分"

※日付の表示可能年数は「1990年～2089年」となります。

6. 連番フィールドの設定

加算指定（1枚発行ごとに+1）、減算指定（-1）が設定できます。

連番のスタート番号は、パラメータ登録時の固定データ入力欄で設定可能で、ラベル発行後、カウントアップした連番データを表示します。

連番発行中に、指定桁数の範囲をこえたときは、0から連番を開始します。

7. タイトル表示指定とプリセット入力指定

入力データ的全桁数を固定にしたときは、タイトル表示指定とプリセット入力指定の設定は無効となります。

8. QRコードフィールドのコピー機能について

- ① QRコードフィールドは、ほかのフィールドから、最大32フィールドまでコピー受けできます。
- ② 各フィールドからコピーされたデータは、区切り文字で区切られます。
- ③ コピー出すフィールドのコピー先の桁位置指定は、コピーされるデータの順位を意味します。同じ桁位置（順位）を指定した場合はフィールドNoが大きい方が優先となります。
- ④ QRコードフィールドにコピーされるデータが最大データ数を越えた場合は、最大データ数以上の文字が切り捨てられます。
- ⑤ QRコードフィールドにコピーできるフィールド種類は：
 - 通常フィールド
 - 漢字フィールド（漢字テーブル1,2と漢字直接入力、QRコード）

例)

フィールドNo	フィールド種類	データ	コピー先 (フィールド番号、桁位置)	区切り文字
1	80：QRコード	—	—	,
2	10：通常(コピー出す)	1234	1,2	—
3	50：漢字(コピー出す)	サトー	1,1	—

QRコードの印字内容は、「サトー,1234」となります。

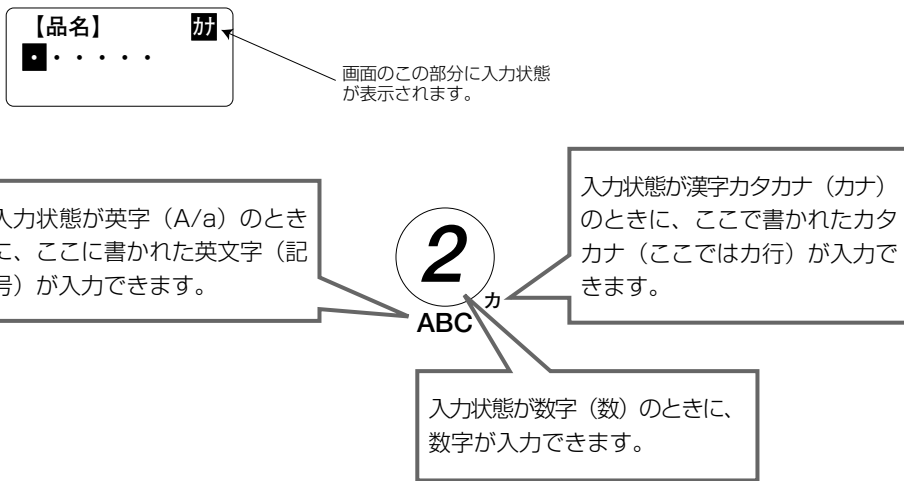
第3章 ラベルを発行する

発行するための準備として、パラメータ登録と用紙設定について説明します。

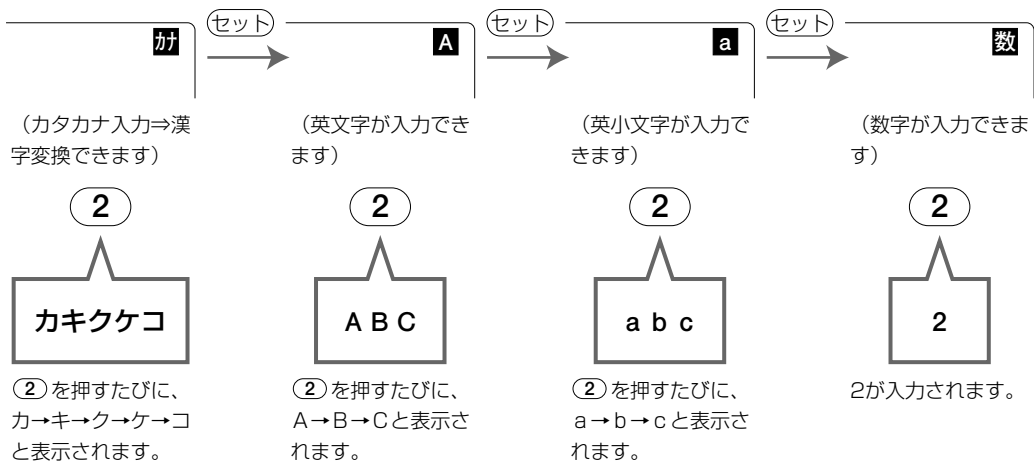
漢字・カナ・記号の入力方法について

漢字・数字・カタカナ・英文字・記号を入力することができます。

漢字・数字・カタカナ・英文字の使い分け



スタート



いろいろな文字入力のしかた

【カタカナ】

(セット) を押して **カタ** モードにする

種類	例	入力方法
清音	ア	①(ア)
拗音 (促音)	ア	①(ア)+ (シフト) ※(シフト) を押すと、小文字が入力できます
濁音 半濁音	バ パ	⑥(ハ)+ (°) ⑥(ハ)+ (°) ※濁音(°)半濁音(°)は清音を入力したあとに(°)を押します

【英文字・記号】

(セット) を押して **A** または **a** モードにする

種類	例	入力方法
大文字	A	A の場合 ②(ABC) a の場合 (※(シフト) を押すと、大文字が入力できます。) ②(abc)+ (シフト)
小文字	a	A の場合 (※(シフト) を押すと、小文字が入力できます。) ②(ABC)+ (シフト) a の場合 ②(abc)
記号	#	①(特殊1) ※①(特殊1)と(°)(特殊2)を押すと、記号を入力することができます
空白(スペース)		①を2回押す、又は(シフト)を押すと、スペースを入力することができます。

文字一覧

各入力状態への 切り替えかた	電源ON時	(セット)	(セット)	(セット)	(シフト)	
キー	状態	数字	カナ(漢字入力)	英大文字・記号	英小文字・記号	英大小文字 カナ小文字
(°)	—	—	° ° スペース	() < > , . . ; " ' `		
①	0	0	ワロン、	YZスペース	yzスペース	yz (YZ)
②	1	1	アイウエオ	# * + ! & % \$ = ? @		アイウエオ
③	2	2	カキクケコ	ABC	abc	abc (ABC)
④	3	3	サシスセソ	DEF	def	def (DEF)
⑤	4	4	タチツテト	GHI	ghi	ghi (GHI)
⑥	5	5	ナニヌネノ	JKL	jkl	jkl (JKL)
⑦	6	6	ハヒフヘホ	MNO	mno	mno (MNO)
⑧	7	7	マミムメモ	PQR	pqr	pqr (PQR)
⑨	8	8	ヤユヨ	STU	stu	stu (STU)
⑩	9	9	ラリルレロ	VWX	vwx	vwx (VWX)

かな漢字を入力する画面では

カナ(漢字) - (セット) → 英大文字・記号 - (セット) → 英小文字・記号 - (セット) → 数字となります。

文字の入力方法

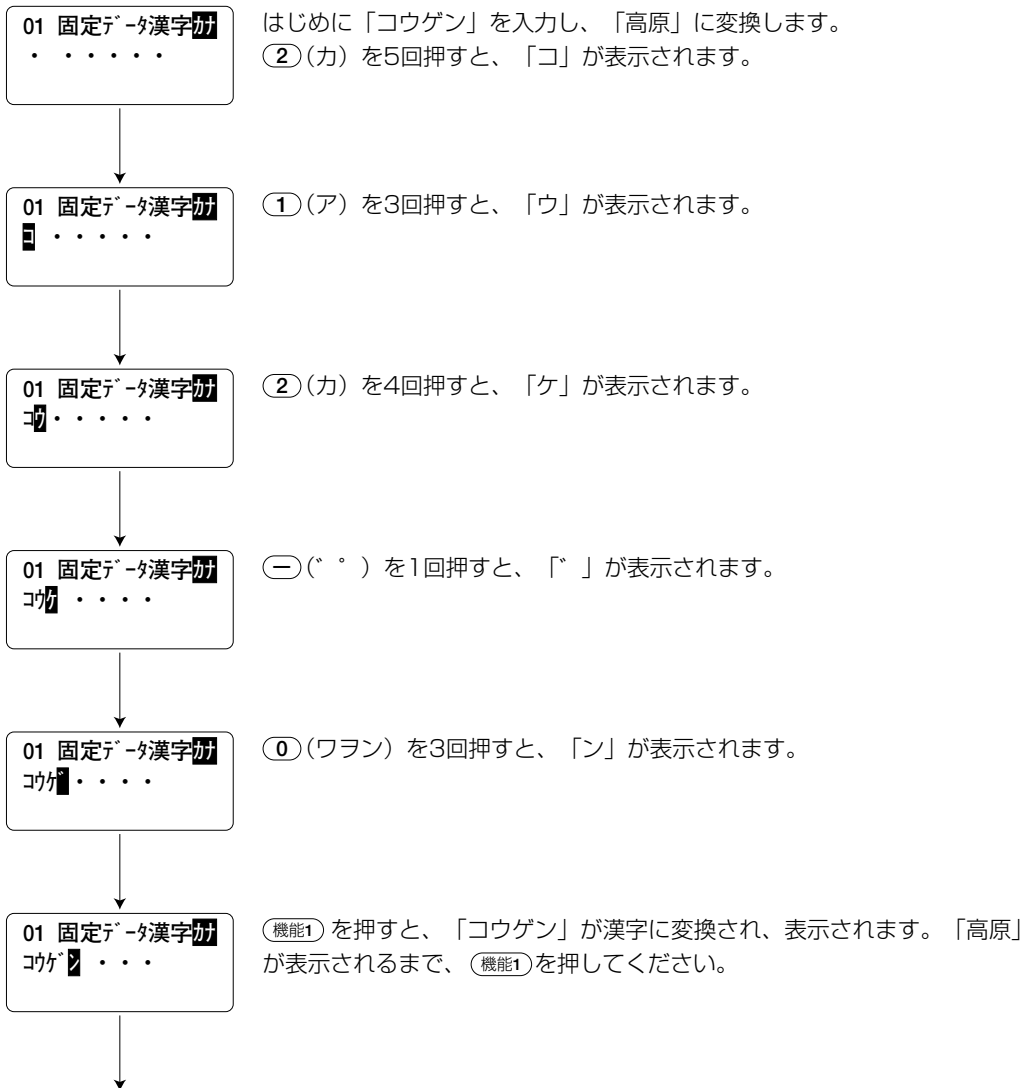
①漢字編

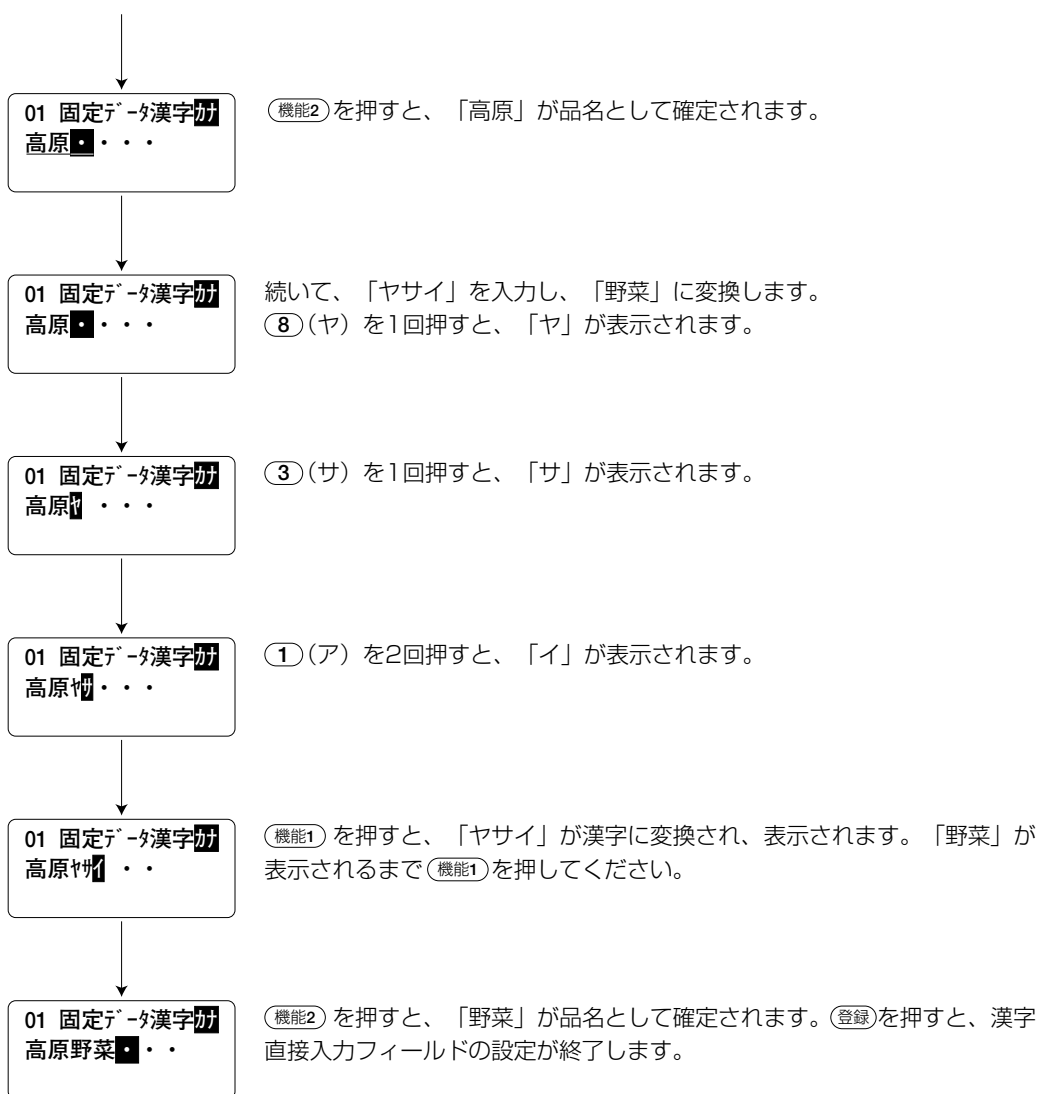
かな漢字変換機能を利用して、漢字が入力できます。


漢字の入力方法を、例（高原野菜）にもとづいて説明します。

この例では、漢字直接入力フィールドの固定データ入力で、「高原野菜」を「高原」と「野菜」に分けて、漢字変換を行っています。

例) 高原野菜





 漢字変換を確定する場合は、④(登)を押すか又は次の文字入力を開始することでも行えます。

漢字の挿入について

かな漢字変換の入力画面では、カーソル位置に文字が挿入できます。

(例) 「高原野菜」の野菜の前に「新鮮」を挿入する場合

【品名】 **カナ**
高原**野**菜・・

2段目の「野」にカーソルを移動します。

【品名】 **カナ**
高原**シ**セ**野**菜・

カタカナで「シ」「ン」「セ」「ン」と入力し、**機能1**を押します。

【品名】 **カナ**
高原**新**鮮**野**菜

機能2を押すと、「新鮮」を確定し、挿入されます。

漢字の削除について

挿入と同じように、2段目のカーソル位置の文字が削除できます。

(例) 【品名】 **カナ**
高原**新**鮮野菜

【品名】 **カナ**
高原**新**鮮野菜

←を2回押して「新」にカーソルを移動します。

【品名】 **カナ**
高原**鮮**野菜・

削除を押すと、「新」が削除されます。
(もう一度**削除**を押すと、次の文字(鮮)も削除されます。)

漢字の追加について

漢字を確定したあと、続けて入力します。

漢字変換のキャンセルについて

変換する文字をカナ入力し、**機能1**を押して変換する際、カナ入力を間違えたときは、**シフト**を押して変換をキャンセルすることができます。

(変換候補を表示中のときに有効となります。)

漢字の変換順序（例）

「タイ」という読みに対して、漢字の変換順序は、「他意」、「鯛」、「対」…「たい」、「タイ」のように、漢字→ひらがな→カタカナの順になります。

英文字、数字、記号の変換

漢字変換を使って、品名に英文字、数字、記号を入力することもできます。

「オオモジ」と入力 「大文字」→「A」→「B」→「C」→… 「Z」→「おおもじ」→「オオモジ」の順に変換。

「コモジ」と入力 「小文字」→「a」→「b」→「c」→… 「z」→「こもじ」→「コモジ」の順に変換。

「スウジ」と入力 「数字」→「数次」→「1」→「2」→「3」→… 「0」→「すうじ」→「スウジ」の順に変換。

「キゴウ」と入力 「記号」…「々」→「メ」→「>」→「ヅ」→… 「//」→「きごう」→「キゴウ」の順に変換。

漢字変換の際に用いるキーのはたらき

- 削除** • 漢字変換の画面で、漢字を1文字ずつ削除したいときに押します。
- セット** • 品名入力で、入力状態を切り替えるときに押します。
- シフト** • 品名入力で、小さい文字（拗音・促音・小文字など）を入力するときに押します。
かな漢字変換中（変換候補の漢字表示中）に押すと、漢字変換がキャンセルされます。
かな漢字変換中以外の場合は、スペースの入力となります。
- 機能1** • 漢字変換をするときに押すと、変換する漢字を順次表示します。
- 機能2** • 漢字変換をするとき、変換する漢字の決定をするときに押します。

JIS漢字コード入力

JIS漢字コードを使用して漢字入力をします。

例) 「高原野菜」の「高原」と「野菜」の間に「新鮮」を入力します。

① **呼出** を1回押します。

【品名】	加
高原野菜・	

② JISコード3F37（新）
を入力します。

【品名】	数
[*A*A]	JIS入力

③ **機能1** で変換し、**機能2** で変換を決定します。

【品名】	数
新	JIS入力
[3F37]	

④ JISコード412F（鮮）
を入力します。

【品名】	数
新	JIS入力
[*A*A]	

⑤ **機能1** で変換し、**機能2** で変換を決定します。
呼出 を押すとJISコード入力を終了します。

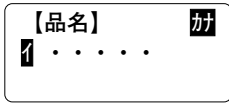
【品名】	数
新鮮	JIS入力
[412F]	

【品名】	加
高原新鮮野菜	

JIS漢字コードでA～Fを入力する可能性のある、2、4桁目には最初にAを表示しています。ⓂⓃを押してA↔B↔C↔D↔E↔Fを選び、**セット**を押して決定します。

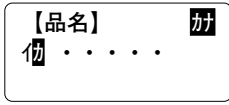
②カタカナ・英文字・数字・記号編

例) イカ



画面の右上に、「カナ」が表示されているのを確かめます。

- ① (ア) を2回押します。
「イ」が表示されます。



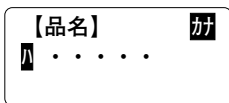
- ② (カ) を1回押すと、カーソルが1つ右にずれて、「カ」が表示されます。
登録を押すと、「イカ」が登録されます。

よりすばやく文字を入力するには

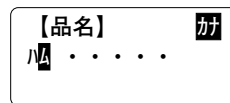
続けて同じ文字キーを使用しない文字の場合は、(→) を押してカーソルを隣りに移動させる必要はありません。

例) ハム

- ⑥ (ハ) を1回押します。



- そのまま⑦ (マ) を3回押します。



別の文字キーを押した時点で、カーソルが隣に移動します。



「カキ」など、同じ文字キー続けて使うときは、(→) を押してカーソルを隣に移動させてから、次の文字を入力してください。

「イカ サシミ」というように、文字と文字の間をあげたいときは、(シフト) を押して、間隔をあげたい文字分カーソルをとばします。

③全角／半角混在入力編

全角／半角混在入力は、QRコードのデータ入力に利用可能です。下記のキーを使用して行います。

全角文字、半角文字を入力する際は、最大16文字で入力を決定する必要があります。**機能2**キーにて文字入力を決定し、その操作を繰り返すことにより全角／半角混在入力を行います。

- 全角文字の入力は、「文字の入力方法 - ①漢字編」と同一です。
- 半角文字の入力は、「文字の入力方法 - ②カタカナ・英文字・数字・記号編」の操作の後、16文字以内で**機能2**キーにて文字列を決定させる必要があります。

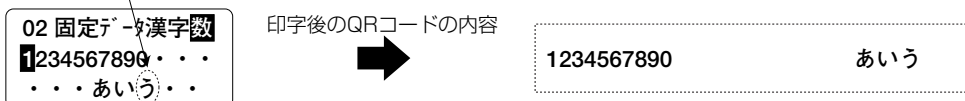
テンキー	0～9	記号、カナ、数字、英文字を入力します。
ファンクションキー	機能1	漢字変換します。
	機能2	機能1 キーを押している時は、漢字入力に変換した漢字を決定します。 機能1 キーを押していない時は、半角文字（記号、カナ、数字、英文字）入力を決定します。
	呼出	JIS漢字コード入力する時に押します。
	シフト	漢字入力で大／小文字を切り替えます。 漢字入力でスペースを入力します。 かな漢字変換中で変換した漢字をキャンセルします。
	セット	文字入力が入力状態を切り替える時に押します。
	削除	カーソルがある位置の文字を削除します。
	AC	入力した全ての文字をクリアします。
	—	記号を入力します。
	登録	入力した文字を確定し、次の画面に移行します。
	↑、↓、 ←、→	カーソルを移動します。 画面に表示されている上段で ↑ キーを押すと上方向にスクロールします。 画面に表示されている下段で ↓ キーを押すと下方向にスクロールします。 画面に表示されている上段の左端で ← キーを押すと左方向にスクロールします。 画面に表示されている下段の右端で → キーを押すと右方向にスクロールします。

注意

- 下記のように全角／半角文字混在入力したときに、文字間に未入力部分がある場合、最終文字までを文字列として認識し、未入力部分はスペースに置き換えQRコードに反映します。

例)

最終文字までを文字列とします。



- スペースを入力する場合は、必ず**シフト**キーでスペースコードを入力してください。

項目名の入力方法について

フリーフォーマットの項目名の入力は、漢字・カタカナ・英数字のいずれかを使用して入力できます。パラメータ設定画面における、項目名の入力操作を下記に説明します。

操作例「部門」をフリーフォーマットの項目名として入力

No=01 項目名 **カ**
●

⑥ (ハ) を3回押すと「フ」が表示されます。

No=01 項目名 **カ**
フ

① (` °) を1回押すと「 ` 」が表示されます。

No=01 項目名 **カ**
フ `

⑦ (マ) を5回押すと「モ」が表示されます。

No=01 項目名 **カ**
フ ` モ

⑧ (ワラン) を3回押すと「ン」が表示されます。

No=01 項目名 **カ**
フ ` モ ン

① (機能1) を押すと「ブモン」が漢字に変換され、表示されます。「部門」が表示されるまで① (機能1) を押してください。

No=01 項目名 **カ**
部門 ●

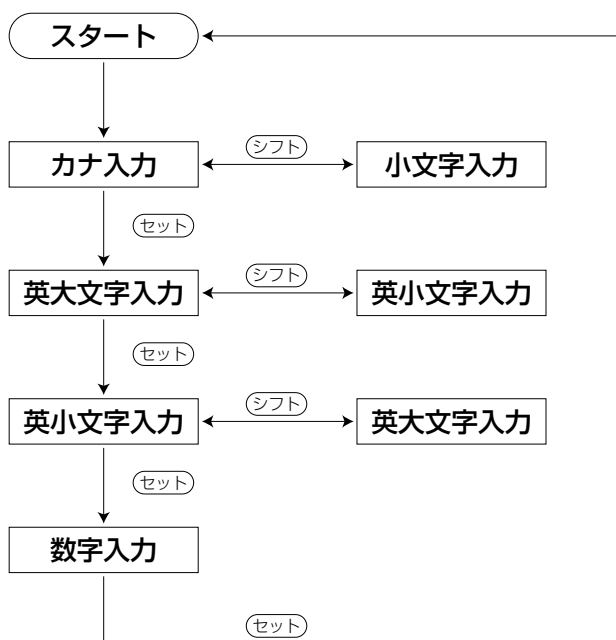
② (機能2) を押すと「部門」が項目名として確定されます。③ (登録) を押すと項目名の登録が終了します。



漢字と半角のカタカナ、英数字を混在することはできません。

(制限・注意事項)

- 項目名に入力できる文字数は、漢字入力で最大5文字、半角の英数かな文字で最大10文字分です。
- **シフト** キーによる入力文字種の切り替えは下図のループの順になります。



パラメータ登録と用紙設定について

本プリンタでラベルを発行をするまえに、フォーマットごとにパラメータと用紙情報を登録してください。
(最大15フォーマット登録できます)

一度登録しておく、フォーマット番号ごとの設定に応じてラベルが発行できます。

パラメータ登録と用紙設定では、フォーマットごとに、以下の項目について設定します。

パラメータ登録

- 項目名
- 印字する文字の種別、バーコードの種別、バー天地、印字位置、文字数、拡大指定など
- 入力時のデータチェック、コピーなど
- 固定データ

用紙設定

- 用紙の長さや幅
- 印字位置調整

パラメータ登録と用紙設定を行う登録モードについて説明します。

プリンタ電源ON

(設定) キーを押します。

登録モード

フォーマットNo 数
[]
777-モード (30)

ここで、(シフト) キーを押してから(セット) キーを押すと登録モードになります。

(シフト) (セット)

登録モード
パラメータ用紙設定
テーブル設定 ◀▶

(↑) (↓) キーで、「パラメータ用紙設定」を選んで、(登録) キーを押します。

(登録)

登録フォーマットNo 数
[]
777-モード

登録するフォーマット番号 (1~15) を入力し、(登録) キーを押します。

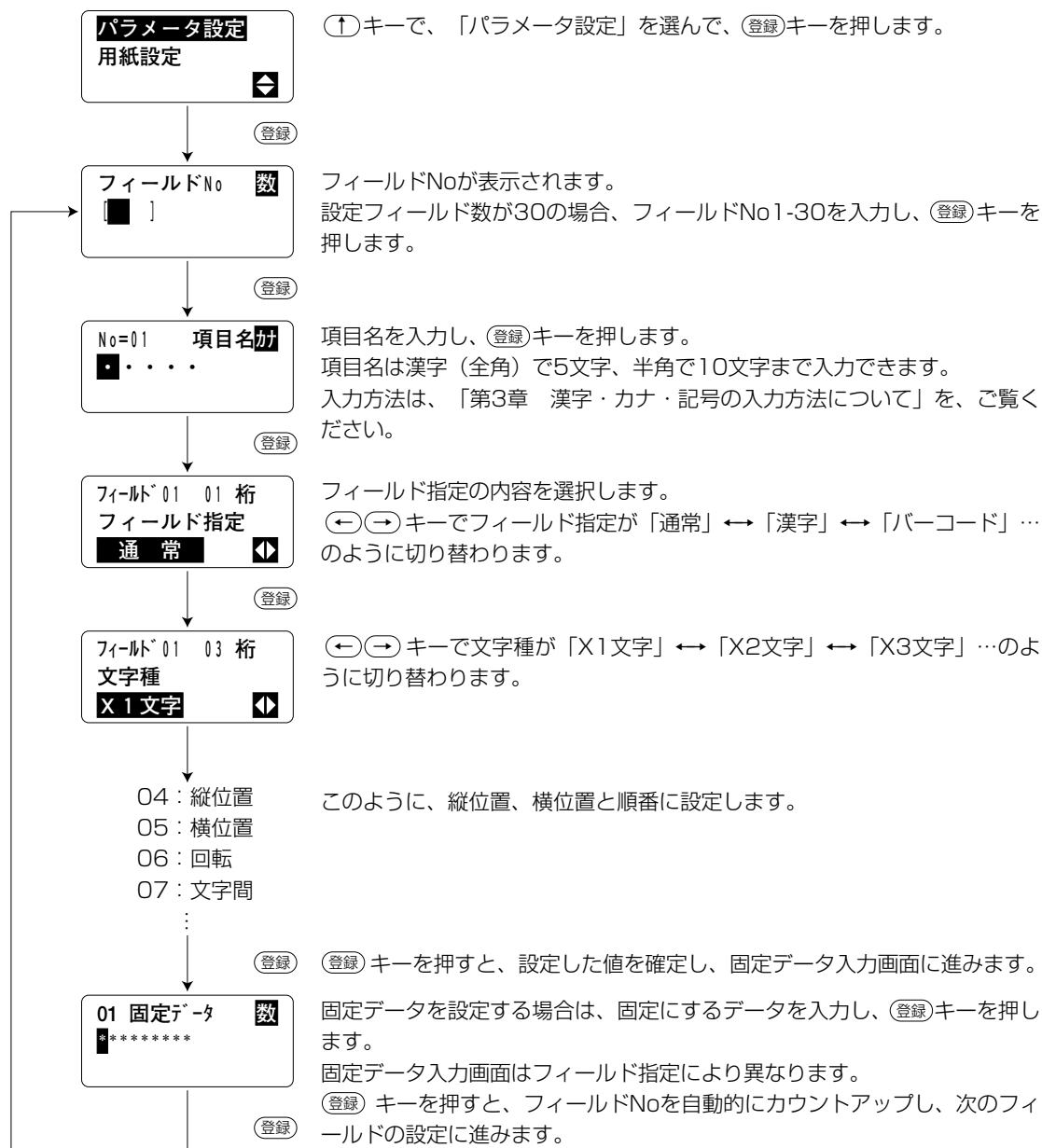
(登録)

パラメータ設定
用紙設定 ▶◀

「パラメータ設定」、「用紙設定」のどちらかを選んで、(登録) キーを押します。

「パラメータ設定」、または、「用紙設定」画面に進みます。

1. パラメータ登録画面の操作方法について



パラメータ登録での注意事項

- パラメータの設定は、固定データ入力を終了すると、1フィールドの設定が完了します。
途中で電源を切った場合は、設定内容が不足となりますので、必ず固定データ入力まで進み**登録**キーで終了してください。
- 各画面で**前画面**キーを押すと、1つ前の画面に戻ります。（固定データ入力ではフィールド指定に戻ります）但し、項目名より前の画面に戻ることはできません。（設定の途中で中断はできませんので、固定データ入力まで進み、**登録**キーで終了してください。

パラメータ登録の画面遷移

(15ページ「通常フィールドの設定」を参照ください)

通常フィールドの画面処理

フィールド 01 01 桁
フィールド指定
通常 ◀▶

「通常」選択後、登録

フィールド 01 03 桁
文字種
X1文字 ◀▶

←→キーで文字種を選択後、登録

(文字種別)

「X1文字」↔「X2文字」↔

「X3文字」↔「OB文字」↔

「価格文字」↔「POP1」↔

「POP2」↔「POP3」

フィールド 01 04 桁
縦位置
[00]ドット

テンキーで縦印字位置(ドット※注)入力後、登録

フィールド 01 07 桁
横位置
[00]ドット

テンキーで横印字位置(ドット※注)入力後、登録

フィールド 01 10 桁
回転
パラレル1 ◀▶

←→キーで回転方向を選択後、登録

(回転方向)

「パラレル1」↔「シリアル1」

↔「パラレル2」↔「シリアル2」

フィールド 01 11 桁
文字間隔
[0]ドット

テンキーで文字間隔を入力後、登録

フィールド 01 12 桁
文字数
[0]文字

テンキーで文字数を入力後、登録

フィールド 01 14 桁
縦拡大
1 2 3 4 ◀▶

←→キーで縦方向の倍率を選択後、登録

フィールド 01 15 桁
横拡大
1 2 3 4 ◀▶

←→キーで横方向の倍率を選択後、登録

フィールド 01 16 桁
入力検査
チェックなし ◀▶

←→キーで選択後、登録

(入力検査内容)

「チェックなし」↔「未入力

禁止」↔「数字のみ」↔「数字

全桁」↔「数字0禁止」

フィールド 01 17 桁
プリセットタイトル表示
する **しない** ◀▶

←→キーで選択後、登録

フィールド 01 19 桁
コピー時0補填
する **しない** ◀▶

←→キーで選択後、登録

フィールド 01 20 桁
プリセット発行時入力
あり **なし** ◀▶

←→キーで選択後、登録

コピー指定へ

※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

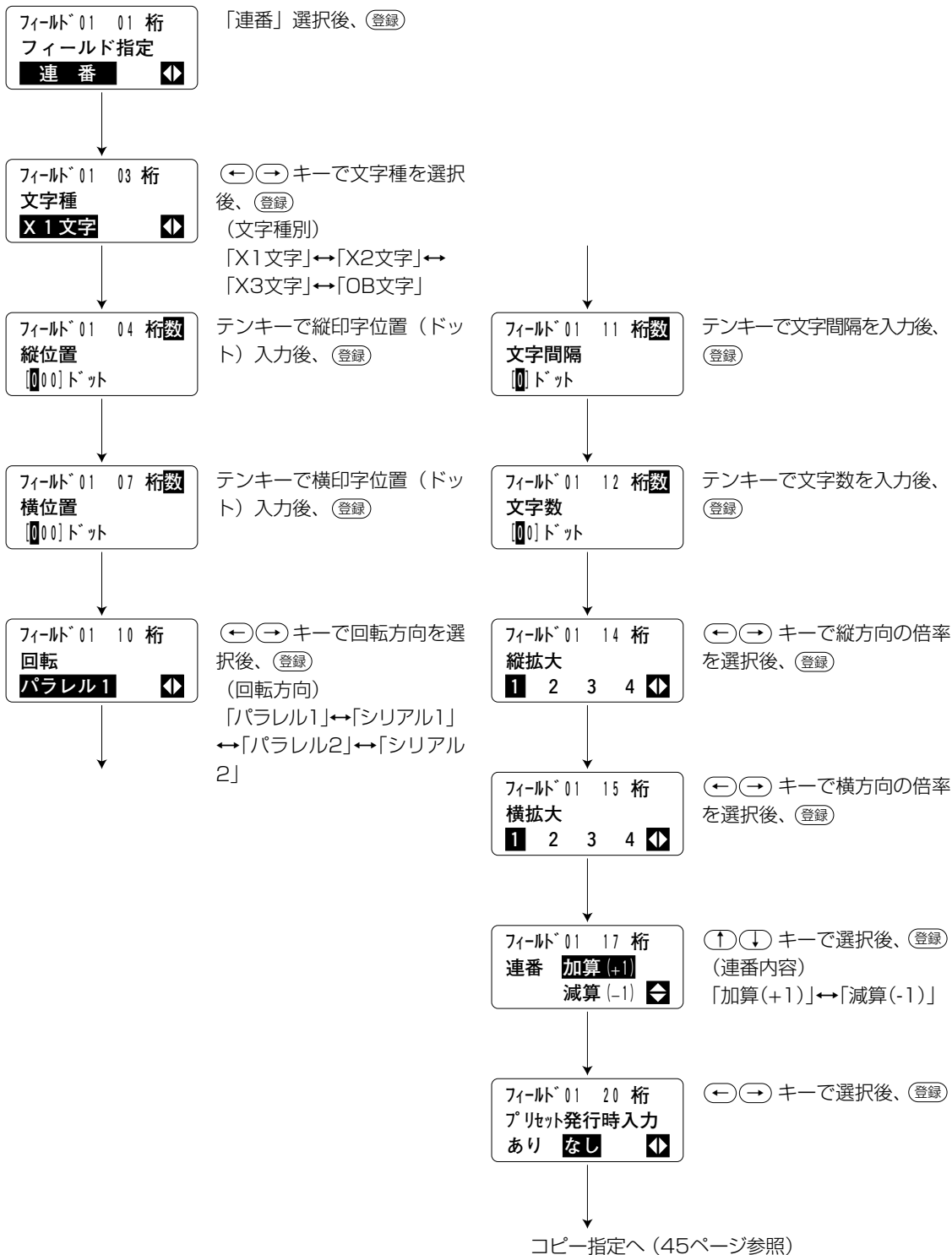
コピー指定 (29ページ「コピー機能について」を参照ください)

通常、連番、価格、漢字、バーコードの各フィールド指定共通のコピー指定画面となります。
(「コピーなし」に設定した場合は表示されません)



※ 最大2ヶ所にコピーすることができます。

連番フィールドの画面処理 (17ページ「連番フィールドの設定」を参照ください)



価格フィールドの画面処理 (18ページ「価格フィールドの設定」を参照ください)



カレンダーフィールドの画面処理 (20ページ「カレンダーフィールドの設定」を参照ください)



漢字フィールドの画面処理 (21ページ「漢字フィールドの設定」を参照ください)

①漢字、直接入力



②漢字、漢字テーブル入力 (21ページ「漢字フィールドの設定」を参照ください)



③漢字、添加物テーブル入力 (21ページ「漢字フィールドの設定」を参照ください)



④漢字、店名テーブル入力 (21ページ「漢字フィールドの設定」を参照ください)

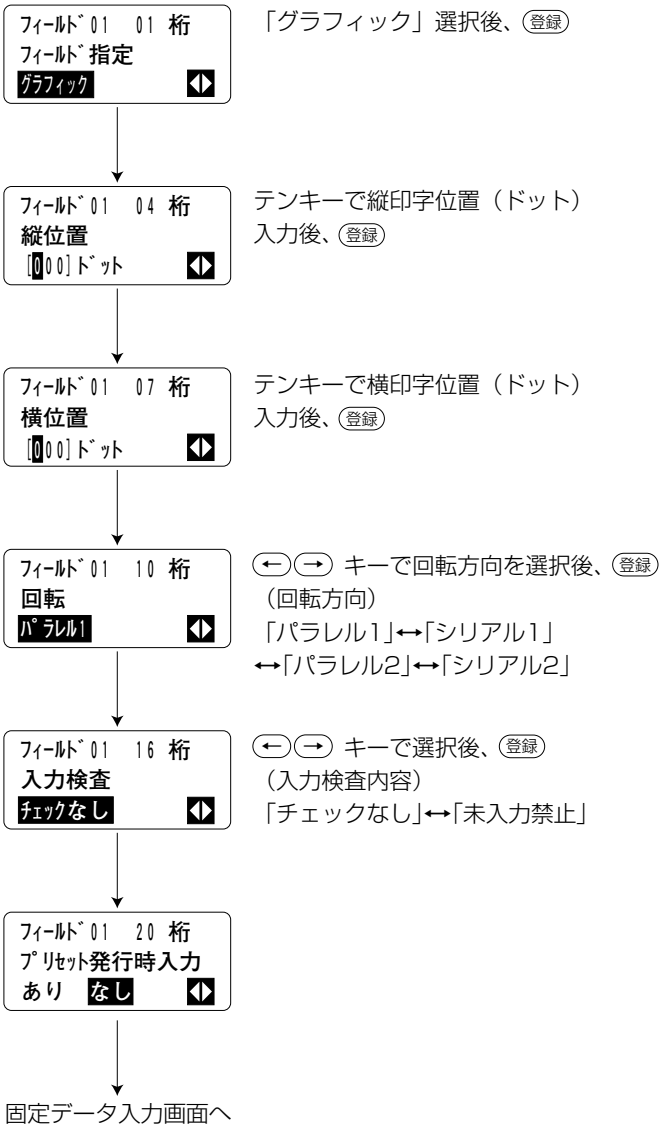


⑤ 漢字、QRコード入力 (23ページ「漢字フィールド(QRコード)の設定」を参照ください)

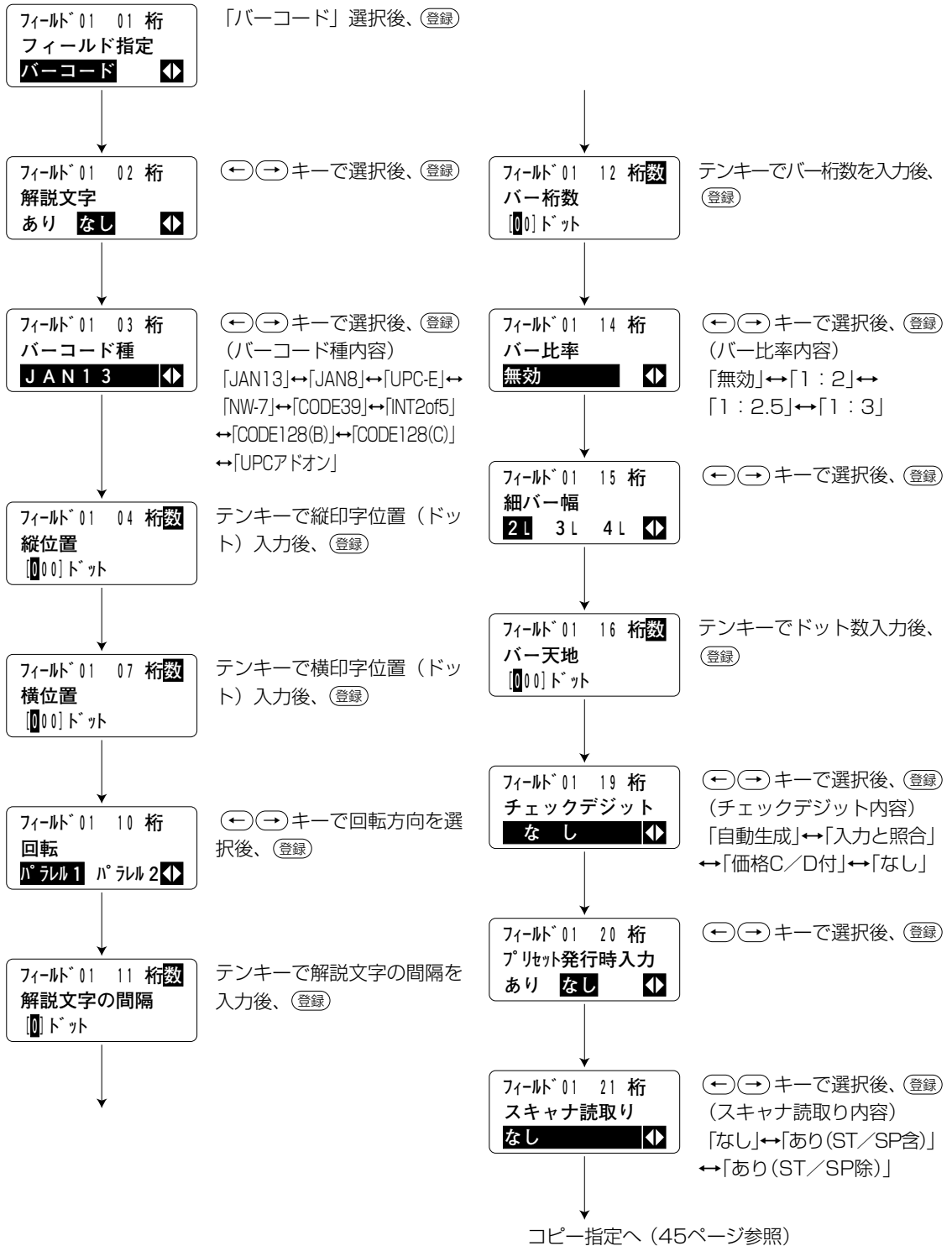


※ 最大2ヶ所にコピーすることができます。

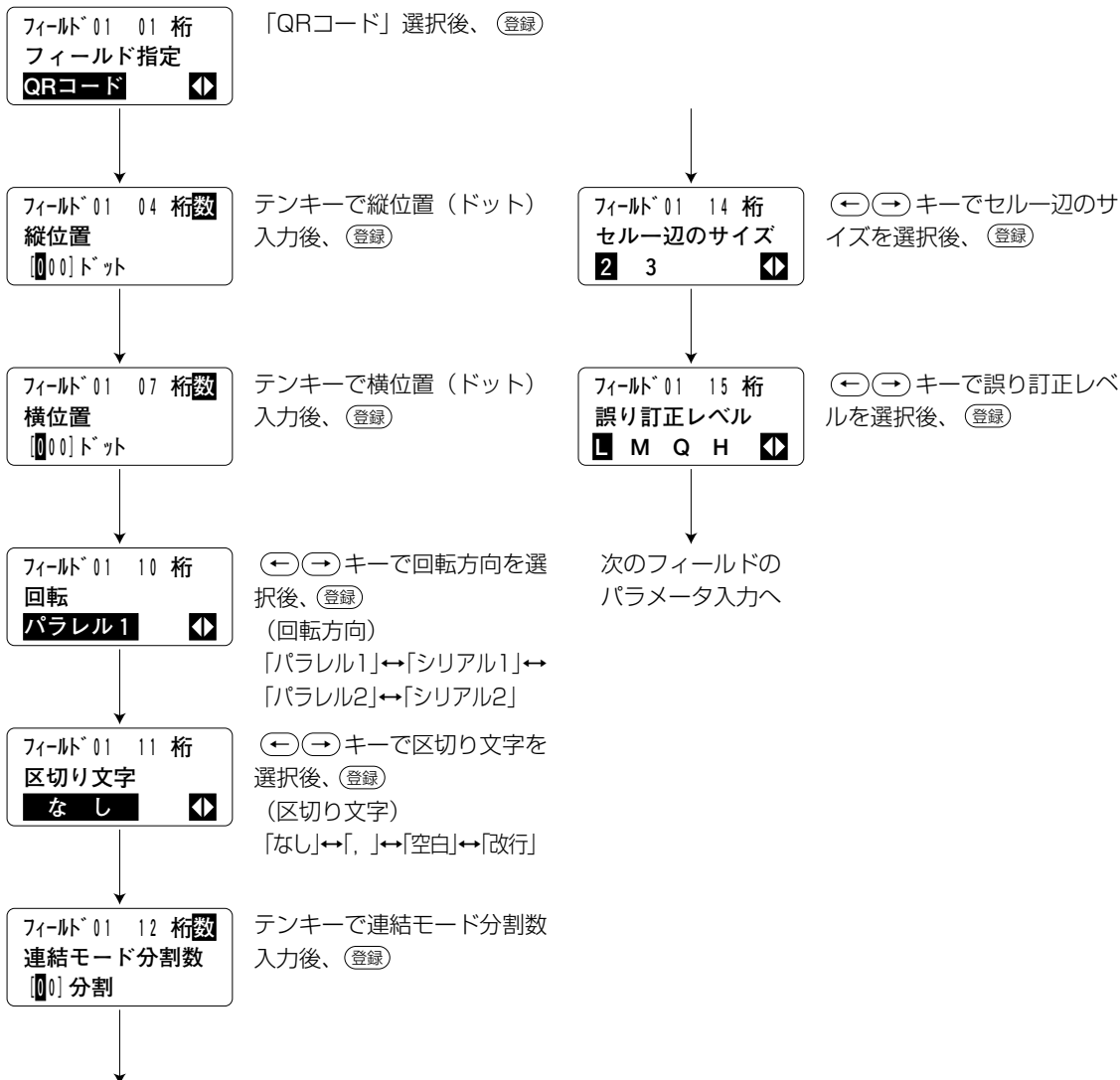
グラフィックフィールドの画面処理 (24ページ「グラフィックフィールドの設定」を参照ください)



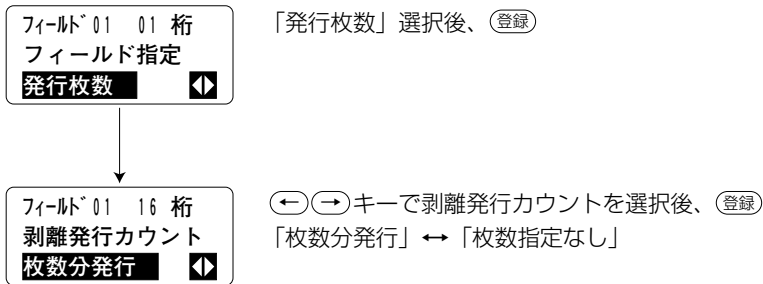
バーコードフィールドの画面処理 (25ページ「バーコードフィールドの設定」を参照ください)



QRコードフィールドの画面処理 (26ページ「QRコードフィールドの設定」を参照ください)

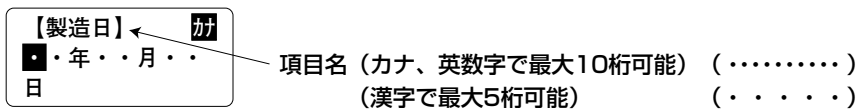


発行枚数フィールドの画面処理（剥離発行の場合のみ）

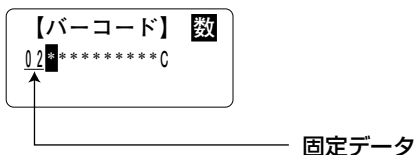


パラメータ登録の補足説明

- (1) パラメータは、フィールド指定 1、2 の設定によって、それ以降の設定内容が異なります。
「第 2 章 フィールドパラメータ」を参照しながら設定してください。
- (2) 項目名について
フィールドごとに項目名を設定しておく、ラベル発行時のデータ入力画面で表示されます。

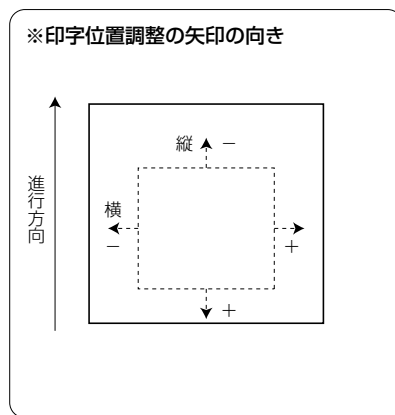
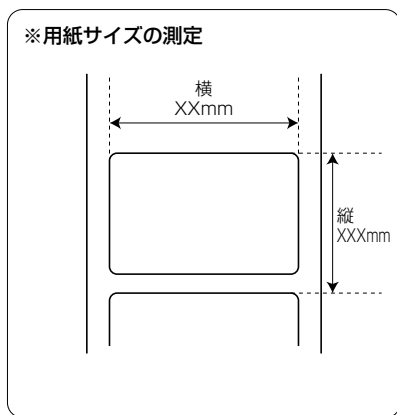
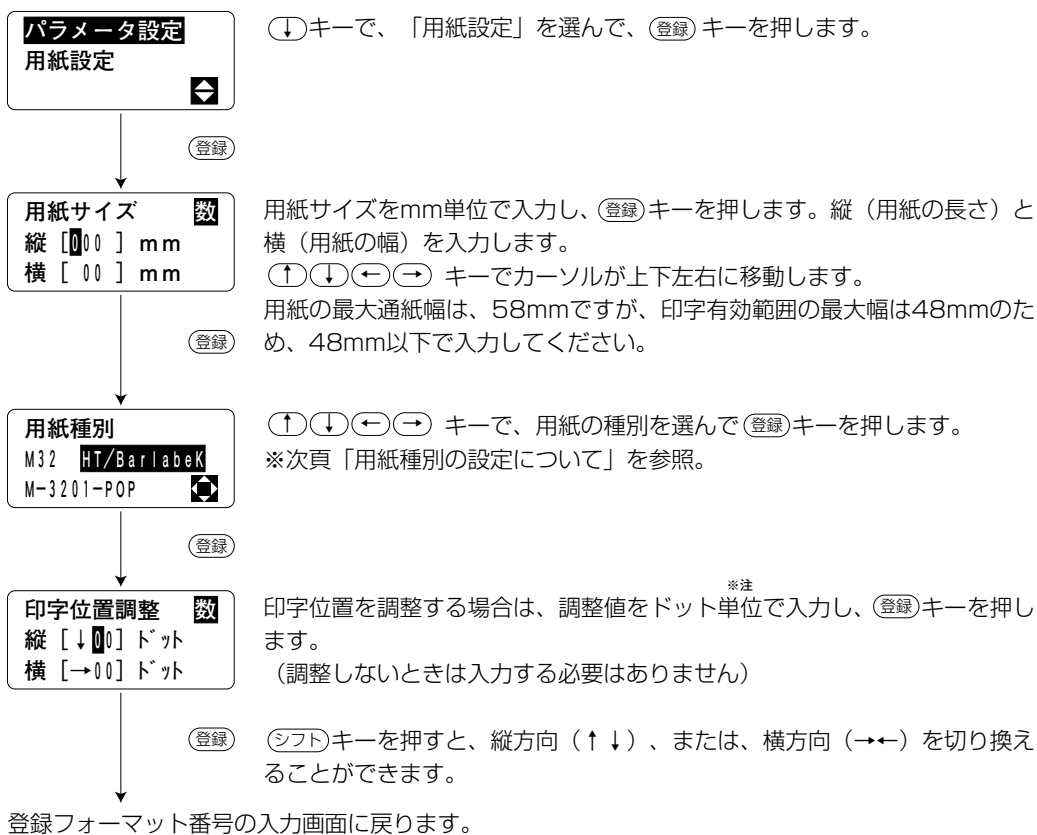


- (3) 固定データについて
印字する文字や記号のうち、いつも決まっているデータを固定データと呼びます。たとえば、バーコードでフラグ 02 だけを使うようなときは、「02」を固定データとして設定しておく、発行するたびに、入力する必要がありません。



このように設定しておく、発行時は、02 以外のデータを入力するだけで発行できます。
「C」はチェックデジット生成にすると自動的に表示されます。
すべての桁を固定データとして設定すると、発行時に表示されません。

2. 用紙設定画面の操作方法について



全方向5mm（40ドット）まで調整できます。

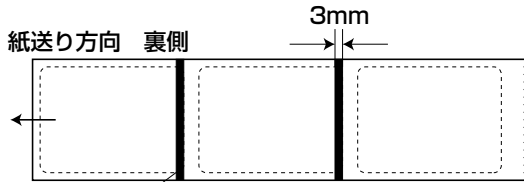
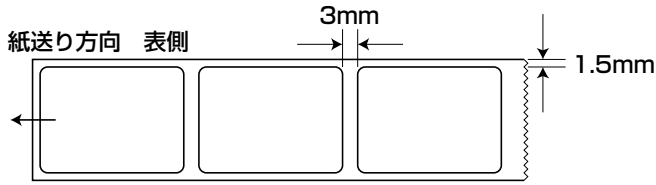
※注 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

用紙種別の設定について

①～③の中から使う用紙を選んでください。（「 」が画面に表示されます）

①BarlabeKi用カス取りラベル「“HT/Barlabe K”」

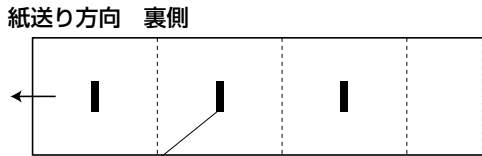


※アイマークは、ラベル終端

ラベルサイズ (台紙サイズ)

P16～100	(19～103)
W25～55	(28～58)

②BarlabeKi/M-3200用ラベル「“M32”」



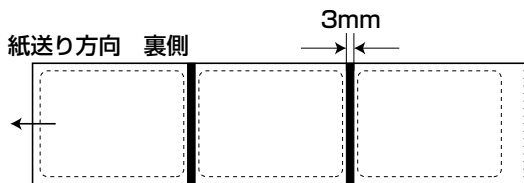
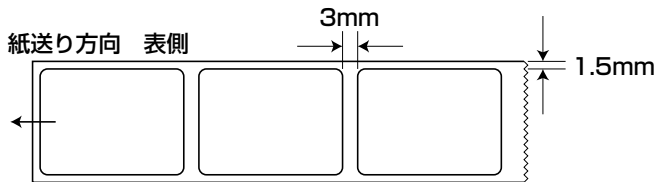
※アイマークは、ラベルサイズにより異なる

ラベルサイズ

W32×P16
W32×P20.3
W32×P25.4
W32×P38.1

※ヒットカットラベルは4種類限定です。

③BarlabeKi/M-3201POP用ラベル「“M-3201-POP”」



※アイマークは、ギャップ位置

ラベルサイズ (台紙サイズ)

W25×P40	(28×43)
W25×P70	(28×73)
W25×P100	(28×103)
W25×P25	(28×27)

価格総額表示の設定について

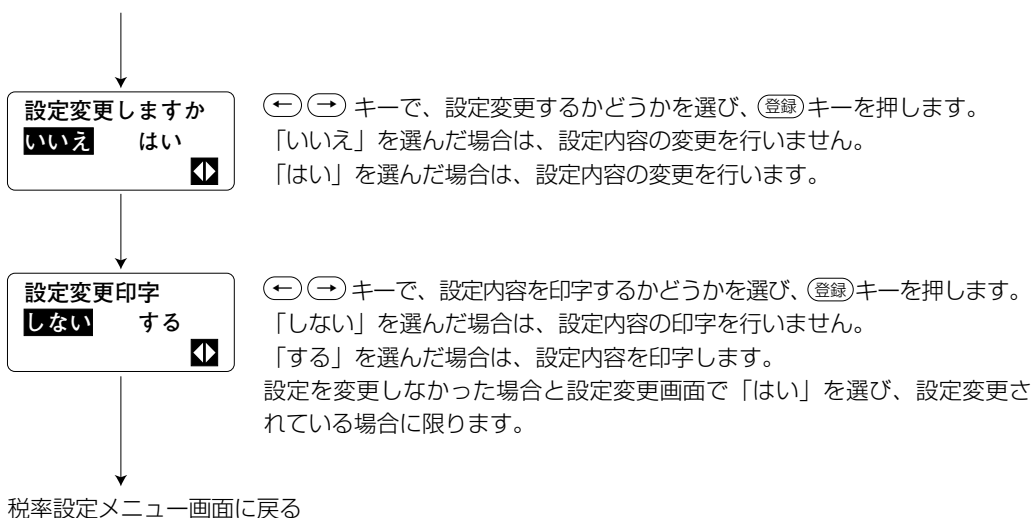
価格総額表示の設定方法について、説明します。

設定方法

設定するときは、電源を切ってから行います。

テンキーの①と⑦を押しながら、電源を入れてください。





- 価格総額表示設定は、フォーマット毎個別設定できません。
- 総額表示に関しては、漢字フィールド（49ページ）および価格フィールド（47ページ）で任意に作成してください。
- 税率設定を0.00%に設定した場合、入力価格をそのまま使用した印字になります。また、“価格税込み印字”以外の設定も無効となります。

入力価格の計算について

消費税の計算方法

消費税税率5.0%の設定での例を下記に説明します。

(例1) 税抜価格110円で入力し、消費税と総額を求める場合
 $110\text{円 (本体価格)} \times 0.05 \text{ (消費税)} = 5.5\text{円 (消費税)}$

項目 方法	消費税	税込価格(総額)
切捨て	5円	115円
切上げ	6円	116円
四捨五入	6円	116円

(例2) 税込価格1618円で入力し、消費税と本体価格を求める場合
 $1618\text{円(税込価格)} \times 100 \div (100+5\text{(消費税)}) \times 0.05 = 77.0476 \dots \text{円 (消費税)}$

項目 方法	消費税	税抜価格(本体価格)
切捨て	77円	1541円
切上げ	78円	1540円
四捨五入	77円	1541円

- 求められた消費税の小数点第3位まで計算対象とします。
例：消費税10.001円を「切上げ」した場合は、11円となります。
ただし、「切捨て」、「四捨五入」は小数点第1位を計算対象とします。
- 指定桁以下の桁は全て“0”扱いになります。
- 価格入力を“税込み”で行い、“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合がありますので、ご注意ください。

税込み価格から本体価格を導いた場合の矛盾点について

価格入力を“税込み”で行い“本体価格”および“税価格”を計算して求める場合に、端数処理により求められた計算結果と入力された価格が合わない場合があります。例で説明します。

例) 消費税率を5%設定時に、税込みで50000円を入力した場合
(指定: 端数処理は切捨て)

- ① 税込み価格として50000円を入力し、消費税と本体価格を求めます。

$$\text{税込み価格} \times 100 / (100 + \text{消費税率}) \times (\text{消費税率} / 100)$$

$$50000 \times (100 / 105) \times 0.05 = 2380.95 \dots\dots$$

消費税は ⇒ 2380円
 $50000 - 2380 = 47620$
 本体価格は ⇒ 47620円

- ② ①の計算で求められた本体価格47620円から税込み価格を再計算してみます。

本体価格 × (消費税率 / 100)
 $47620 \times 5 / 100 = 2381$
 消費税は ⇒ 2381円
 $47620 + 2381 = 50001$
 税込み価格は ⇒ 50001円

以上のように、①で入力した税込み価格と②で算出した税込み価格に誤差が生じます。

任意税率設定

価格総額表示設定メニュー内の“税率設定”では、“00.0%~99.9%”の範囲で税率の設定ができます。

また、税率を“00.0%”に設定した場合、“価格税込み印字”以外の設定は全て無効となり、計算および印字はされません。

初期値の税率は00.0%になります。

印字内容について

<印字レイアウト例>



①価格税込み印字：価格前後の税込み印字サイズは漢字（16×16ドット）となります。

②総額表示印字：本体価格フィールド、税額フィールド、漢字フィールドを使用します。

価格総額表示設定内容の印字について

<設定内容>

税率設定 : 00.0%
価格入力 : 税込み
バーコード内価格 : 税込み
端数処理 : 切捨て
価格税込み印字 : なし

<印字内容>

税率設定	: 00.0%
価格入力	: 税込み
バーコード内価格	: 税込み
端数処理	: 切捨て
価格税込み印字	: なし
日付	: 2003/10/16
ROM-VER	: 1JXXXX

- 本印字は、ラベルピッチを無視した印字になります。P35×W32mmのラベルを使用してください。また、P35未満のラベルピッチを使用した場合は、ラベルサイズを無視して次のラベルに印字します。
- 日付印字を行いますので、印字を行う前に必ずカレンダーの設定を行ってください。

価格総額表示に関するエラーについて

価格総額表示仕様では、入力された価格に対して価格総額表示設定に基づいた結果を印字する仕様になっています。本仕様によって矛盾が生じた場合、エラーとしています。

フィールドパラメータ入力エラー

- コピー元フィールドで自フィールドを指定した場合、または価格フィールド以外を指定した場合は、ブザーが鳴動し再入力になります。
- 総額表示計算するフィールドの価格桁が8桁以上指定されている場合は、ブザーが鳴動し再入力になります。

価格入力時のエラー

- 例えば本体価格フィールドの入力桁指定を4桁と指定し、価格入力で9,900円と入力した場合、総額は10,395円（税率5%時）になり、桁上がりします。この場合、ブザーが鳴動し再入力になります。
また、端数処理で「切上げ」、「四捨五入」を設定した場合に於ける桁上がりも同様になります。

価格総額表示設定確認メッセージについて

ACクリア実行や、価格総額表示設定メニュー変更後正常終了しなかった場合に警告メッセージが表示され、再設定するまで電源投入毎に表示されます。

<メッセージ>

価格総額表示設定
を再設定してくだ
さい

<価格総額表示設定確認メッセージ表示条件>

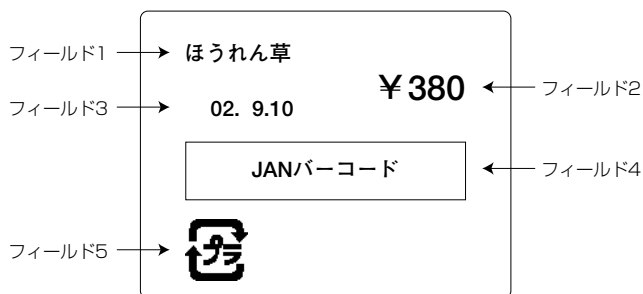
- ACクリアを実行した時
- 価格総額表示に不定値が確認された時
- 価格総額表示設定メニューを変更し、正常終了しなかった時

価格総額表示設定確認メッセージでの注意事項

- 本メッセージは、価格総額表示設定の再確認を促すものであり、電源起動時に前回の設定と現在の設定内容を比較し、相違チェックするものではありません。
- ファームウェア入替え時や内部設定を変更された際は、必ず価格総額表示設定の内容を確認してください。

フォーマットを作ってみましょう

ここでは、以下のようなラベルを、フォーマット01として設定する方法を例に説明します。



ラベル=縦38mm、横40mm カス取りラベル

フィールド1：漢字を入力して印字する

フィールド2：価格を入力して印字し、フィールド4のバーコードにもコピーする

フィールド3：プリンタ内蔵のカレンダより日付を印字する

フィールド4：固定データと、コピーを受けてデータを作り印字する

フィールド5：搭載しているグラフィックデータを番号で指定して印字する

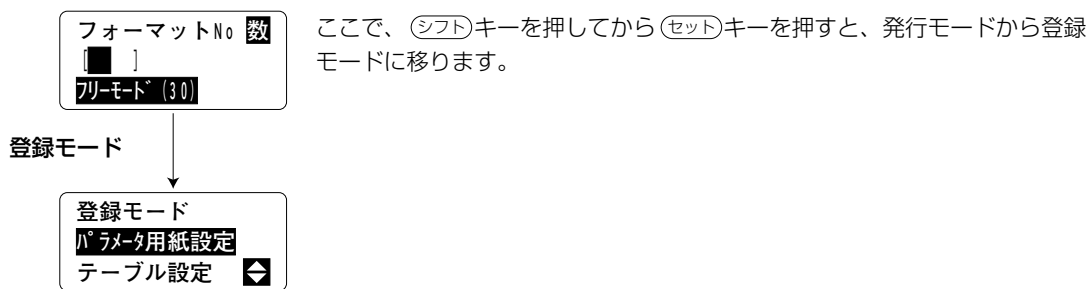
フィールド6：発行枚数を入力する

操作手順

- ①登録モードに移る
- ②フォーマット1の用紙設定
- ③フォーマット1・フィールド1～5のパラメータ登録
- ④ラベル発行モードに戻る
- ⑤データを入力しラベルを発行

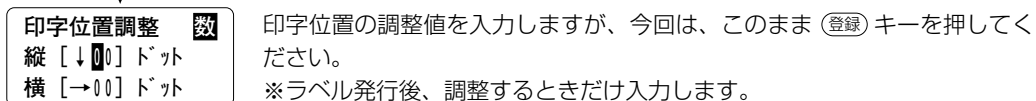
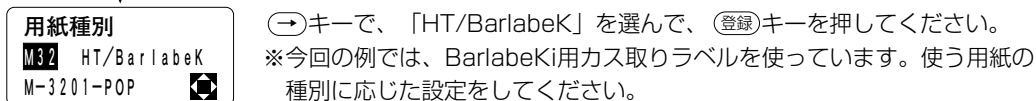
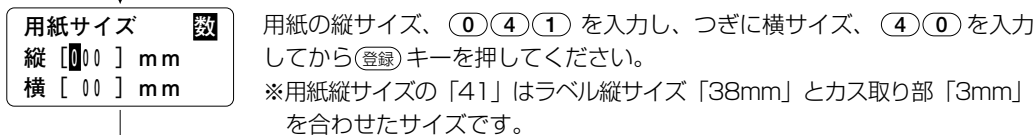
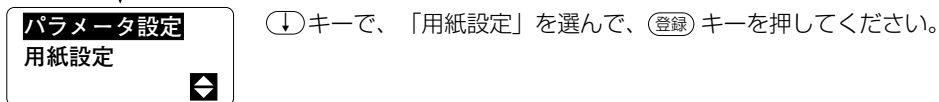
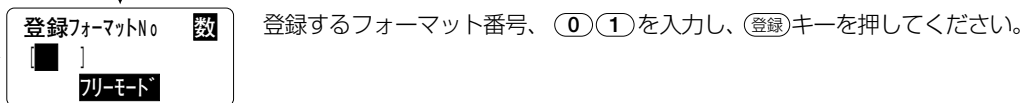
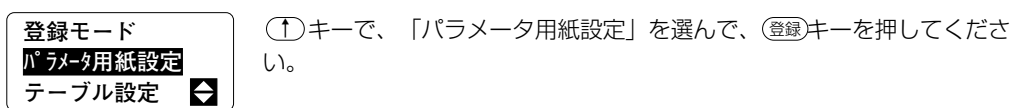
1. はじめに、登録モードに移ります。

プリンタの電源を入れて、(設定) キーを押します。



2. フォーマット01の用紙設定を行います。

(登録) キーで、登録フォーマット番号の入力に戻ります。



(登録) キーで、登録フォーマット番号の入力に戻ります。

3. パラメータ登録を行います。

フィールド1から5の順に登録していきます。

パラメータ設定
用紙設定

(↑)キーで、「パラメータ設定」を選んで、(登録)キーを押してください。

フィールドNo 数
[]

フィールドNo (0) (1) を入力し、(登録)キーを押してください。

No=01 項目名カナ
[]

フィールドNo.01が表示されます。
フィールド1の項目名として“品名”をかな漢字変換を使い入力し、(登録)キーを押してください。

カナの入力方法は「第3章 漢字・カナ・記号の入力方法について」を参照してください。

フィールド 01 01 桁
フィールド指定
漢字

フィールド指定1に設定する値を入力します。フィールド1は漢字を印字しますので、(←)(→)キーで「漢字」を選び(登録)キーを押してください。

フィールド 01 02 桁
漢字入力方法
フル 直接入力

フィールド指定2に設定する値を入力します。漢字を直接入力しますので、(←)(→)キーで「直接入力」を選び(登録)キーを押してください。

フィールド 01 03 桁
文字種
16×16 22×22

文字種に設定する値を入力します。22ドット漢字を使用しますので、(←)(→)キーで「22×22」を選び(登録)キーを押してください。

このような方法で、次項の「フィールドパラメータ設定例」を参考に、パラメータを設定してみましょう。

フィールド1のパラメータを設定したら、(登録)キーを押してください。
(登録)キーを押すと設定したデータが登録されます)

パラメータを入力後
(登録)

固定データ入力へ進みます。

01 固定データ **数**
 ■*****

^{※注} 固定データを設定する場合は、固定にするデータを入力し、**登録**キーを押してください。
 (設定しないときは、そのまま、**登録**キーを押します)

No=02 項目名 **カ**
 ■.....

フィールドNoを自動的にカウントアップし、次のフィールドの設定に進みます。
 フィールド2~5の順にパラメータを設定してください。

フィールド 02 01 桁
 フィールド指定
通常 ◀▶

⋮

フィールド5は発行枚数を入力するフィールドですので、フィールド指定で、発行枚数フィールドを選択してください。

発行枚数フィールドは、最後のフィールドとなり、パラメータ登録が終了します。
登録キーを押すと、次の画面に戻ります。

フォーマットNo **数**
 ■]
 フォーマット (30)

※注 今回の例ではフィールド4で固定データを設定します。

【バーコード】 **数**
 ■*****C

フィールド4の固定データ入力画面で、固定データ **0 2 1 2 3**
4 5 6 を入力し、**登録**キーを押してください。

0 2 1 2 3 4 5 6
 固定データ

X X X X C

↑
 チェックデジット (自動計算)

↑
 フィールド2の価格がここにコピーされる

フィールドパラメータ設定例

フィールド1（項目名：“品名”）

項目名	フィールド指定	印字指定								入力チェック指定					コピー指定
		文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦倍	横倍	検査	テール	予備	フリット	別途	
桁位置	1~2	3	4~6	7~9	10	11	12~13	14	15	16	17	18~19	20	21	22~30
設定値	5 1	1	030	030	0	3	05	1	1	0	0	00	1	0	すべて0

フィールド2（項目名：“価格”）

項目名	フィールド指定	印字指定								入力チェック指定						コピー指定		
		文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦倍	横倍	検査	予備	表現	0補填	フリット	印字指定	コピー	コピー先1	コピー先2
桁位置	1~2	3	4~6	7~9	10	11	12~13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23~26	27~30
設定値	2 0	0	060	140	0	3	04	1	1	5	0	1	1	1	0	1	0409	すべて0

フィールド3（項目名：“日付”）

項目名	フィールド指定	印字指定								入力チェック指定						コピー指定
		文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦倍	横倍	検査	加算	表現	予備	フリット	予備	
桁位置	1~2	3	4~6	7~9	10	11	12~13	14	15	16	17	18	19	20	21	22~30
設定値	3 0	2	110	050	0	3	08	1	1	6	0	0	0	0	0	すべて0

フィールド4（項目名：“バーコード”）

項目名	フィールド指定	印字指定								入力チェック指定					コピー指定	
		文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	比率	倍率	バー天地	CD	フリット	スケッチ	コピー	コピー先1,2	
桁位置	1~2	3	4~6	7~9	10	11	12~13	14	15	16~18	19	20	21	22	23~30	
設定値	7 1	3	140	048	0	5	13	0	2	064	1	1	0	2	すべて0	

フィールド5（項目名：“ブラマーク”）

項目名	フィールド指定	印字指定					入力チェック指定					コピー指定
		文字種	縦位置	横位置	回転	予備	検査	予備	フリット	予備		
桁位置	1~2	3	4~6	7~9	10	11~15	16	17~19	20	21	22~30	
設定値	6 0	0	230	048	0	0	0	0	0	1	0	すべて0

フィールド6

発行枚数を入力するフィールドですので、すべて0を設定します。

初期設定をしましょう

ラベルを発行する前に初期設定を行ってください。

電源を入れて、**(設定)**キーを押してください。

フォーマットNo **数**
[]
フォーマット* (30)

「00」を入力し、**(登録)**キーを押してください。

プリセット登録先
カード **本体**

(←)**(→)** を押してプリセット登録先を選び、**(登録)**キーを押してください。

- カード……プリセットデータをPCカードに登録します。
- 本体……プリセットデータをプリンタ本体に登録します。

プリセットNo印字
する しない

(←)**(→)** を押してプリセット番号を印字するかどうかを選び、**(登録)**キーを押してください。

発行形態
連続 剥離

(←)**(→)** を押して発行形態を選び、**(登録)**キーを押してください。

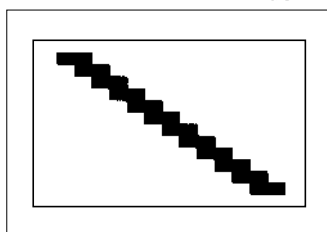
- 連続……必要な枚数のラベルを、連続して印字することができます（連続発行）。
- 剥離……台紙から1枚ずつはがして発行することが出来ます（剥離発行）。

チェックラベル
あり なし

上の画面で「連続」を選んだときだけ、この画面が表示されます。

(←)**(→)** を押してチェックラベルを印字するかどうかを選び、**(登録)**を押します。

チェックラベルの印字例



リアルタイム印字
ON **OFF**

発行形態で「剥離」を選んだとき、この画面が表示されます。

- ON……**(発行)**キーを押す毎に本体内蔵カレンダーにアクセスしカレンダーフィールドをリアルタイムに印字します。
- OFF……下の画面に進みます。

都度発行機能
あり なし

上の画面で「OFF」を選んだときだけ、この画面が表示されます。

- あり……**(発行)**キーを押す毎にラベルを発行します。
- なし……発行されたラベルを台紙からはがすと次の1枚が発行されます。

ラベルを発行してみよう

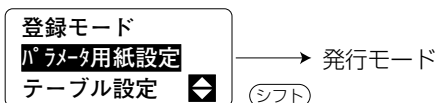
ここでは、「フォーマットを作ってみよう」で登録したフォーマット1を発行してみます。

発行するまえに

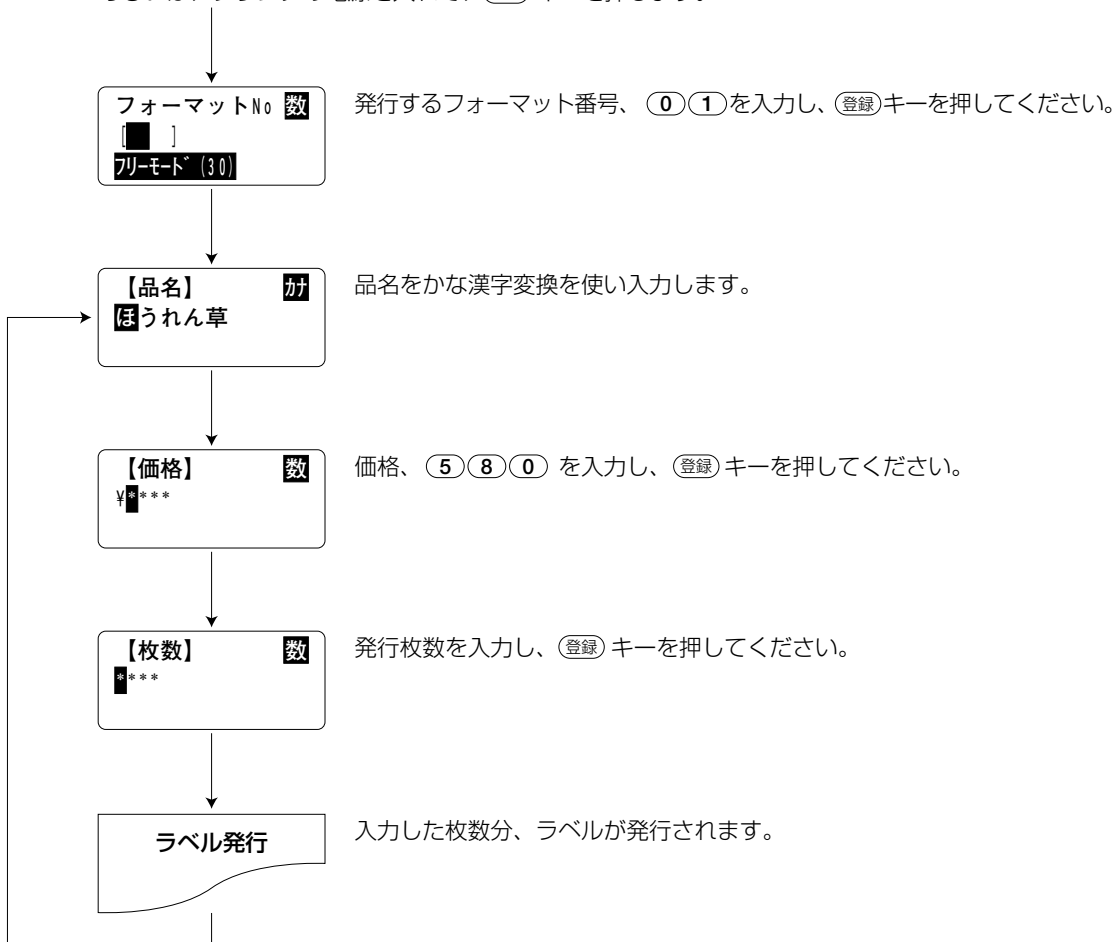
- パラメータ登録と用紙設定をしましたか？
- プリンタにラベルがセットされていますか？

登録モードから発行モードに移るとき

(設定) キーを押すか、(前画面) キーを何度か押して、登録モードの先頭画面に戻ります。
ここで(シフト) キーを押すと、発行モードに移ります。



あるいは、プリンタの電源を入れて、(設定) キーを押します。



- フィールド3は、プリンタ内蔵のカレンダーを使って自動的に印字するため表示されません。
- フィールド4は、コピーを受けるフィールドですので表示されません。

第4章 プリセット

プリセットについて説明します。

プリセットとは

繰り返し発行するようなデータを、本プリンタ内部メモリまたは、本プリンタにセットしたPCカードに登録すると、登録したデータ呼び出して、ラベルを簡単に発行することができます。この機能を、「プリセット」と呼び、登録したデータを、「プリセットデータ」と呼びます。

たとえば、ほとんどの印字項目が同じで、一部の項目だけ、印字が変わるようなフォーマットを発行する場合、発行するたびに、すべての項目を入力するのは面倒です。

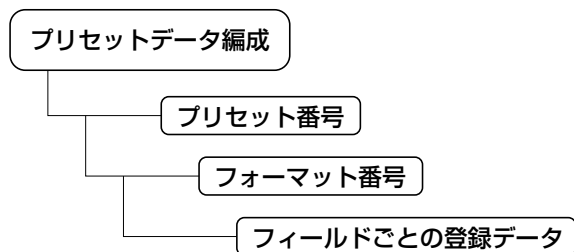
こんなとき、そのフォーマットとデータを、プリセット登録しておく、発行するときはプリセットを呼び出せば、内容が変わる項目を入力するだけで、発行することができます。

プリセット機能を使うときは、プリセットデータを識別する番号として、1~9999の「プリセット番号」をつけて、登録します。

このプリセット番号を使って、登録したデータ呼び出して、発行することができます。

プリセット発行は、登録するときに設定したフォーマットで発行されます。

(たとえば、フォーマット1でプリセット登録したときは、フォーマット1のパラメータとして設定した印字位置、文字の種類、大きさなどにもとづいて発行されます。)



プリセットデータは、専用のPCカードに30フィールドの場合、最大2000件登録できます。詳しくは、「付録 データ格納件数」をご覧ください。

- 重要**
- プリセット登録をする場合は、初期設定モードでプリセット登録先（本体、カード）を選択してください。
※工場出荷時のプリセット登録先は「本体」となります。
 - プリセットデータ登録後に印字パラメータを変更しても、登録時に設定されているパラメータにもとづいて、発行されることがあります。
 - プリセットデータ登録後に、印字パラメータの内容を大きく変更した場合は、すでに登録したデータを削除し、もう一度登録してください。

プリセットを使ってみましょう

登録するフォーマットのパラメータ設定と、用紙設定をしていますか？

パラメータ設定と用紙設定したフォーマットのみ、プリセットデータとして登録できます。

※プリセット登録先が「カード」の場合

ただし、プリンタ本体にも登録することができます。

本体に登録する場合は、77ページ「プリセットデータの登録」からの操作となります。

PCカードがセットされていますか？

プリセットデータは、PCカードに登録されます。

本プリンタに、PCカードがセットされているか確認してください。

PCカードをクリアしましたか？

PCカードは、はじめてお使いになるまえに、クリアしなければなりません。

クリアしていないときは、次項の「カードクリア手順」に従って、クリアしてください。



重要

クリアしていないPCカードを使うと、正しく動作しませんので、注意してください。

プリセットの登録先の選択については、8ページ「操作画面の構成」の初期設定モードを参照してください。

プリセットの登録件数については、「付録 データ格納件数」をご覧ください。

プリセット登録での注意事項

プリセット番号は本体・PCカードで同一の番号を登録することができます。

同一の番号が存在した場合

- プリセット発行
プリンタで選択されているプリセット登録先が優先されます。
- プリセット変更・削除
プリンタで選択されているプリセット登録先のみが有効となります。

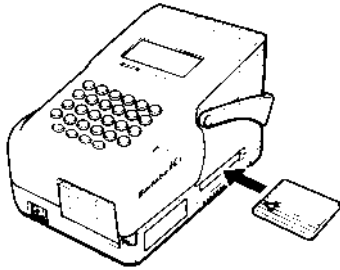
カードクリア手順

重要

- はじめてPCカードを使うまえに、必ず、カードクリアを行ってください。
ただし、プリセットデータを登録している場合は、カードクリアを行うと、登録データがすべて消えてしまいますので、注意してください。

1. PCカードをセットします。

プリンタ横のカードスロットへセットしてください。



2. データメンテナンスモードに入り、クリアします。

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏮ ⏭

⑥ 登録 キーを押してください。

カードの種類
登録用
バックアップ ⏮ ⏭

① キーで、「登録用」^{※注}を選んで、⑥ 登録 キーを押してください。

カードクリアOK?
はい いいえ ⏮ ⏭

④ キーでは、「はい」を選んで、⑥ 登録 キーを押してください。

カードクリア中

カードをクリアします。
(クリア中はこの画面が表示されます)

※注

■バックアップ

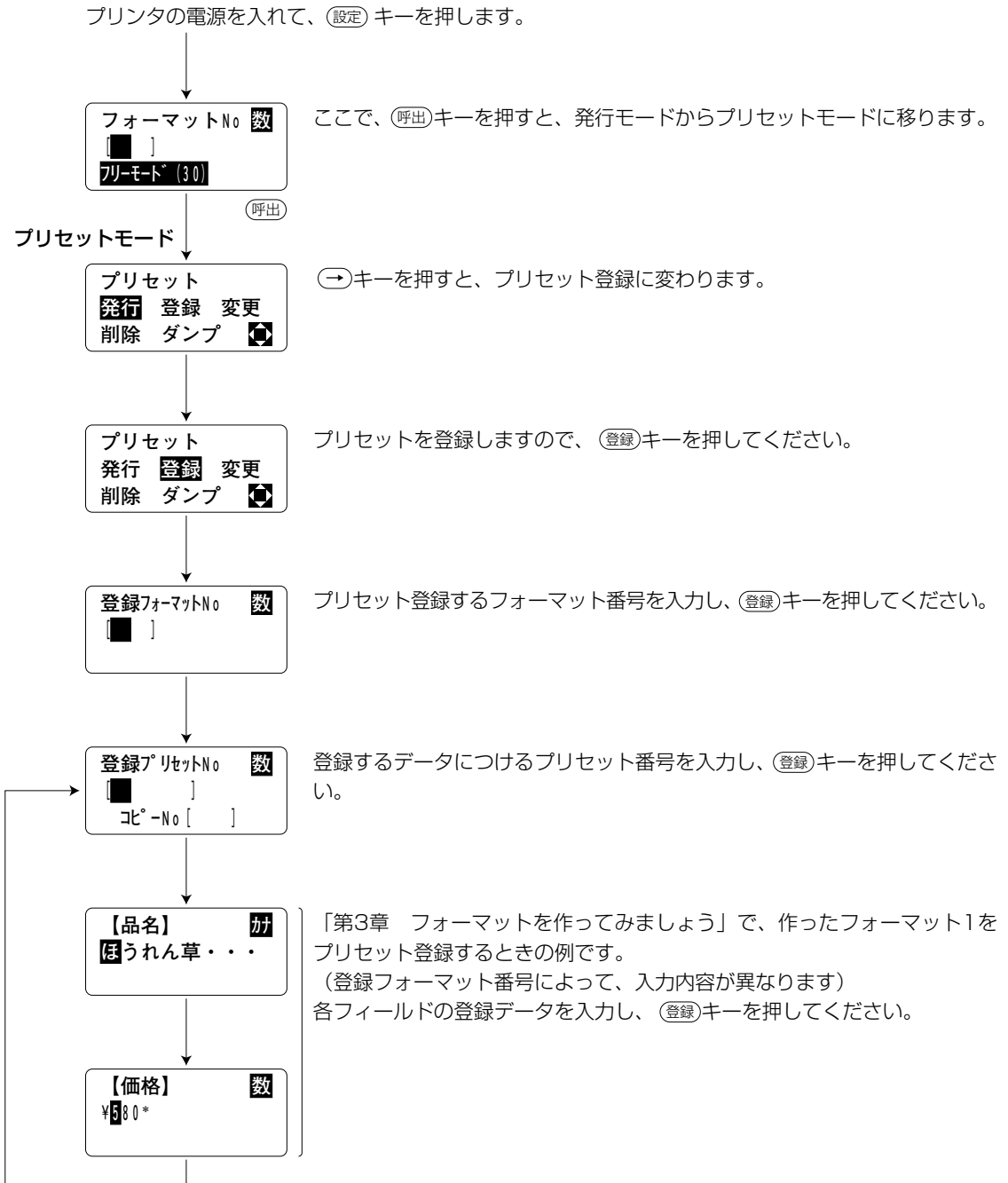
印字パラメータや本体プリセットやテーブルデータをカードにバックアップするときにクリアするモード

登録用

プリセットの登録用に使うときにクリアするモード

プリセットデータの登録

ここではプリセットデータを登録する方法について、説明します。



すべてのフィールドデータを入力後、(登録)キーを押すとプリセットデータが1件、登録されます。プリセットNoを自動カウントアップし、登録プリセットNo入力に戻りますので、続けて登録するときは、繰り返し入力してください。

プリセットデータの発行

ここではプリセットデータを発行する方法について、説明します。

プリンタの電源を入れて、**(設定)**キーを押します。

フォーマットNo **数**
[]
フォーマット (30)

ここで、**(呼出)**キーを押すと、発行モードからプリセットモードに移ります。

(呼出)

プリセットモード

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

プリセットを発行しますので、**(登録)**キーを押してください。

発行プリセットNo **数**
[]
2001/01/01 12:00

呼び出して発行するプリセット番号を入力し、**(登録)**キーを押してください。

【品名】 **カナ**
ほうれん草...

前項で登録したプリセットデータを発行するときの例です。
(登録したプリセットの内容やフォーマット番号によって、表示内容が異なります)

各フィールドのデータを確認しながら、**(登録)**キーを押してください。

【価格】 **数**
¥580*

【枚数】 **数**

発行枚数を入力し、**(登録)**キーを押すと登録したプリセットデータが発行されます。

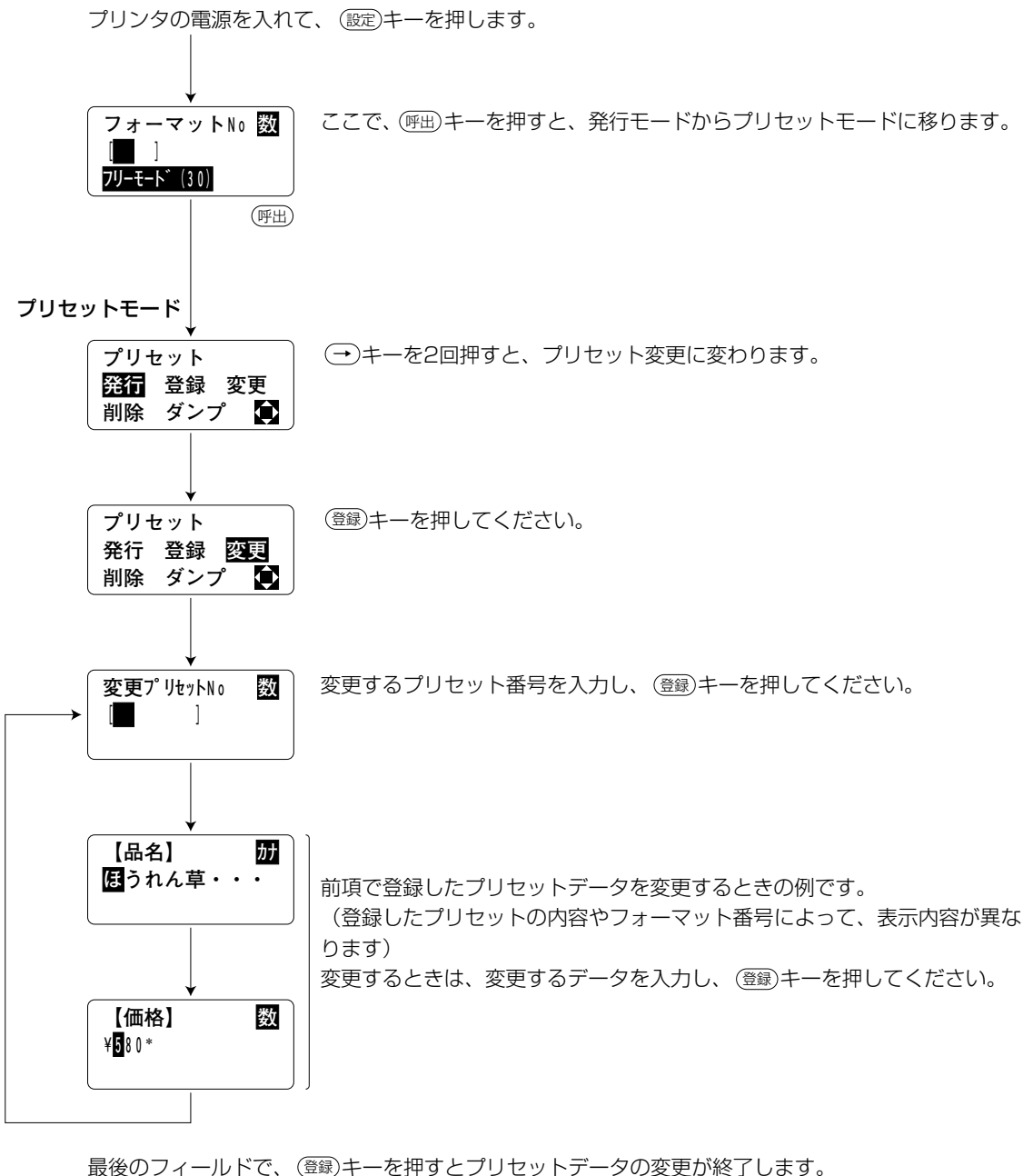
ラベル発行



(設定)キーを押すと、プリセットモードから通常の実行モードに戻ります。

プリセットデータの変更

ここでは登録したプリセットデータを変更する方法について説明します。



プリセットデータの削除

ここでは登録したプリセットデータを削除する方法について説明します。

プリンタの電源を入れて、**設定**キーを押します。

フォーマットNo 数
[]
リモート (30)

ここで、**呼出**キーを押すと、発行モードからプリセットモードに移ります。

呼出

プリセットモード

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

←キーを3回又は**↓**キーを1回押すと、プリセット削除に変わります。

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

登録キーを押してください。

削除プリセットNo 数
[]

削除するプリセット番号を入力し、**登録**キーを押してください。

削除しますか？
はい いいえ

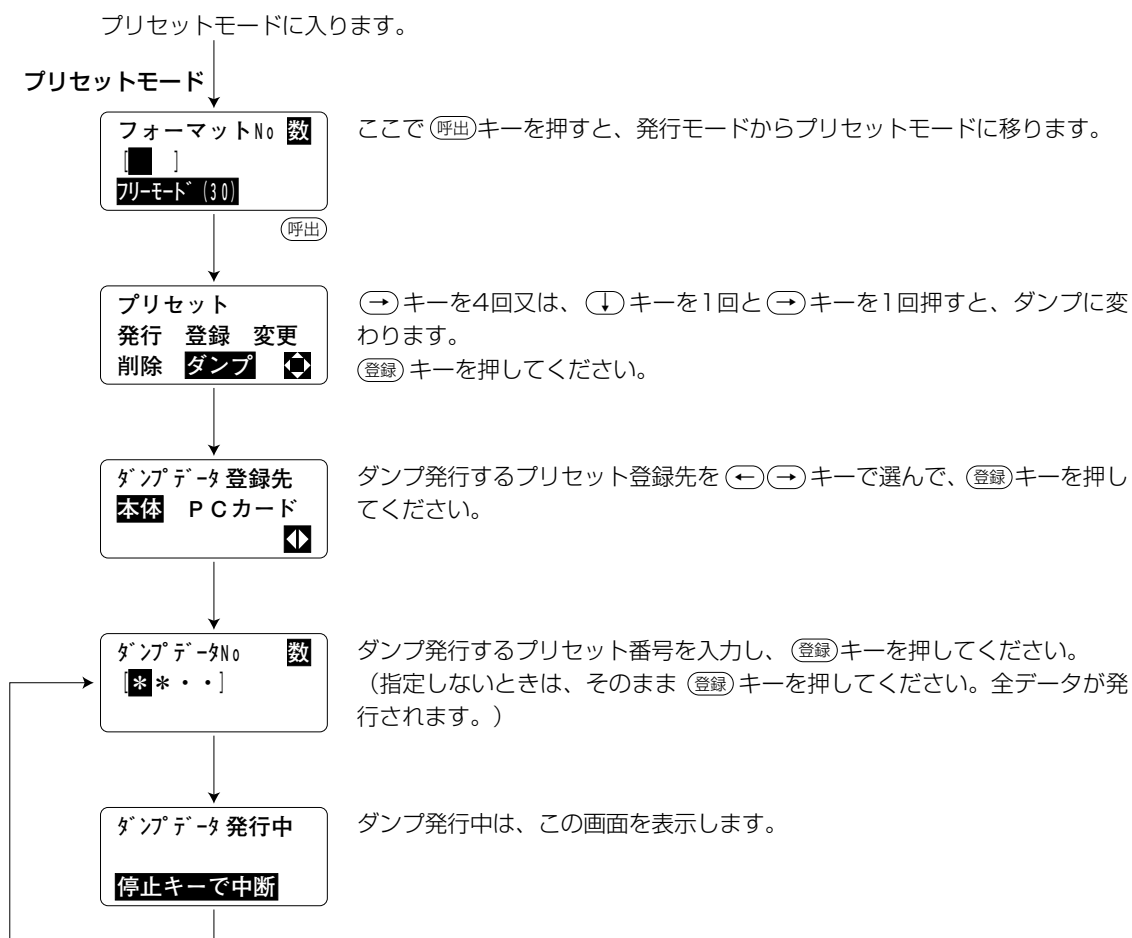
削除するときは、**←**キーで「はい」を選んで、**登録**キーを押してください。
プリセットデータが1件、削除されます。(ブザーが鳴ります。)

プリセットデータのダンプ発行

登録したプリセット内容を確認するために、プリセットデータを一括して印字する機能を、「プリセットダンプ発行」と呼びます。

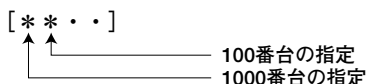
確認したいプリセットデータの範囲を指定して発行しますので、任意のデータだけ確認できます。たとえば、100件のプリセットデータをダンプすると、100枚のラベルが発行されます。

ここではプリセットデータをダンプする方法について説明します。



ダンプ指定について

プリセット番号の1000番台と100番台を、それぞれ指定して発行することができます。



00指定時：01～99までのデータを検索して発行します。

重要 ダンプ発行はあくまでも、プリセットの内容を確認するためのものです。同じサイズのラベルに連続印字して発行されますので、ラベルサイズが違うフォーマットのプリセットを一括発行すると、データの一部が印字されないことがあります。一括して発行するときは、同じラベルサイズに設定しているプリセットを指定してください。

第5章 テーブル

漢字テーブル

漢字テーブルについて説明します。

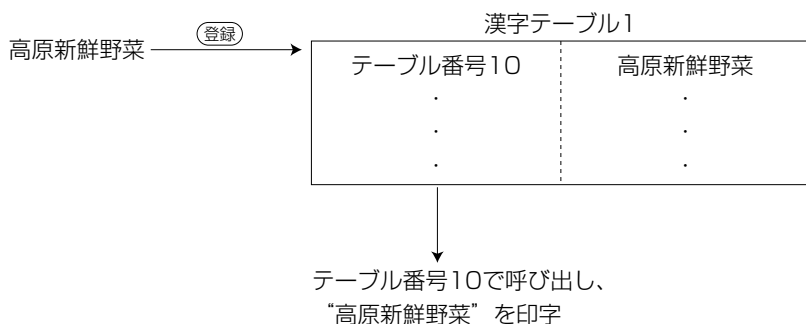
本プリンタは、漢字を印字することができますが、あらかじめ漢字テーブルに登録しておく、呼び出して簡単に発行することができます。

登録するデータには、テーブル番号（1～9999）をつけて登録し、そのテーブル番号で、呼び出して印字します。

漢字テーブルは、1、2の2種類ありますので、使い方や登録内容に応じて、使い分けてください。

漢字テーブルは、1件16文字以内で、本体に登録されます。（登録件数は、「付録 データ格納件数」をご覧ください。）

テーブルの使用例



漢字テーブルを使って印字するための設定

パラメータ登録（漢字を印字するフィールドの設定）

フィールド指定：漢字テーブル印字
テーブル種類：テーブル1、2のどちらか

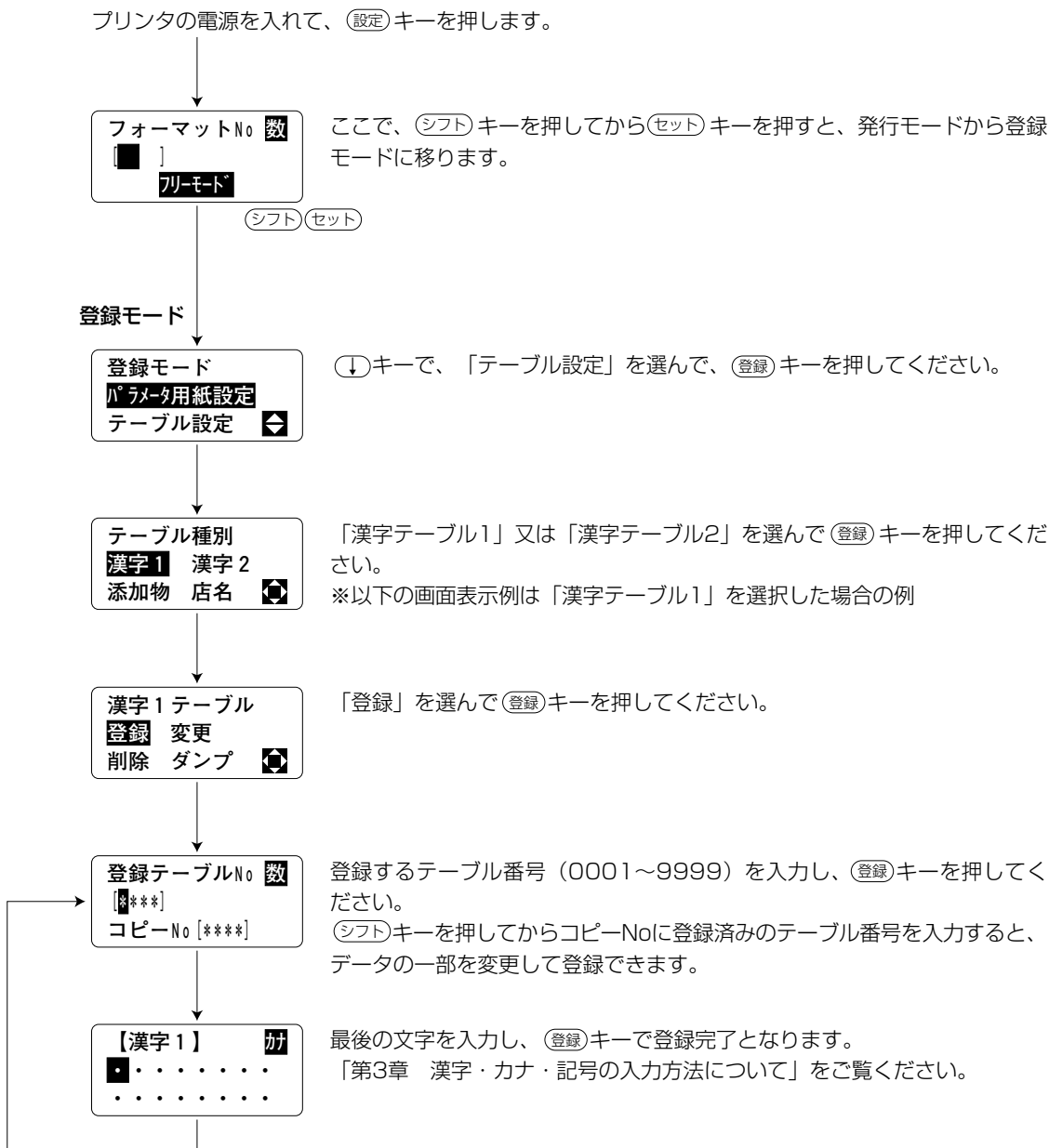
テーブル登録

漢字テーブル1か2に、テーブル番号をつけて登録

テーブル番号を入力し、テーブルから呼び出して印字

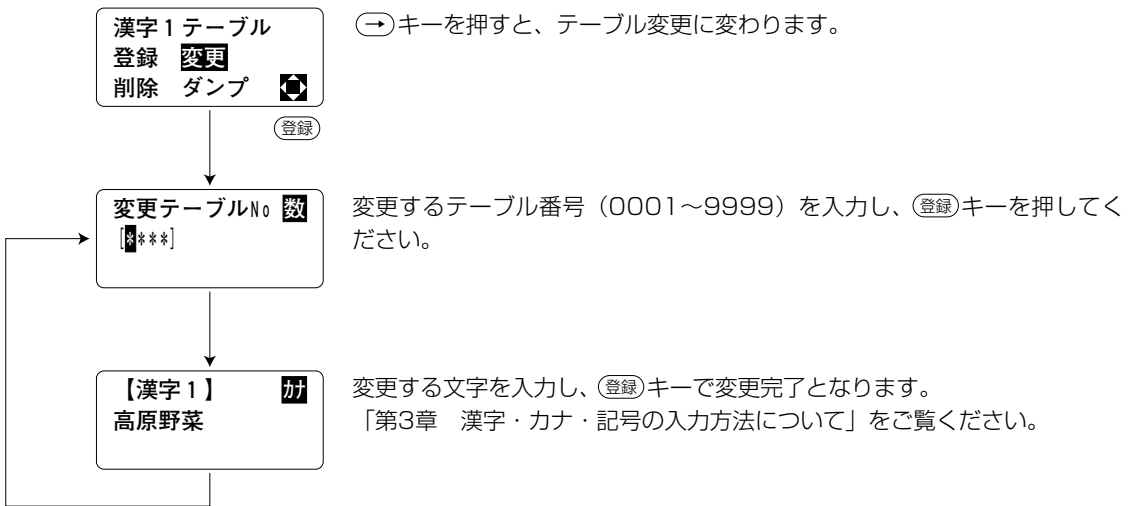
漢字テーブルの登録

テーブルの登録方法について説明します。



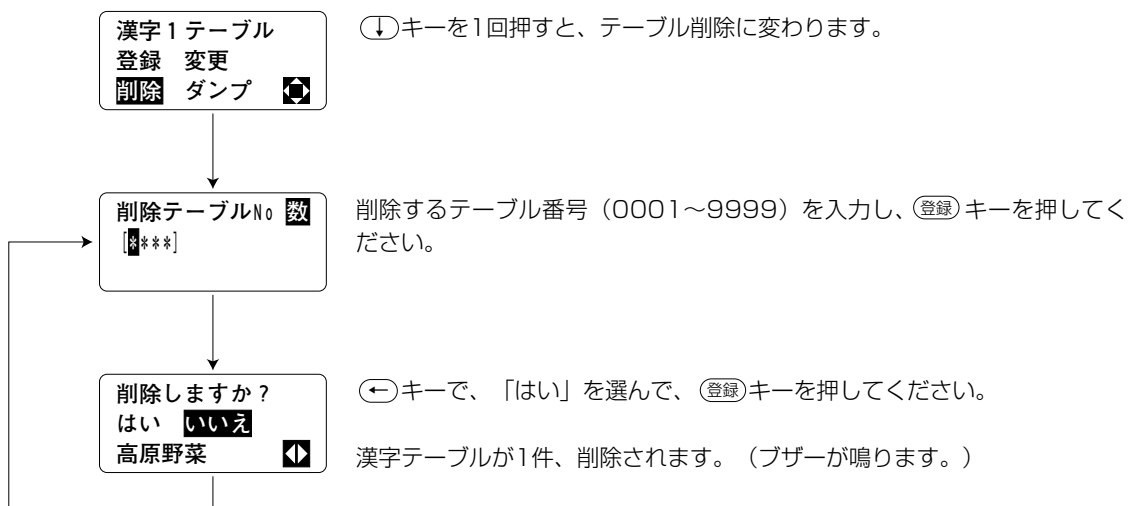
漢字テーブルの変更

テーブルの変更方法について説明します。



漢字テーブルの削除

テーブルの削除方法について説明します。



画面に削除するテーブルデータを表示します。

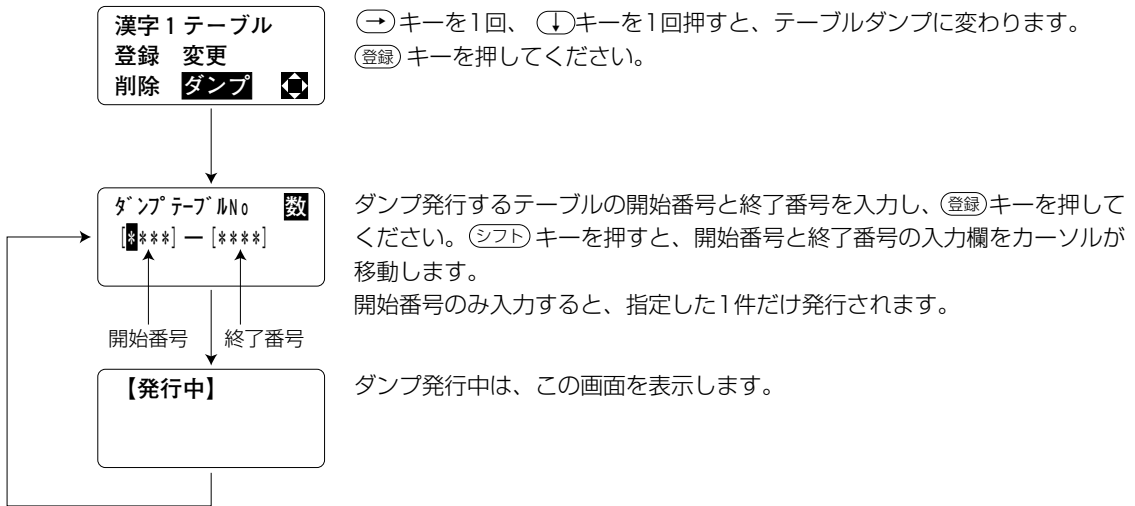
画面に表示しきれないデータを確認する場合は、**↓**キーでテーブルデータにカーソルを表示させ**→**キーでテーブルデータをスクロールさせて確認してください。

漢字テーブルのダンプ発行

登録したテーブルの内容を確認するために、テーブルデータを一括して印字する機能を、「テーブルのダンプ発行」と呼びます。

確認したいテーブルデータの範囲を指定して発行しますので、任意のデータだけ確認できます。

テーブルのダンプ方法について説明します。



重要 ダンプ発行は直前まで発行していたラベルを想定して発行されます。ラベルを変えずに、そのまま同じラベルをセットしてください。（但し、標準的なピッチ25mm×幅32mmのラベルにもとづいたレイアウトで印字されます。）

あくまでもテーブル内容を確認するためのものですので、印字位置、レイアウトなどは変更できません。

添加物テーブル

添加物テーブルについて説明します。

本プリンタは、漢字フィールドに添加物を複数（32個まで）組み合わせで印字することができますが、あらかじめ添加物テーブルに登録しておく必要があります。

登録するデータには、テーブル番号（0001～9999、-001～-999）をつけて登録し、そのテーブル番号で、呼び出して印字します。

-001～-999までのテーブル番号は、入力したテーブルデータにアンダーラインを付加して印字します。

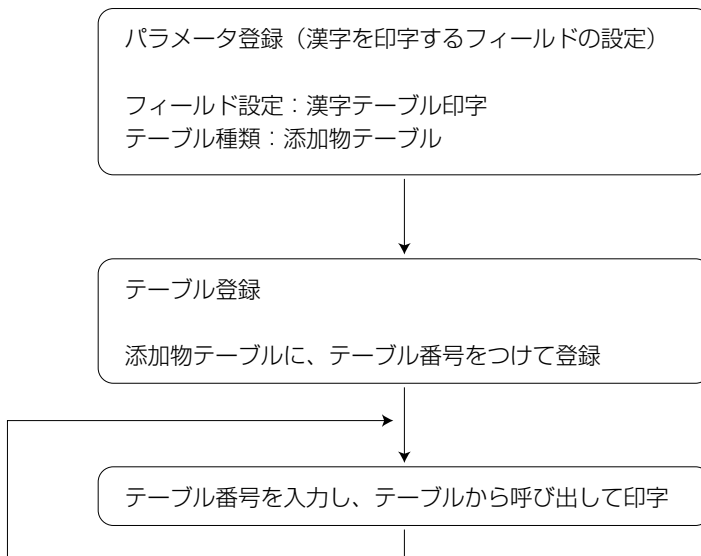
添加物テーブルは、1件16文字以内でプリンタ本体に登録されます。（登録件数は、500件です。）

テーブルの使用例

添加物テーブル

テーブル番号 1	砂糖
// 2	塩
// 3	みりん
// -001	<u>PA</u>
// -002	<u>PET</u>
// -003	<u>PS</u>

添加物テーブルを使って印字するための設定



添加物テーブルの登録

テーブルの登録方法について説明します。

プリンタの電源を入れて、(設定) キーを押します。

フォーマットNo 数
[]
7リ-モード

ここで、(シフト) キーを押してから(セット) キーを押すと、発行モードから登録モードに移ります。

(シフト) (セット)

登録モード

登録モード
パラメタ用紙設定
テーブル設定 [上下]

(下)キーで、「テーブル設定」を選んで、(登録) キーを押してください。

テーブル種別
漢字1 漢字2
添加物 店名 [上下]

(下)キーで「添加物」を選んで、(登録) キーを押してください。

添加物テーブル
登録 変更
削除 ダンプ [上下]

「登録」を選んで(登録)キーを押してください。

登録テーブルNo 数
[***]
コピーNo [***]

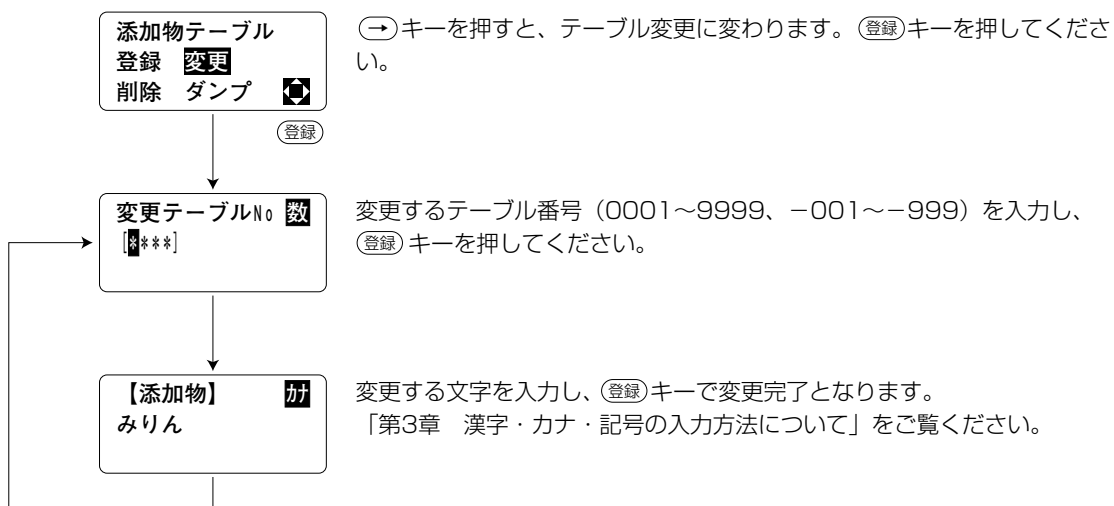
登録するテーブル番号 (0001~9999、-001~-999) を入力し、(登録) キーを押してください。
(シフト) キーを押してからコピーNoに登録済みのテーブル番号を入力すると、データの一部を変更して登録できます。

【添加物】 加
[.]
.

最後の文字を入力し、(登録) キーで登録完了となります。
「第3章 漢字・カナ・記号の入力方法について」をご覧ください。

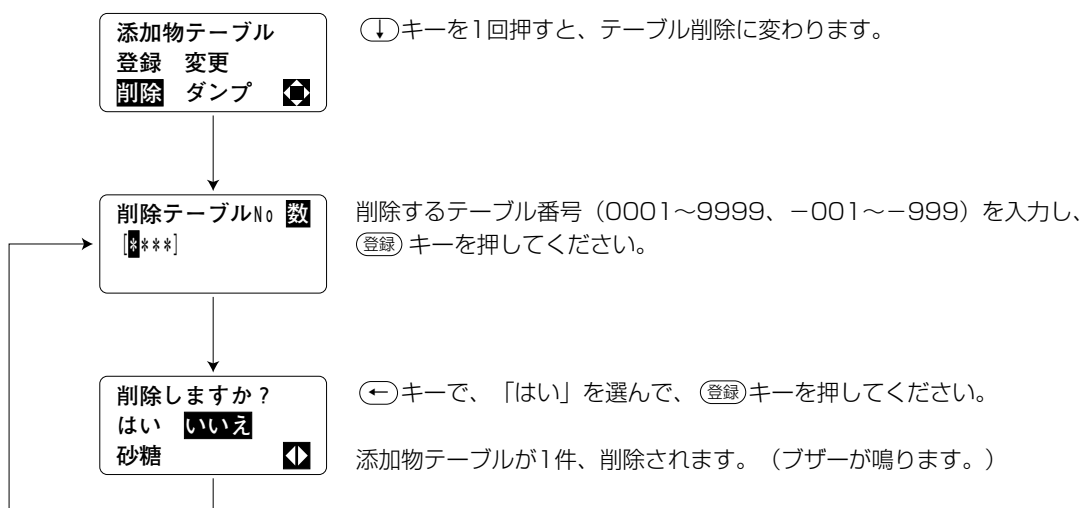
添加物テーブルの変更

テーブルの変更方法について説明します。



添加物テーブルの削除

テーブルの削除方法について説明します。



画面に削除するテーブルデータを表示します。

画面に表示しきれないデータを確認する場合は、**↓**キーでテーブルデータにカーソルを表示させ**→**キーでテーブルデータをスクロールさせて確認してください。

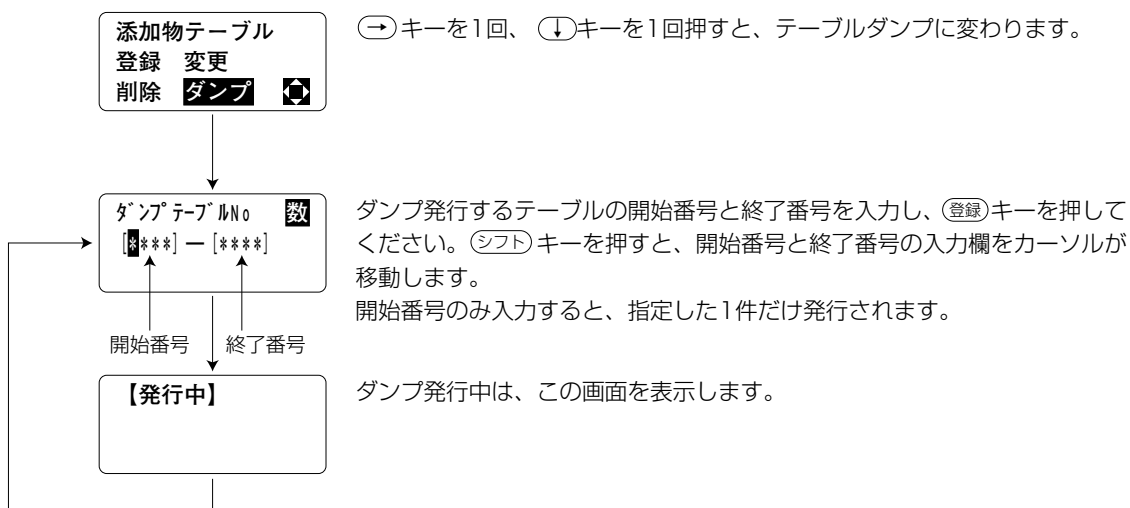
ただし、テーブル番号-001~-999のテーブルデータのアンダーラインは表示されません。

添加物テーブルのダンプ発行

登録した添加物テーブルの内容を確認するために、テーブルデータを一括して印字する機能を、「テーブルのダンプ発行」と呼びます。

確認したい添加物テーブルデータの範囲を指定して発行しますので、任意のデータだけ確認できます。

テーブルのダンプ方法について説明します。



重要 ダンプ発行は直前まで発行していたラベルを想定して発行されます。ラベルを変えずに、そのまま同じラベルをセットしてください。（但し、標準的なピッチ25mm×幅32mmのラベルにもとづいたレイアウトで印字されます。）
あくまでもテーブル内容を確認するためのものですので、印字位置、レイアウトなどは変更できません。

参考 ‘-’ 指定ありと ‘-’ 指定なしのテーブルデータを同時にダンプ印字することはできません。
‘-’ 指定ありの場合は、アンダーライン付きのテーブルデータを印字します。また、‘-’ 指定なしの場合は、アンダーラインなしのテーブルデータを印字します。

店名テーブル

店名テーブルについて説明します。

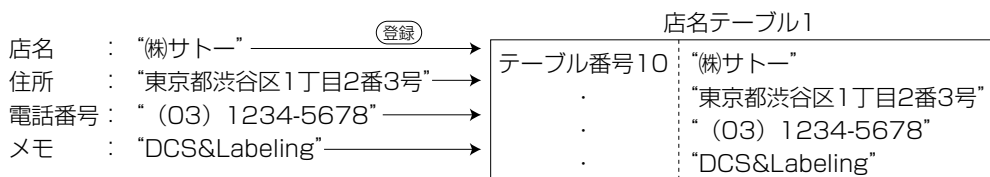
本プリンタは、店名テーブルに店情報（店名、住所、電話番号、メモ）を登録することができます。あらかじめ、店名テーブルに登録しておく、呼び出して、簡単に発行することができます。登録するデータには、テーブル番号（1～9999）をつけて登録し、そのテーブル番号で、呼び出して印字します。

店名テーブルは、プリンタ本体に登録されます。（登録件数は、20件です。）

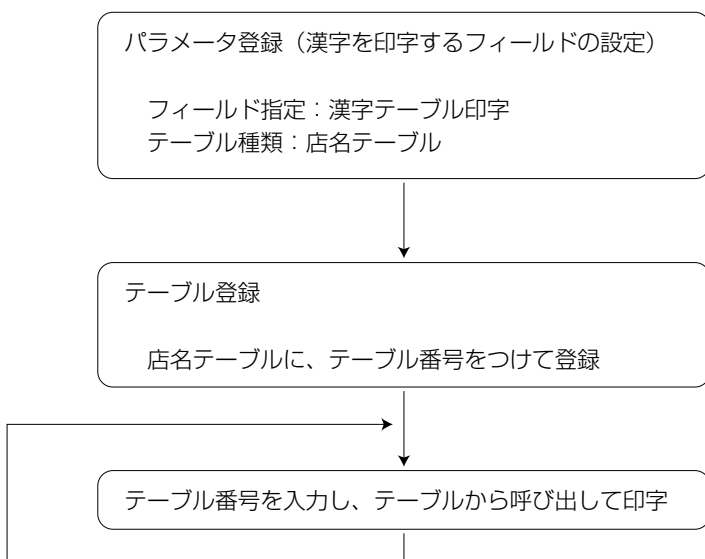
店名テーブルの構成

店名 : 20文字以内
住所 : 30文字以内
電話番号 : 20文字以内
メモ : 20文字以内

店名テーブルの使用例



店名テーブルを使って印字するための設定



店名テーブルの登録

テーブルの登録方法について説明します。

プリンタの電源を入れて、**(設定)** キーを押します。

↓

フォーマットNo	数
■]
7	モード

ここで、**(シフト)** キーを押してから**(セット)** キーを押すと、発行モードから登録モードに移ります。

登録モード

↓

登録モード
パラメータ用紙設定
テーブル設定

(下) キーで、「テーブル設定」を選んで、**(登録)** キーを押してください。

↓

テーブル種別
漢字1 漢字2
添加物 店名

(右) キーと**(下)** キーで、「店名」を選んで、**(登録)** キーを押してください。

↓

店名テーブル
登録 変更
削除 ダンプ

「登録」を選んで**(登録)** キーを押してください。

↓

登録テーブルNo	数
■***]	
コピーNo	****]

登録するテーブル番号 (0001~9999) を入力し、**(登録)** キーを押してください。

(シフト) キーを押してからコピーNoに登録済みのテーブル番号を入力すると、データの一部を変更して登録できます。

↓

【店名】	加
■.....	
.....	

店名を入力し、**(登録)** キーを押すと住所入力画面に移行します。

↓

【住所】	加
■.....	
.....	

住所を入力し、**(登録)** キーを押すと電話番号入力画面に移行します。

↓

【電話番号】	加
■.....	
.....	

電話番号を入力し、**(登録)** キーを押すとメモ入力画面に移行します。

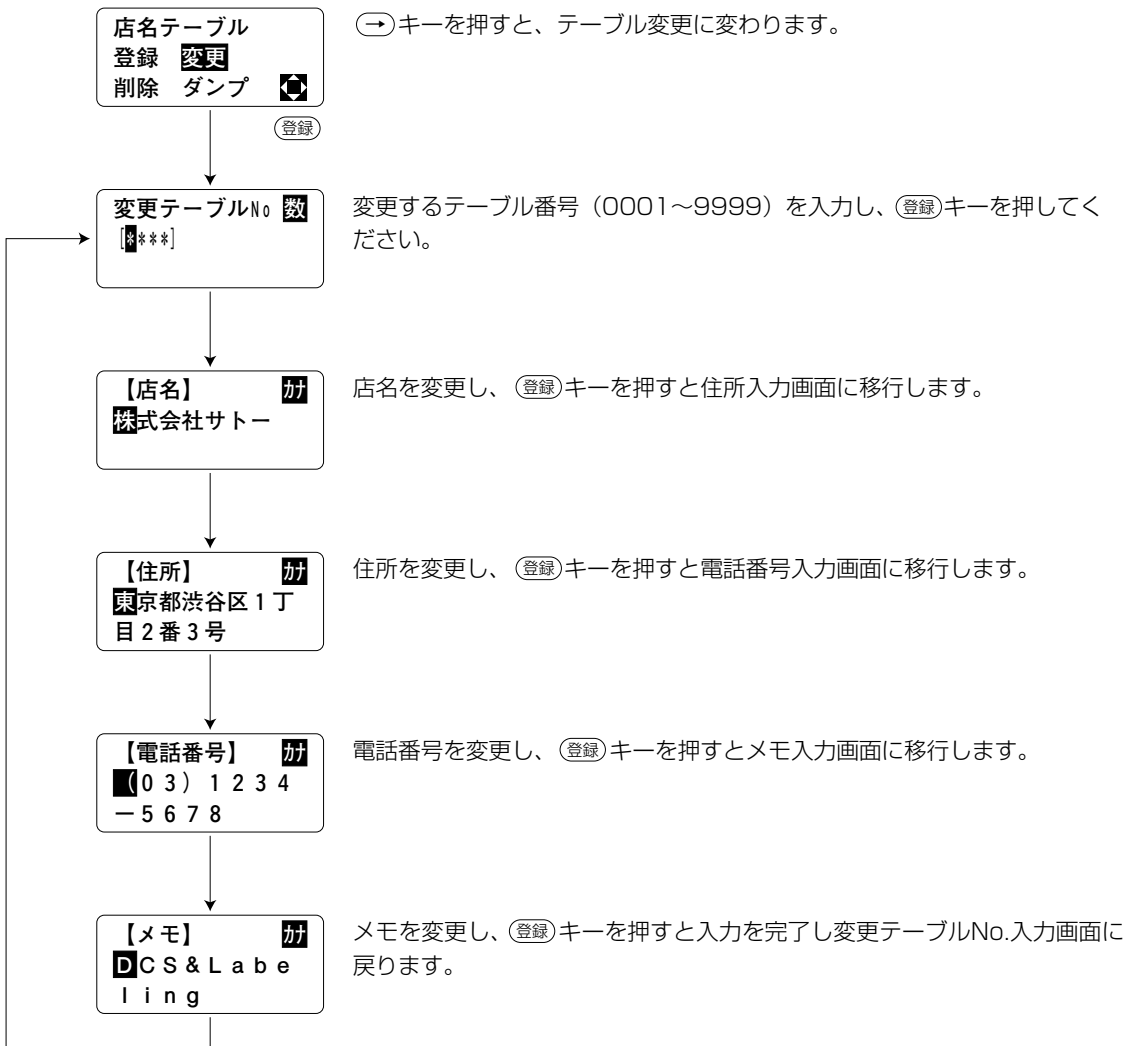
↓

【メモ】	加
■.....	
.....	

メモを入力し、**(登録)** キーを押すと入力を完了し登録テーブルNo.入力画面に戻ります。

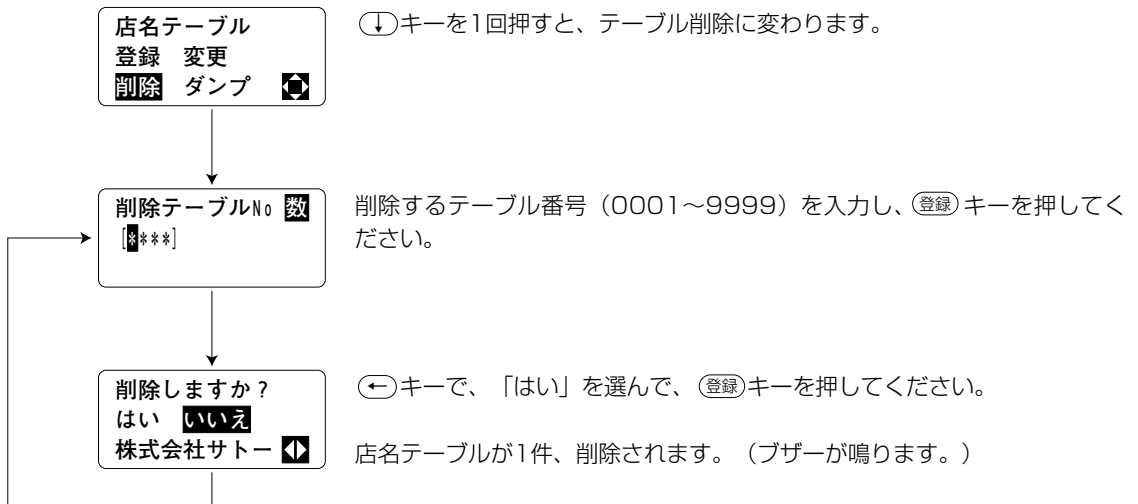
店名テーブルの変更

テーブルの変更方法について説明します。



店名テーブルの削除

テーブルの削除方法について説明します。



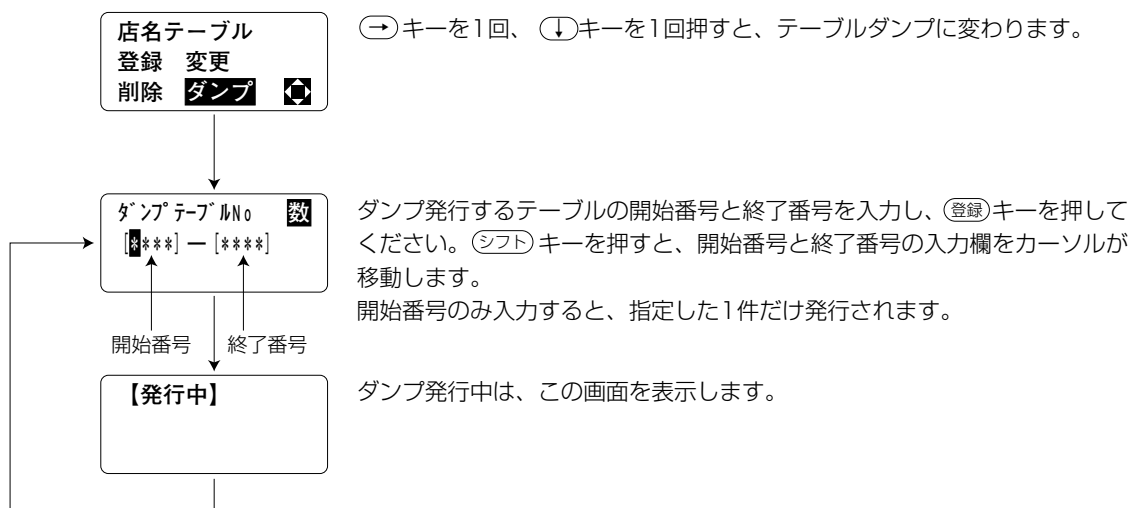
画面に削除するテーブルデータ (店名のみ) を表示します。画面に表示しきれないデータを確認する場合は、↓キーでテーブルデータにカーソルを表示させ→キーでテーブルデータをスクロールさせて確認してください。

店名テーブルのダンプ発行

登録した店名テーブルの内容を確認するために、テーブルデータを一括して印字する機能を、「テーブルのダンプ発行」と呼びます。

確認したい店名テーブルデータの範囲を指定して発行しますので、任意のデータだけ確認できます。

テーブルのダンプ方法について説明します。



重要 ダンプ発行は直前まで発行していたラベルを想定して発行されます。ラベルを変えずに、そのまま同じラベルをセットしてください。（但し、標準的なピッチ25mm×幅32mmのラベルにもとづいたレイアウトで印字されます。）

あくまでもテーブル内容を確認するためのものですので、印字位置、レイアウトなどは変更できません。

第6章 プリンタを使いこなす

本プリンタを使いこなすための操作をまとめています。

PCカードを使う

PCカードはクリアの種類によって2種類の使い方ができます。

登録用カード：プリセットの登録用として使用する。

バックアップカード：プリンタ本体に登録されている印字パラメータ、テーブル、本体プリセットのデータをバックアップする。

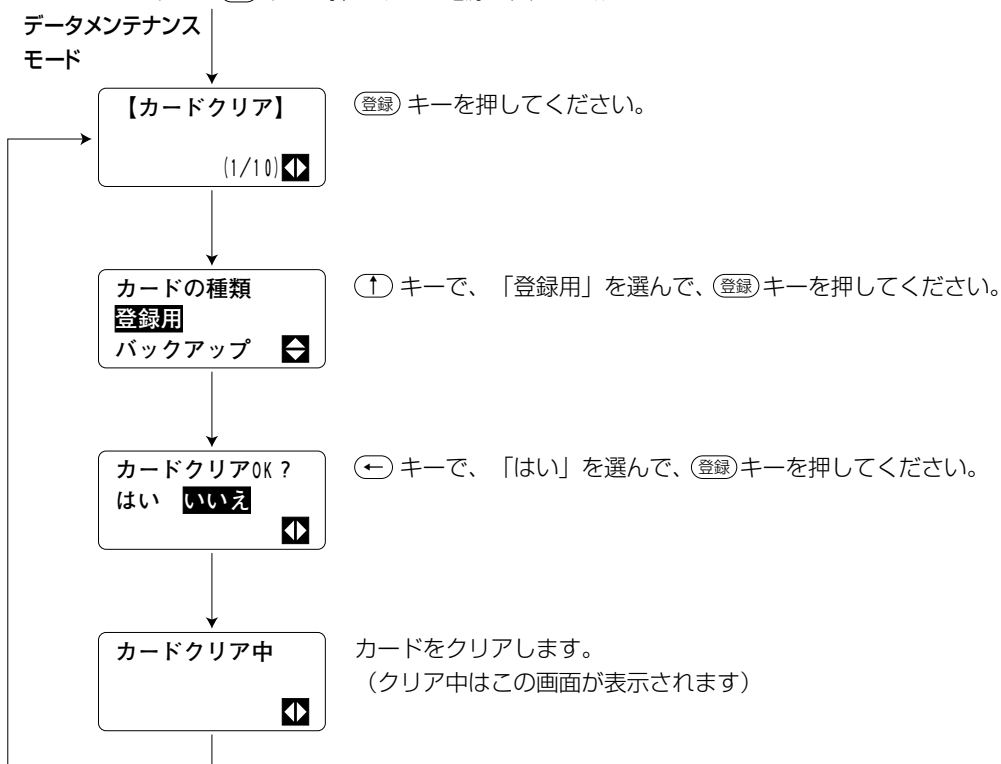
プリセットデータを登録するときに、PCカードを使用することができます。

またPCカードを介して、もう1台のプリンタとデータをやりとりすることもできます。

登録用カードとしてクリアする

登録用のPCカード（オプション品）を準備して、カードスロットにセットしてください。

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。




バックアップ用カードをクリアする


バックアップ用のPCカード（オプション品）を準備して、カードスロットにセットしてください。

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。


データメンテナンス
モード



【カードクリア】
(1/10) 


 キーを押してください。

カードの種類
登録用
バックアップ 

 キーで、「バックアップ用」を選んで、^{※注} キーを押してください。

カードクリアOK？
はい **いいえ** 

 キーで、「はい」を選んで、 キーを押してください。

カードクリア中


カードをクリアします。
(クリア中はこの画面が表示されます)

※注

■バックアップ

印字パラメータや本体プリセットやテーブルデータをカードにバックアップするときにクリアするモード

■登録用

プリセットの登録用に使うときにクリアするモード

プリセットとテーブルデータの転送

プリンタ本体のプリセットデータとテーブルデータまたはPCカードのプリセットデータを、ほかのプリンタ本体またはプリンタにセットしたPCカードに転送することができます。

プリンタとプリンタをケーブルで接続してデータを転送します。

オプション品のデータ転送ケーブルを用意してください。また、PCカードにデータを登録する場合はオプション品のPCカードを用意してください。

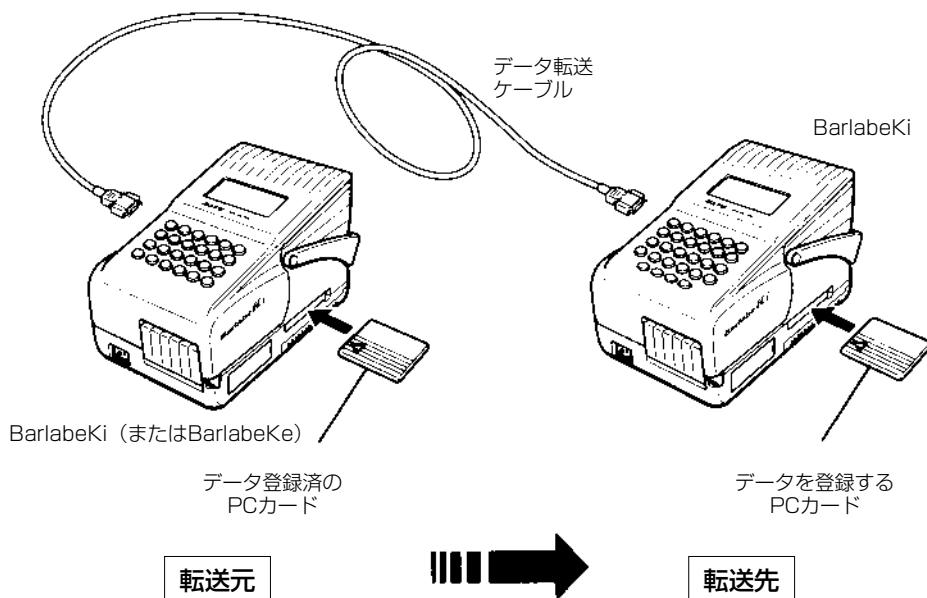
データ転送方法について説明します。

1. Barlabeki (またはBarlabeke) からBarlabekiにデータを転送します。

PCカードに登録したプリセットデータを転送する場合はデータ登録したPCカードを転送元のプリンタにセットします。プリンタ本体に登録したプリセットデータを転送する場合、PCカードをセットする必要はありません。

また、プリセットデータをPCカードに登録する場合は登録用PCカードを転送先のプリンタにセットします。プリンタ本体にプリセットデータを登録する場合、PCカードをセットする必要はありません。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、プリンタとプリンタを接続してください。



BarlabeKi（またはBarlabeKe）からBarlabeKiにプリセットデータとテーブルデータ（漢字、添加物、店名）を転送する場合

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏮

⏪キーを押すと、プリンタ～プリンタ転送に変わります。

【プリセット+テーブル】
プリンタ～プリンタ転送
(2/10) ⏮

Ⓜキーを押してください。

プリンタ～プリンタ転送
送信 受信 ⏮

⏪キー、または⏩キーで、「送信」または「受信」を選んで、Ⓜキーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

①転送先のプリンタは以下の操作を行ってください。

プリセット登録先
本体 カード ⏮

⏪⏩キーを押して、「本体」または「カード」を選び、Ⓜキーを押してください。

データ受信OK？
はい いいえ ⏮

⏪キーで、「はい」を選んで、Ⓜキーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

受信待ち状態です。
転送元のプリンタで、転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

②転送元のプリンタは以下の操作を行ってください。

プリセット登録先
本体 カード
◀▶

◀▶キーを押して、「本体」または「カード」を選び、登録キーを押してください。

データ送信 OK?
はい いいえ
◀▶

◀キーで「はい」を選び、転送先のプリンタが「受信待ち」になってから登録キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件

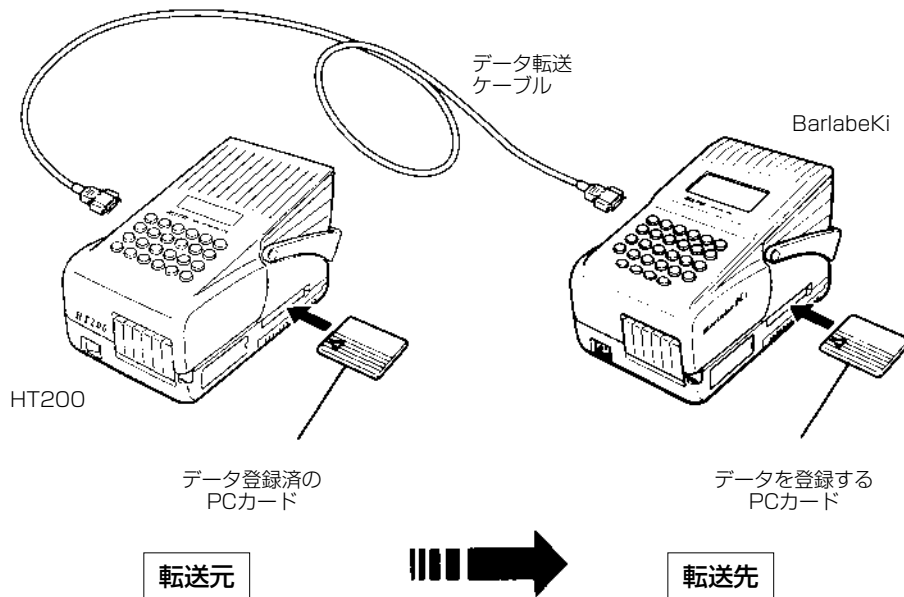
データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

2. HT200からBarlabeKiにデータ転送します。

HT200のPCカードに登録したプリセットデータと漢字テーブルデータを転送する場合はデータ登録したPCカードをHT200にセットします。

また、プリセットデータをPCカードに登録する場合は登録用PCカードをBarlabeKiにセットします。プリンタ本体にプリセットデータを登録する場合、BarlabeKiにPCカードをセットする必要はありません。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、HT200とBarlabeKiを接続してください。

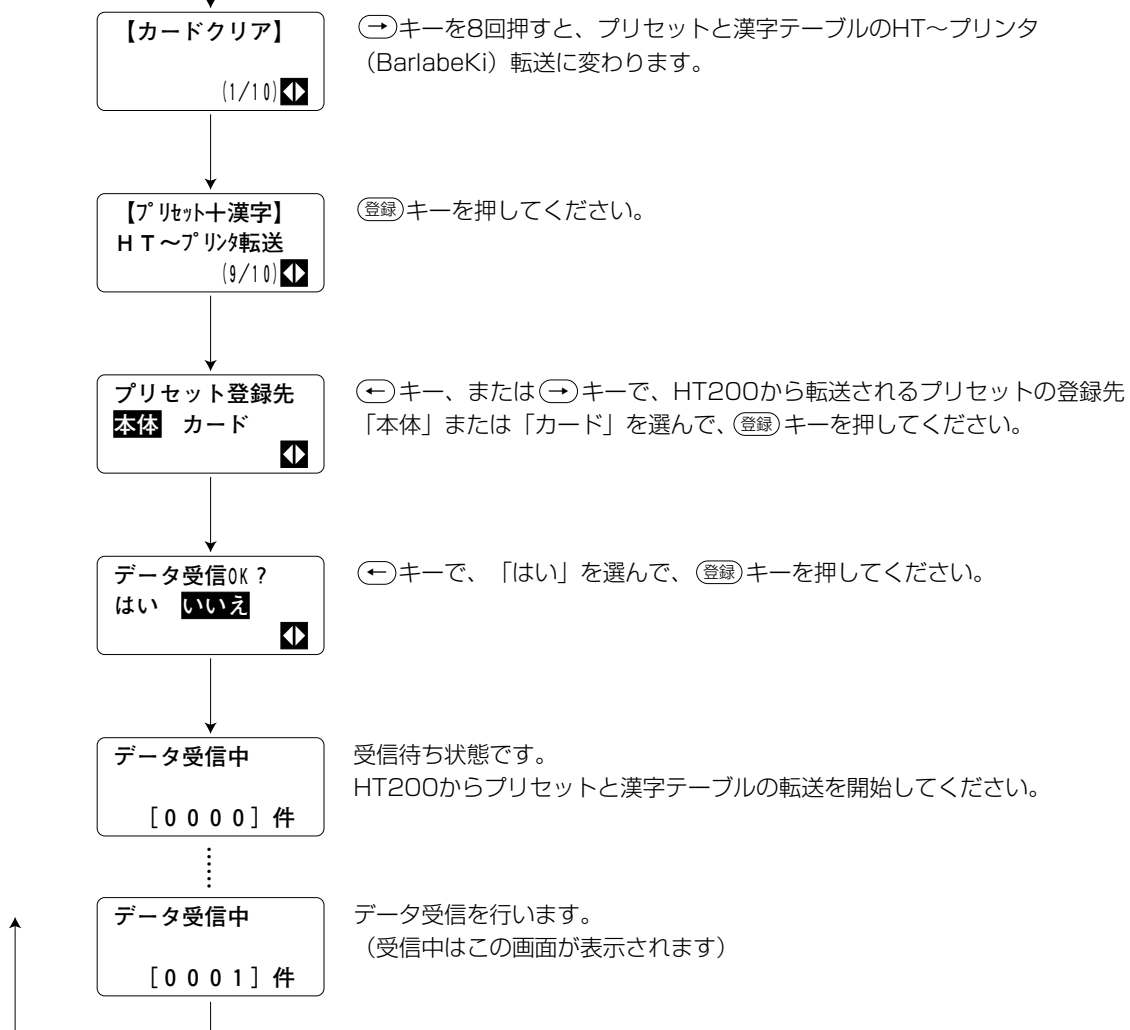


HT200からBarlabeKiへプリセットと漢字テーブルを転送する場合

①BarlabeKi（受信側）の設定

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

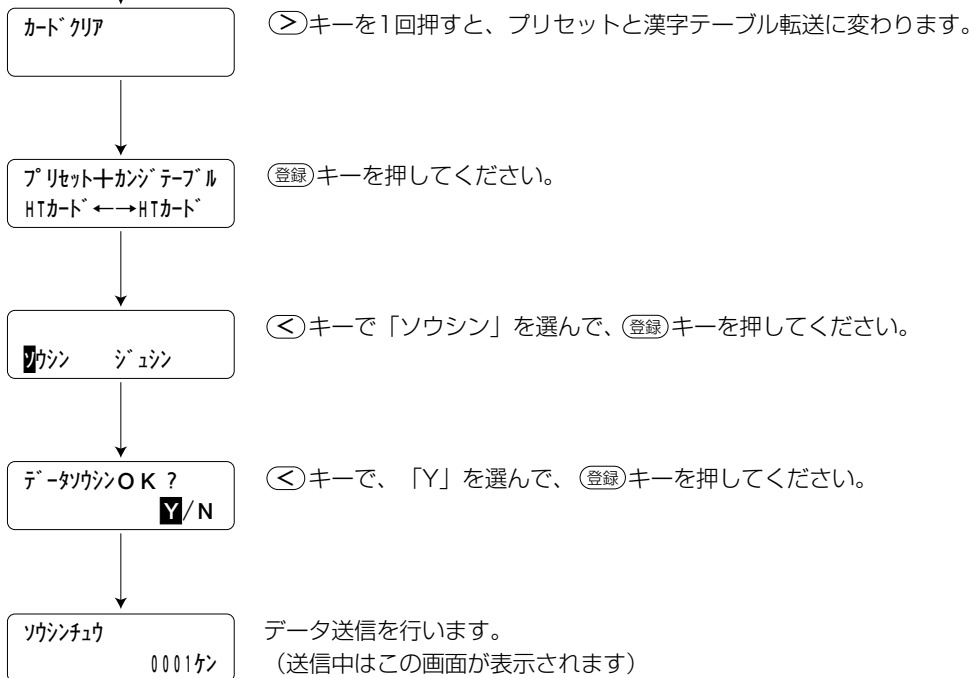
データメンテナンス
モード



②HT200（送信側）の設定

テンキーの **6** キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

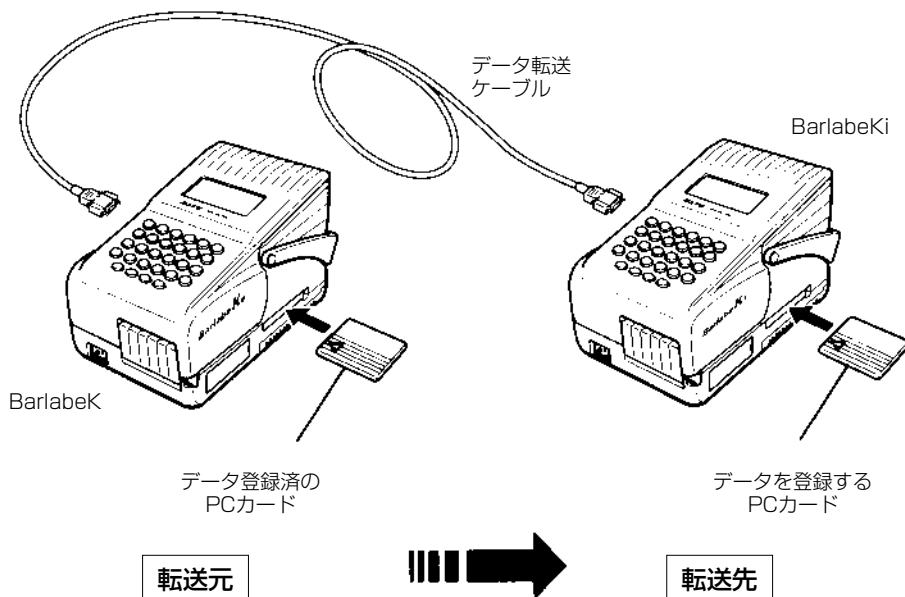


3. BarlabekからBarlabekiにデータ転送します。

BarlabekのPCカードに登録したプリセットデータと漢字テーブルデータを転送する場合はデータ登録したPCカードをBarlabekiにセットします。

また、プリセットデータをPCカードに登録する場合は登録用PCカードをBarlabekiにセットします。プリンタ本体にプリセットデータを登録する場合、BarlabekiにPCカードをセットする必要はありません。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、BarlabekとBarlabekiを接続してください。



BarlabeKからBarlabeKiへプリセットと漢字テーブルを転送する場合

①BarlabeKi（受信側）の設定

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ◀▶

→キーを9回押すと、プリセットと漢字テーブルのBarlabeK～プリンタ（BarlabeKi）転送に変わります。

【プリセット+漢字】
BarlabeK～プリンタ
(10/10) ◀▶

登録キーを押してください。

プリセット登録先
本体 カード ▶◀

←キー、または→キーで、BarlabeKから転送されるプリセットの登録先「本体」または「カード」を選んで、登録キーを押してください。

データ受信OK？
はい いいえ ▶◀

←キーで、「はい」を選んで、登録キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

受信待ち状態です。
BarlabeKからプリセットと漢字テーブルの転送を開始してください。

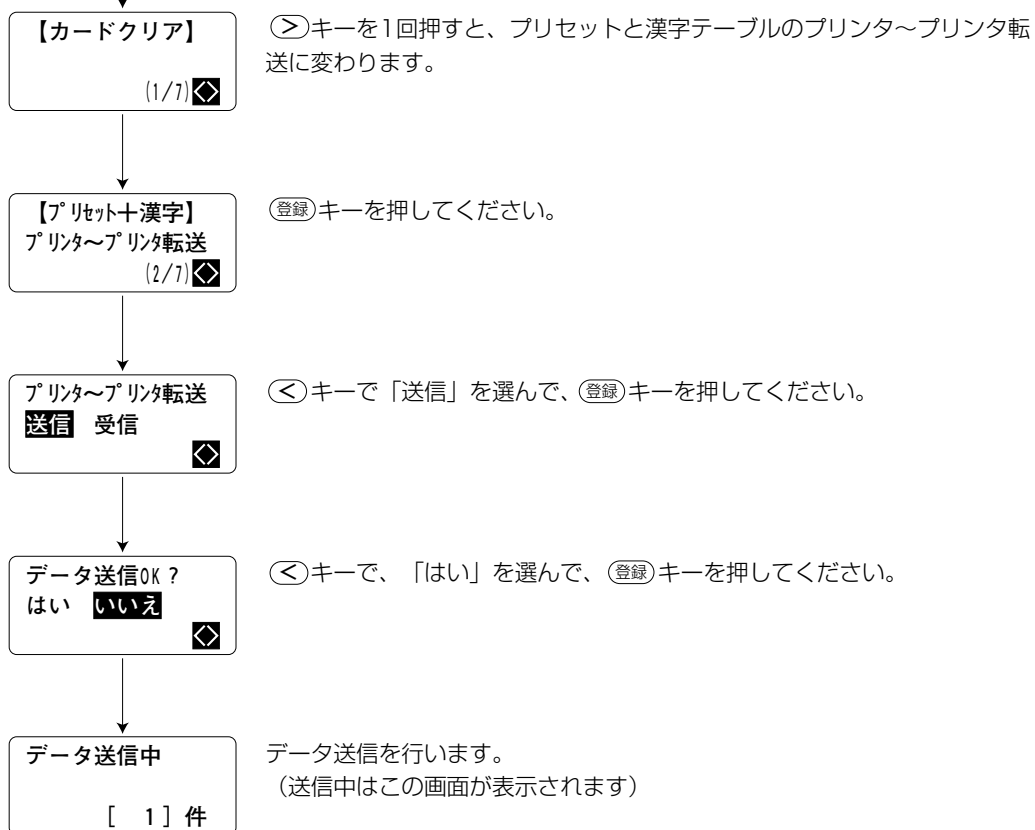
データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
（受信中はこの画面が表示されます）

②BarlabeK（送信側）の設定

テンキーの(6)キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード



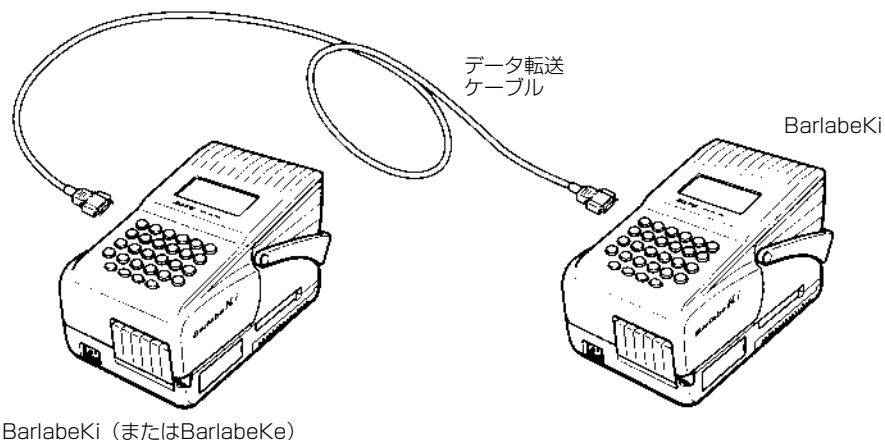
印字パラメータデータの転送

プリンタ本体の印字パラメータデータを、ほかのプリンタ本体に転送することができます。
プリンタとプリンタをケーブルで接続してデータを転送します。
オプション品のデータ転送ケーブルを用意してください。

データ転送方法について説明します。

1. BarlabeKi（またはBarlabeKe）からBarlabeKiにデータを転送します。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、プリンタとプリンタを接続してください。



転送元



転送先

BarlabeKi (またはBarlabeKe) からBarlabeKiIに印字パラメータ (フォーマット) を転送する場合

テンキーの **6** キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10)

→ キーを3回押すと、印字パラメータ、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【印字パラメータ】
プリンタ～PCツール転送
(4/10)

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信

← キー、または、→ キーで、「送信」または「受信」を選んで、**登録** キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

①転送先のプリンタは以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい **いいえ**

← キーで「はい」を選んで、**登録** キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

受信待ち状態です。
転送先のプリンタから印字パラメータの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

②転送元のプリンタは以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい **いいえ**

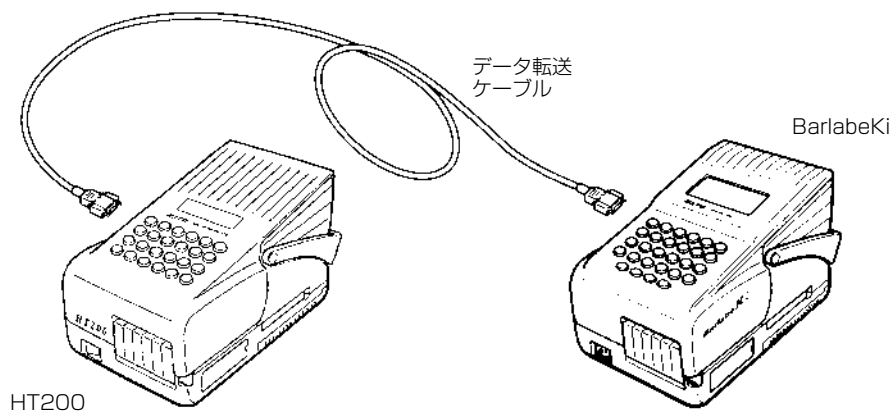
← キーで「はい」を選び、転送先のプリンタが受信待ち状態になってから、**登録** キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件

データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

2. HT200からBarlabeKiにデータ転送します。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、HT200とBarlabeKiを接続してください。



転送元



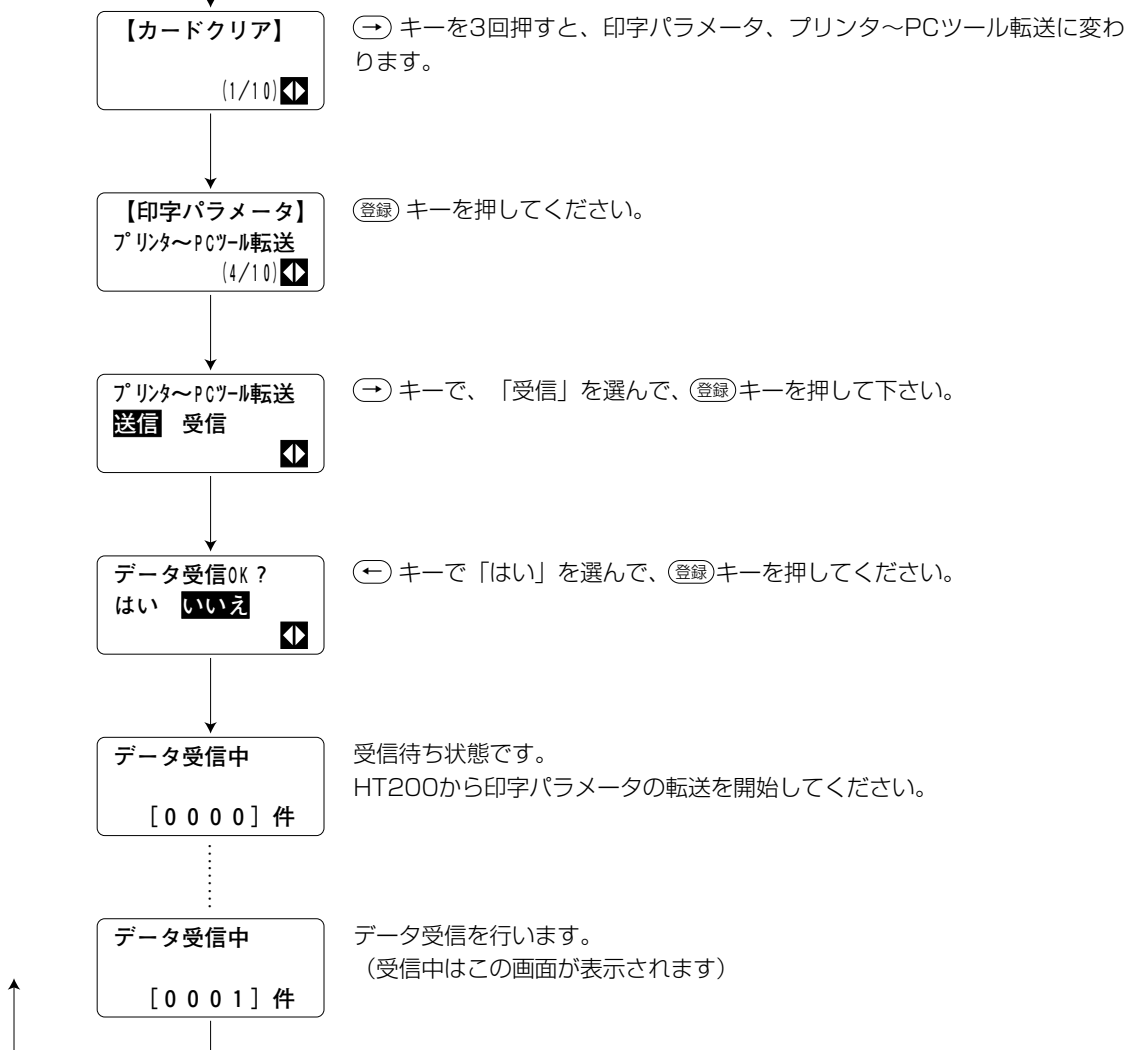
転送先

HT200からBarlabeKiへ印字パラメータ（フォーマット）を転送する場合

①BarlabeKi（受信側）の設定

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード



②HT200（送信側）の設定

テンキーの **6** キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

カードクリア

➤ キーを5回押すと、印字パラメータ転送に変わります。

インジパラメータ
プリンタ ↔ ホスト

登録 キーを押してください。

ソウシン ジュシン

◀ キーで「ソウシン」を選んで、登録 キーを押してください。

データソウシンOK？
Y/N

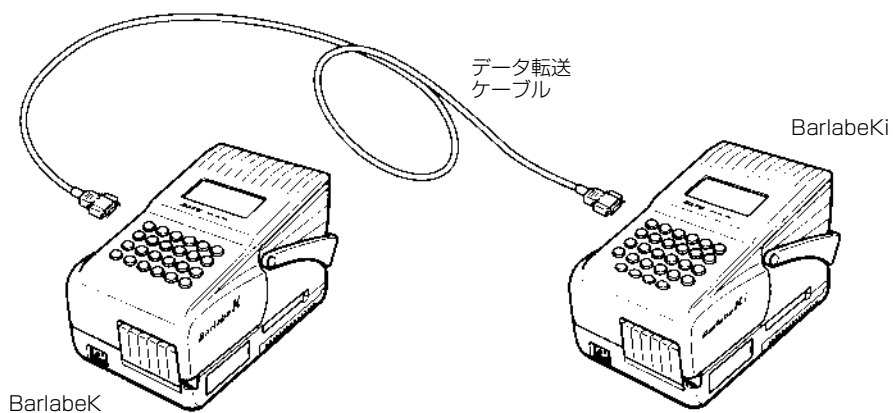
◀ キーで、「Y」を選んで、登録 キーを押してください。

ソウシチュウ
0001ケン

データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

3. BarlabeKからBarlabeKiにデータ転送します。

RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、BarlabeKとBarlabeKiを接続してください。



BarlabeKからBarlabeKiに印字パラメータ（フォーマット）を転送する場合

①BarlabeKi（受信側）の設定

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏪

→ キーを3回押すと、印字パラメータ、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【印字パラメータ】
プリンタ～PCツール転送
(4/10) ⏪

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏪

→ キーで、「受信」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信OK？
はい いいえ ⏪

← キーで「はい」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

受信待ち状態です。
BarlabeKから印字パラメータの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

②BarlabeK（送信側）の設定

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/7) ◀▶

➤キーを3回押すと、印字パラメータ転送に変わります。

【印字パラメータ】
プリンタ～PCツール転送
(4/7) ◀▶

登録キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ◀▶

◀キーで「送信」を選んで、登録キーを押してください。

データ送信OK？
はい いいえ ◀▶

◀キーで、「はい」を選んで、登録キーを押してください。

データ送信中
[1] 件

データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

パラメータのバックアップ(コピー)

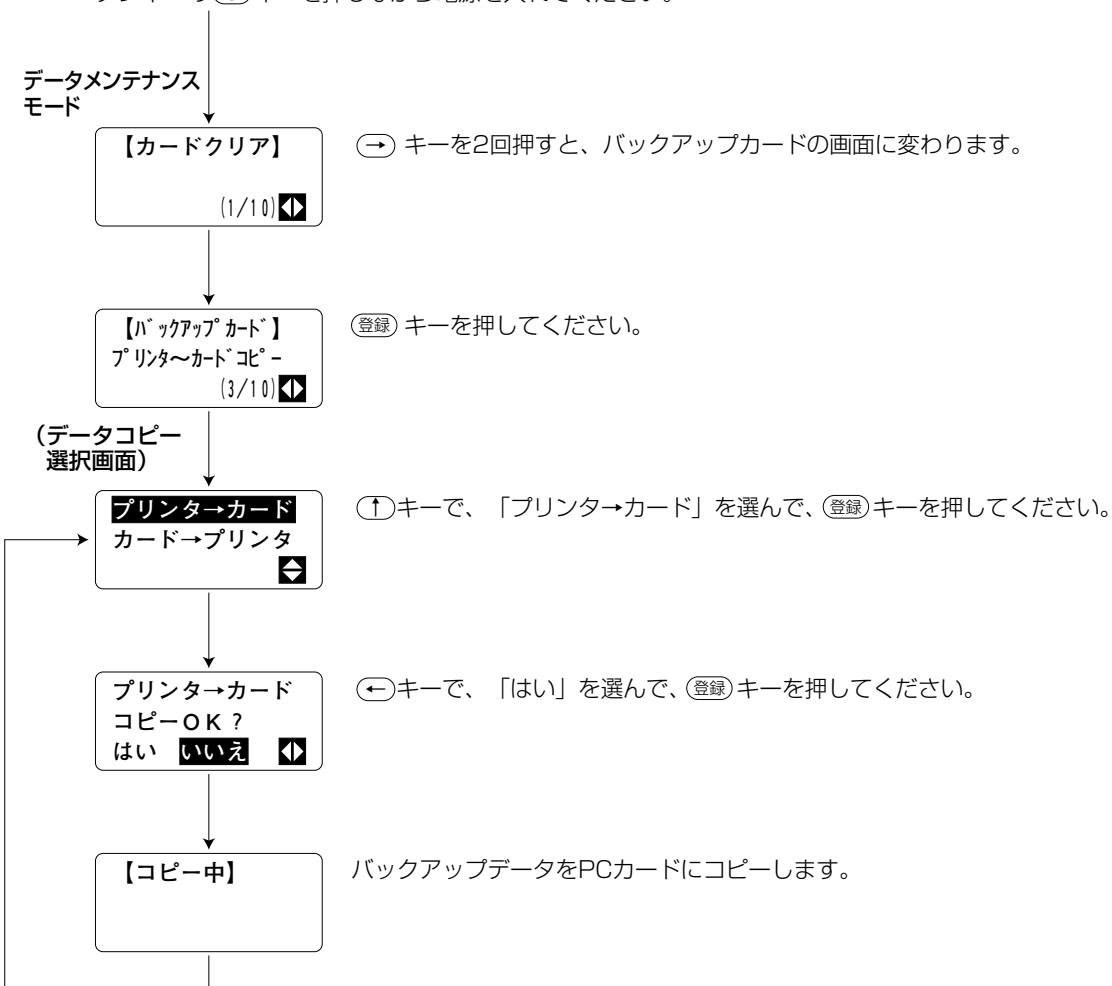
本プリンタは、フォーマット1~15の登録データ(印字パラメータ、用紙設定情報)と本体プリセットと漢字、添加物、店名テーブルデータを、プリンタ内部に保管しています。

この登録データを間違えて消したときのために、PCカードへのバックアップ機能があります。また、この機能を利用すると、1台のプリンタで登録したデータをもう1台のプリンタにコピーして使用することもできます。

バックアップ用カードにバックアップする

バックアップ用のPCカード(1Mbyte以上、オプション品)を準備して、カードスロットにセットしてください。

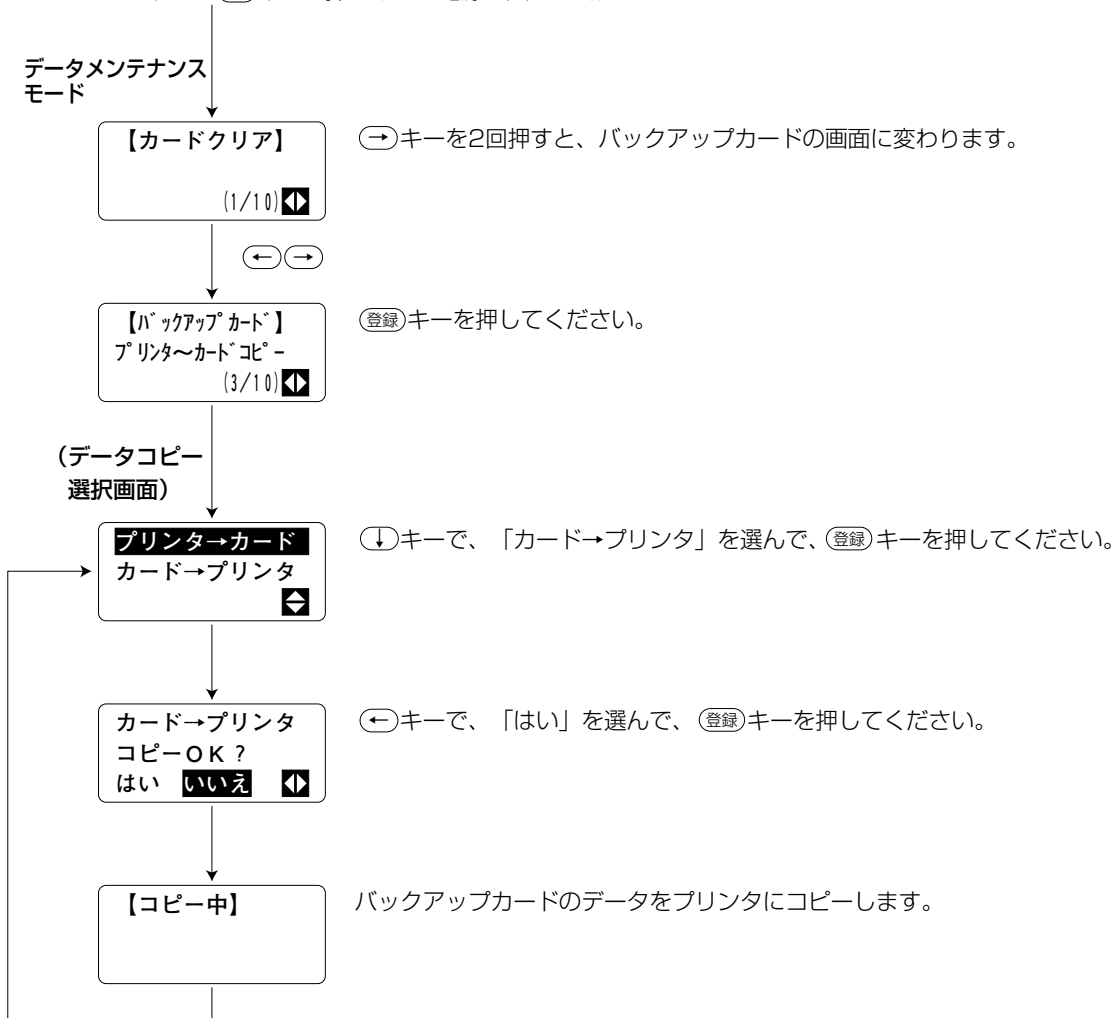
テンキーの(6)キーを押しながら電源を入れてください。



バックアップ用カードをプリンタにコピーする

バックアップ用のPCカード（オプション品）を準備して、カードスロットにセットしてください。

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。



カードにバックアップしたデータをそのまま使用することはできません。必ず本体にコピーしてから利用してください。

カードから本体にコピーすると、本体に登録されているバックアップデータは自動的にクリアされます。

共通データ管理ソフトを使ったデータメンテナンス

※注
パソコンにインストールした共通データ管理ソフトで本プリンタ用に作った印字パラメータ、プリセットデータ、テーブルデータを、プリンタに転送したり、プリンタからパソコンに転送することができます。

プリンタと共通データ管理ソフトをインストールしたパソコンをケーブルで接続してデータ転送します。

ただし、無線LANインタフェース、Bluetoothインタフェースでデータ転送する場合には、ケーブルの接続は必要ありません。

シリアルインタフェースの場合、オプション品のオンラインケーブルを用意してください。又、PCカードにデータを登録する場合はオプション品のPCカードを用意してください。

1. プリンタとパソコンをつなぎます。

シリアルインタフェースの場合、プリセットデータの転送を行い、PCカードに登録する場合、プリンタにPCカードをセットしてください（印字パラメータ、本体プリセット、テーブルデータはプリンタのメモリに登録されます）。

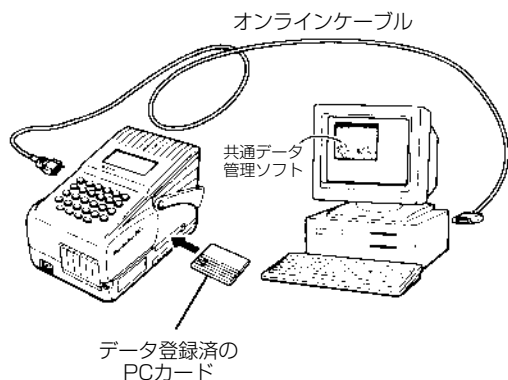
※プリセットデータの登録先は初期設定の「プリセット登録先」で「カード」又は「本体」から選択できます。

プリンタ→パソコン：プリンタにデータを登録したPCカードをセット

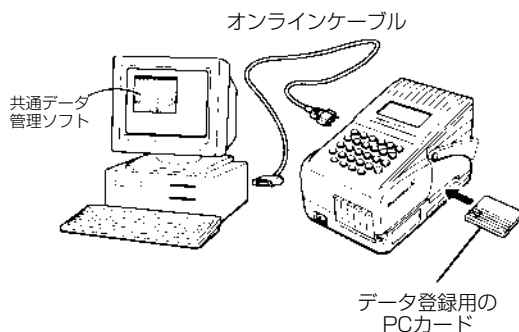
パソコン→プリンタ：プリンタにデータを登録するPCカードをセット

シリアルインタフェースの場合、RS-232Cコネクタにケーブルを差し込み、プリンタとパソコンを接続してください（通信条件はユーザーメンテナンスモードで設定できます）。

プリンタ→パソコン



パソコン→プリンタ

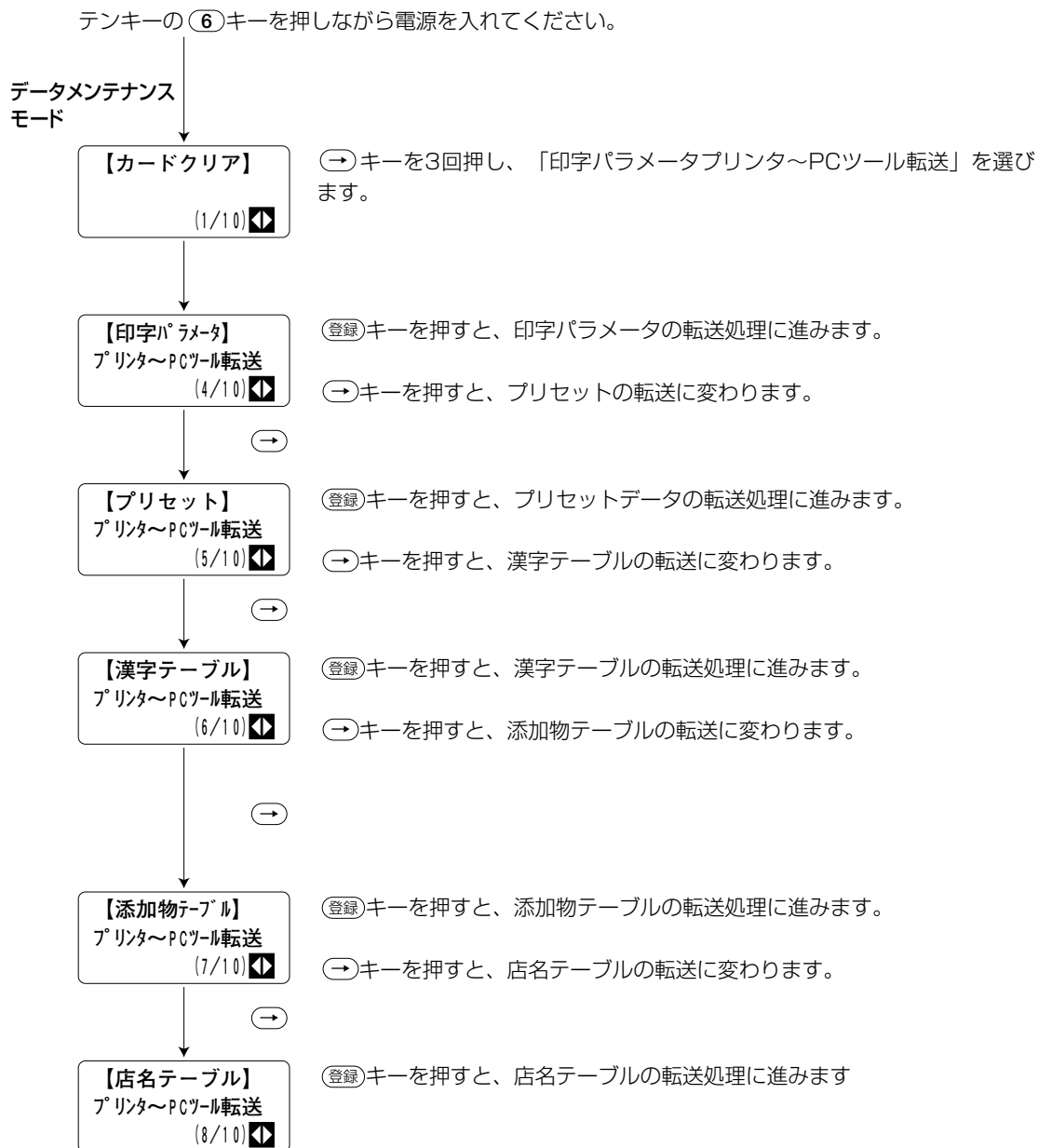


※注

パソコンでデータを作成する場合は、専用ソフトが必要です。

2. 転送処理を選びます。

転送するデータの種類（テーブルデータ、プリセット、印字パラメータ）を選んでください。
選んでから、**登録** キーを押すと、それぞれの転送処理が始まります。



パソコンからプリンタにデータを転送すると、自動的にプリンタのメモリあるいは、PCカードの内容がクリアされます。

BarlabeKiとHostPC間で印字パラメータ（フォーマット）を転送する場合

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏪

⏩ キーを3回押すと、印字パラメータ、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【印字パラメータ】
プリンタ～PCツール転送
(4/10) ⏪

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏪

← キー、または、⏩ キーで、「送信」または「受信」を選んで、登録 キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

①ホストPCからBarlabeKiへ印字パラメータを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい いいえ ⏪

← キーで「はい」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

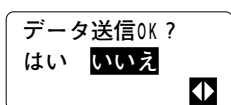
受信待ち状態です。
ホストPCから印字パラメータの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

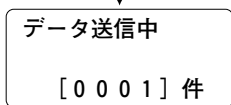
②BarlabeKiからホストPCへ印字パラメータを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい いいえ



← キーで「はい」を選び、転送先のホストPCが受信待ち状態になってから、(登録)キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件



データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

BarlabeKiとHostPC間でプリセットを転送する場合

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏪

→ キーを4回押すと、プリセット、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【プリセット】
プリンタ～PCツール転送
(5/10) ⏪

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏪

← キー、または、→ キーで、「送信」または「受信」を選んで、登録 キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

①ホストPCからBarlabeKiへプリセットを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい いいえ ⏪

← キーで「はい」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

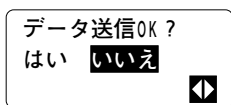
受信待ち状態です。
ホストPCからプリセットの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

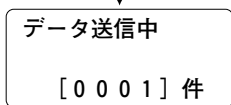
②BarlabeKiからホストPCへプリセットを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい いいえ



← キーで「はい」を選び、転送先のホストPCが受信待ち状態になってから、登録キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件



データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

BarlabeKiとホストPC間で漢字テーブルを転送する場合

テンキーの(6)キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏮

➡ キーを5回押すと、漢字テーブル、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【漢字テーブル】
プリンタ～PCツール転送
(6/10) ⏮

(登録) キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏮

← キー、または、➡ キーで、「送信」または「受信」を選んで、(登録) キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

①ホストPCからBarlabeKiへ漢字テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい いいえ ⏮

← キーで「はい」を選んで、(登録) キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

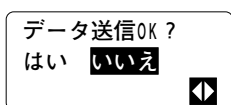
受信待ち状態です。
ホストPCから漢字テーブルの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

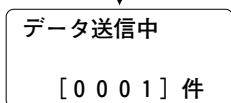
②BarlabeKiからホストPCへ漢字テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい いいえ



← キーで「はい」を選び、転送先のホストPCが受信待ち状態になってから、登録キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件



データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

BarlabeKiとHostPC間で添加物テーブルを転送をする場合

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏪

➡ キーを6回押すと、添加物テーブル、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【添加物テーブル】
プリンタ～PCツール転送
(7/10) ⏪

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏪

← キー、または、➡ キーで、「送信」または「受信」を選んで、登録 キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

① HostPCからBarlabeKiへ添加物テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい いいえ ⏪

← キーで「はい」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

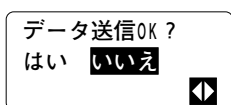
受信待ち状態です。
HostPCから添加物テーブルの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

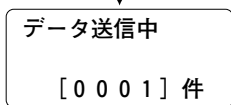
②BarlabeKiからホストPCへ添加物テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい いいえ



← キーで「はい」を選び、転送先のホストPCが受信待ち状態になってから、登録キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件



データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

BarlabeKiとHostPC間で店名テーブルを転送をする場合

テンキーの⑥キーを押しながら電源を入れてください。

データメンテナンス
モード

【カードクリア】
(1/10) ⏪

➡ キーを7回押すと、店名テーブル、プリンタ～PCツール転送に変わります。

【店名テーブル】
プリンタ～PCツール転送
(8/10) ⏪

登録 キーを押してください。

プリンタ～PCツール転送
送信 受信 ⏪

← キー、または、➡ キーで、「送信」または「受信」を選んで、登録 キーを押してください。①「受信」選択後または②「送信」選択後へ進みます。

① HostPCからBarlabeKiへ店名テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(受信を選択した場合)

データ受信OK?
はい いいえ ⏪

← キーで「はい」を選んで、登録 キーを押してください。

データ受信中
[0 0 0 0] 件

受信待ち状態です。
HostPCから店名テーブルの転送を開始してください。

データ受信中
[0 0 0 1] 件

データ受信を行います。
(受信中はこの画面が表示されます)

②BarlabeKiからホストPCへ店名テーブルを転送する場合は以下の操作を行ってください。
(送信を選択した場合)

データ送信OK?
はい いいえ

← キーで「はい」を選び、転送先のホストPCが受信待ち状態になってから、登録キーを押してください。

データ送信中
[0 0 0 1] 件

データ送信を行います。
(送信中はこの画面が表示されます)

ユーザーメンテナンスモードについて

本プリンタは、印字濃度、オートパワーオフ機能、通信条件などを、ユーザーメンテナンスモードで設定することができます。


設定項目

- 印字濃度
- 印字速度
- オートパワーオフの有効/無効
- 起動画面
- 通信条件（通信速度、パリティ、発行通知）
- フォーマット固定
- カレンダー設定
- カレンダー一時変更の設定
- ヘッドチェックの設定（有効/無効、標準/バーコード）
- キー入力音の設定
- モード設定
- 通信種別
- LCD節電設定


ユーザーメンテナンスモードでの設定方法について説明します。

テンキーの **③** キーを押しながら電源を入れてください。


ユーザーメンテナンス
モード

印字濃度
薄 ■■■■ | ■■■■ 濃
1 2 3 4 5 


印字濃度を設定します。
「1」が1番うすく、「5」が1番濃くなります。

印字速度
60 mm/s
80 mm/s 

印字速度を設定します。
「60mm/s」：60mm/秒、「80mm/s」：80mm/秒です。（バッテリー使用時は、表示されず、印字速度は「60mm/s」となります）





オートパワーオフ設定
はい ■■■■ いいえ


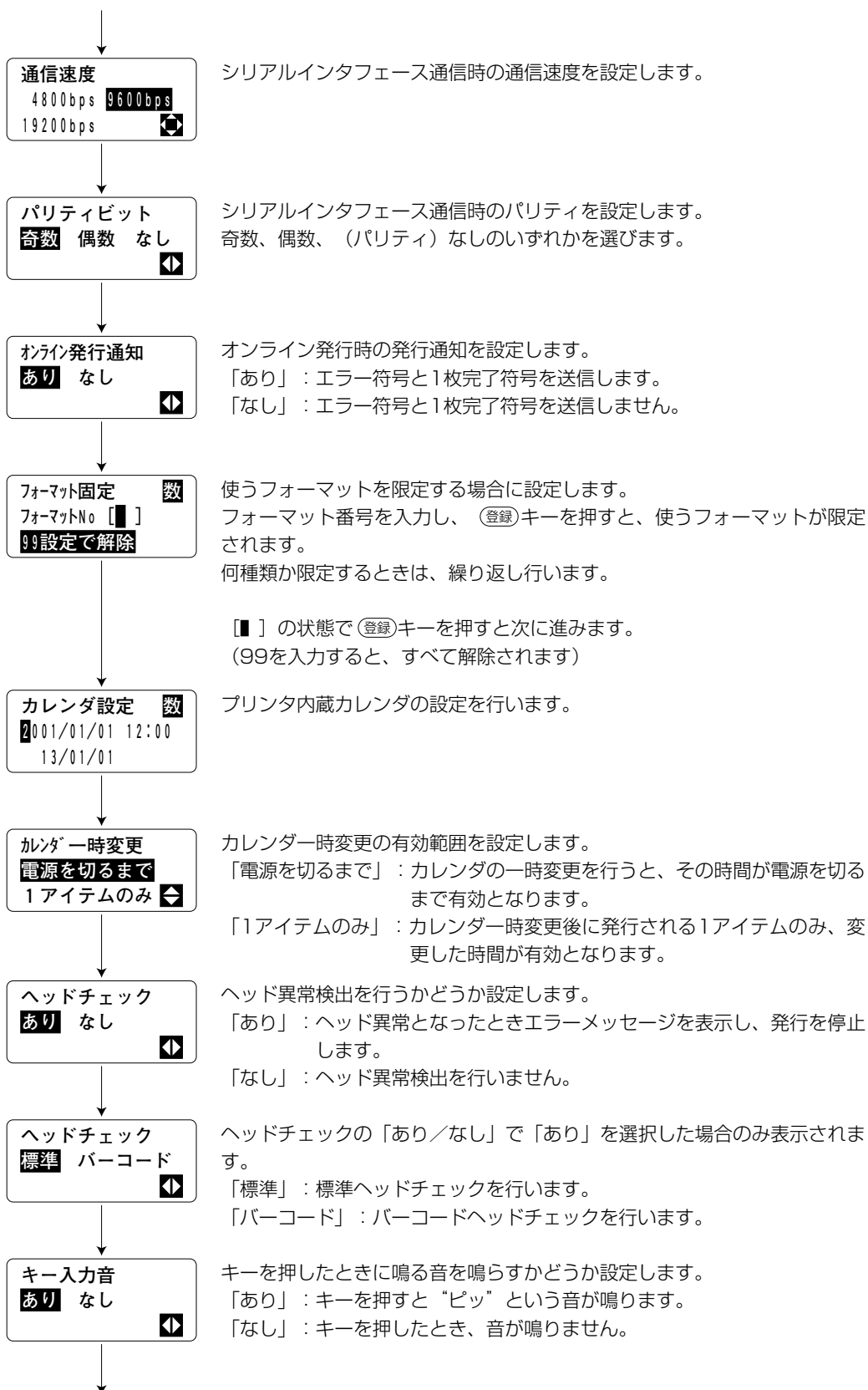
オートパワーオフを設定します。
「はい」：約5分間、何も操作していないと自動的にプリンタの電源が切れます。

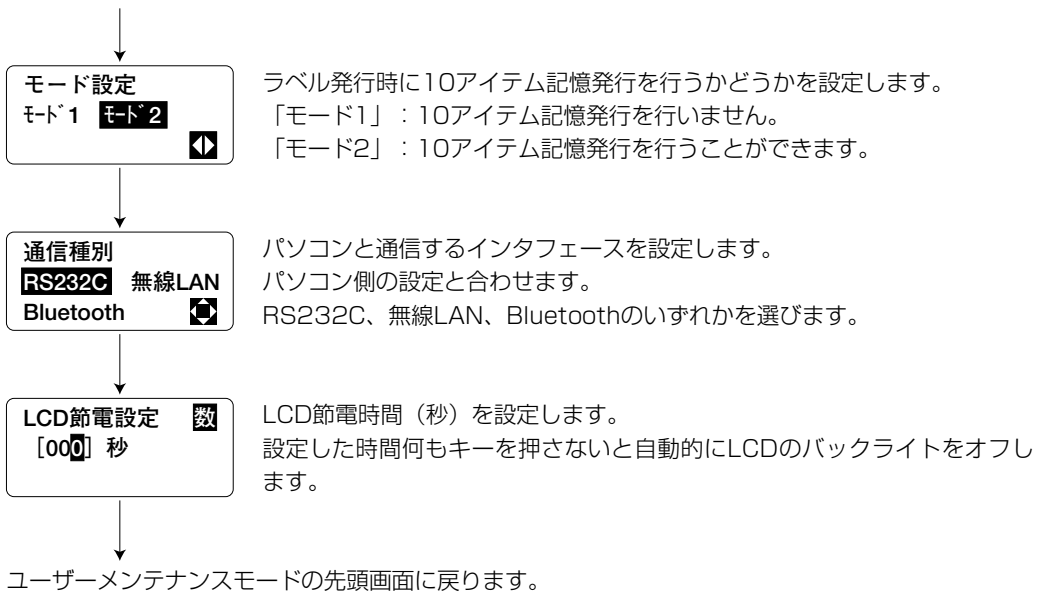
起動画面設定
マニュアル ■■■■
オンライン 

起動画面（電源投入時に表示する画面）を設定します。
「マニュアル」：通常のラベル発行モードを表示します。
「オンライン」：オンライン受信モードを表示します。

次の項目（通信速度）に進みます。

    キーで選んだあと、**登録** キーを押すと設定できます。各項目とも、白黒反転しているところが現在設定されている内容です。設定しないときは、そのまま **登録** キーを押すと、次の項目に進みます。





無線LANインタフェース設定モードについて

本プリンタは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの無線LANインタフェースの設定をすることができます。

設定項目

- IP解決方法
- 自IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- Socketポート番号
- Socket接続タイムアウト時間
- 無線LANモード
- 無線LANモードの認証方式
- ESS-ID
- チャンネル番号
- セキュリティ機能
- WEPキー
- WEPキーインデックス
- 認証機能
- WPA-PSK種別
- 事前共有キー
- EAP認証方式
- 認証ユーザ名
- 認証パスワード
- FTPログインユーザ
- FTPパスワード

無線LANインタフェース設定モードでの設定方法について説明します。

テンキーの①+⑧キーを押しながら電源を入れてください。

無線LANインタ
フェース設定モード

ネットワーク設定	1/2
無線LAN設定	
FTP設定	◀▶

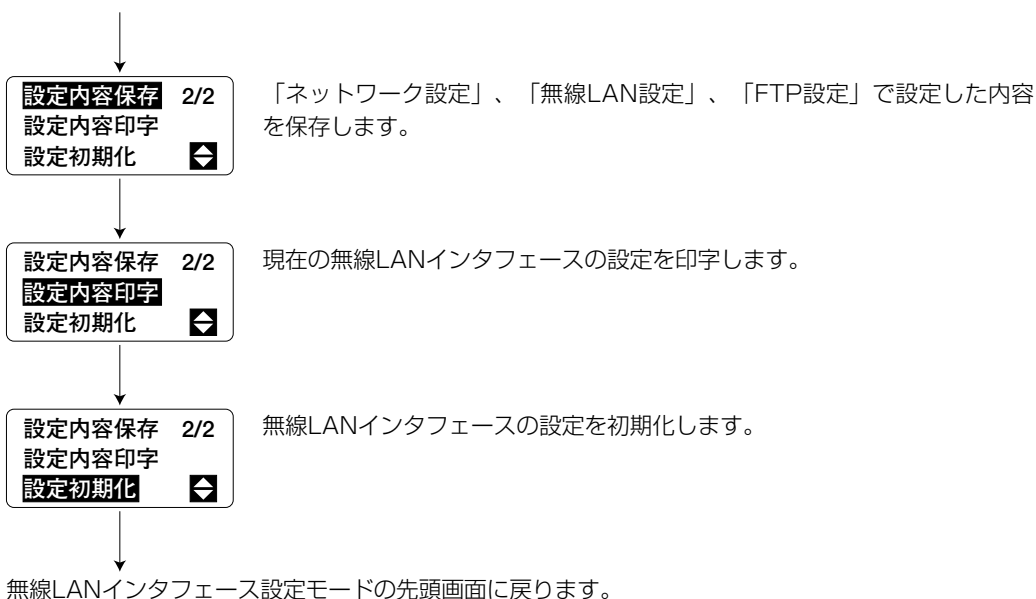
ネットワークの設定をします。
次のページの「ネットワーク設定」を参照してください。

ネットワーク設定	1/2
無線LAN設定	
FTP設定	◀▶

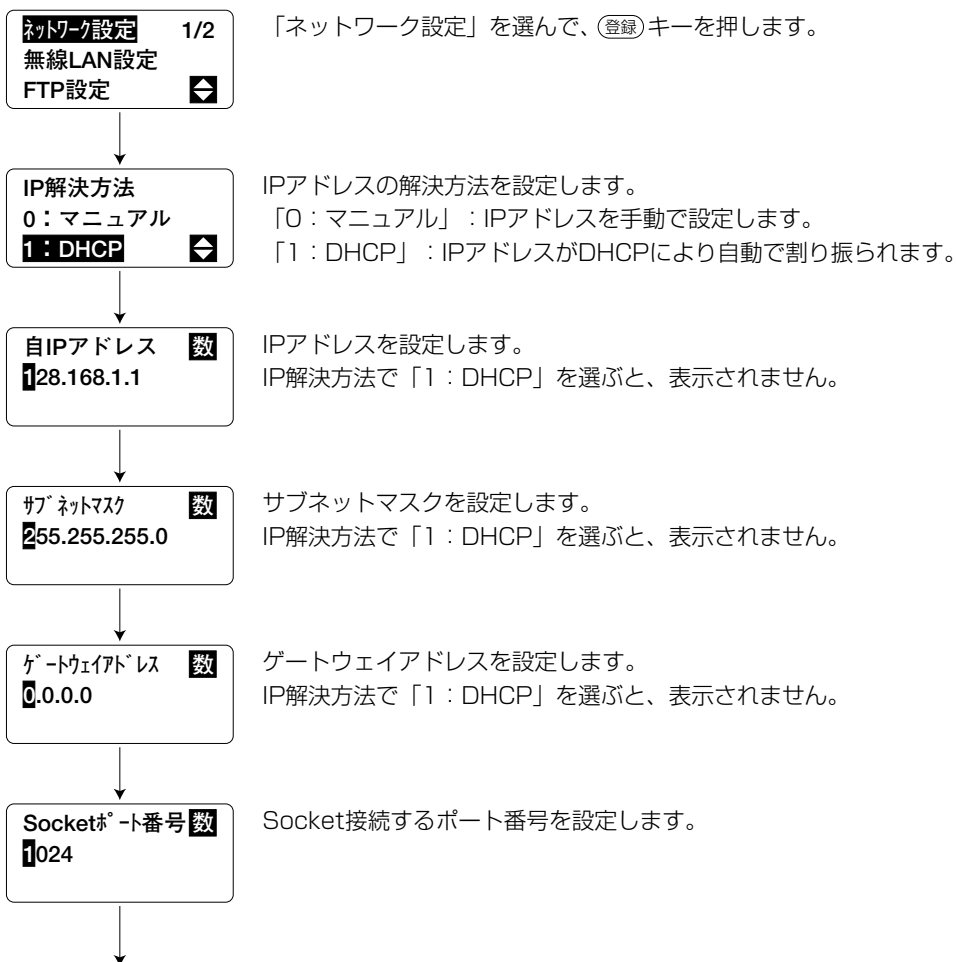
無線LANの設定をします。
次のページの「無線LAN設定」を参照してください。

ネットワーク設定	1/2
無線LAN設定	
FTP設定	◀▶

FTPの設定をします。
次のページの「FTP設定」を参照してください。



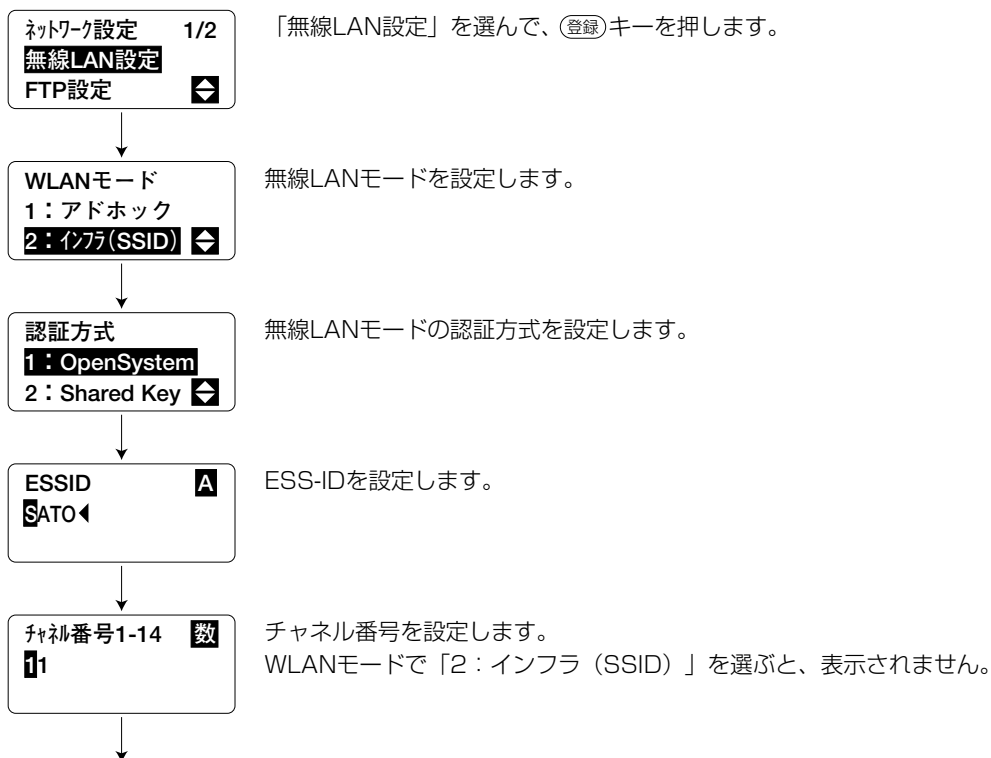
ネットワーク設定

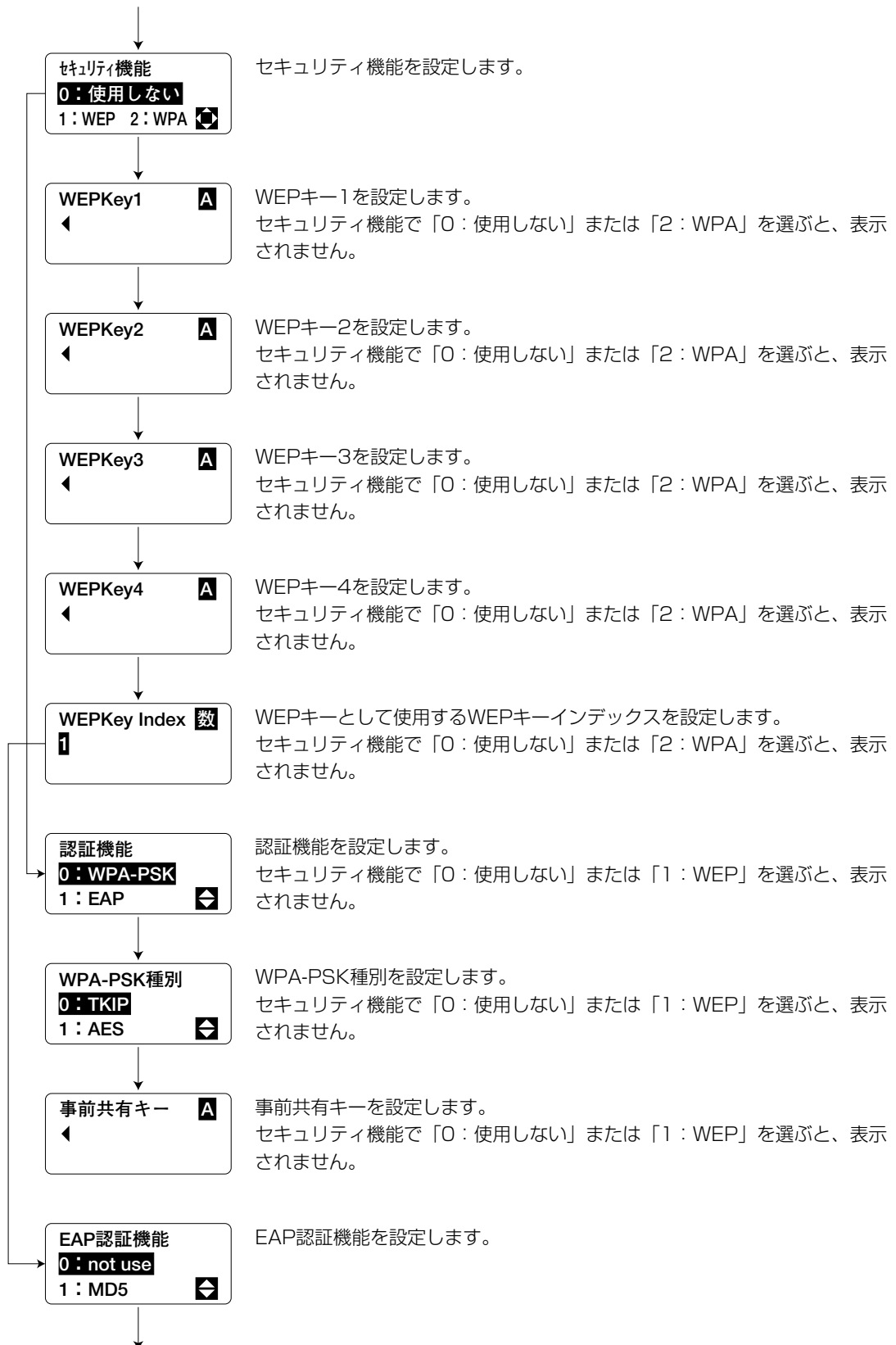


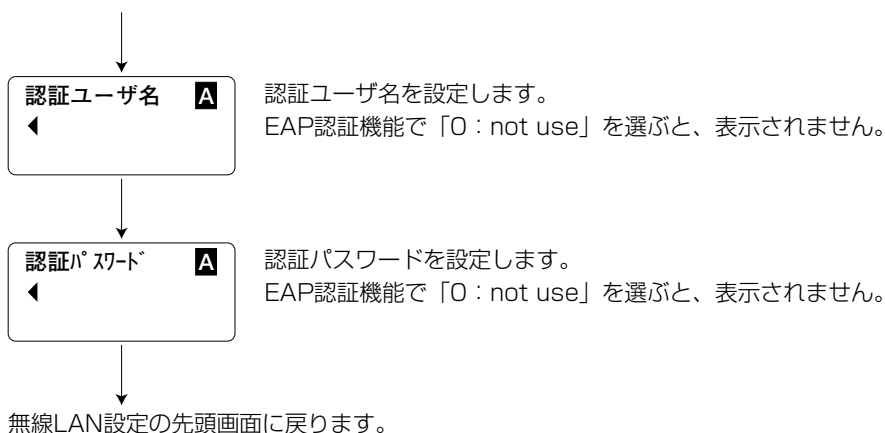


重要 ネットワーク設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

無線LAN設定







重要 無線LAN設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

FTP設定



重要 FTP設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

Bluetoothインタフェース設定モードについて

本プリンタは、認証レベルモード、PIN設定、デバイス名などのBluetoothインタフェースの設定をすることができます。

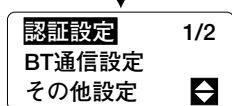
設定項目

- 認証レベルモード
- PINコード
- ISI値
- ISW値
- PSI値
- PSW値
- デバイス名

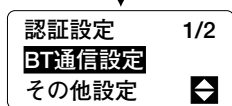
Bluetoothインタフェース設定モードでの設定方法について説明します。

テンキーの **①** + **⑧** キーを押しながら電源を入れてください。

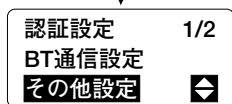
Bluetoothインタ
フェース設定モード



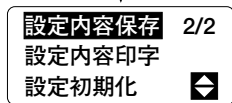
認証の設定をします。
次のページの「認証設定」を参照してください。



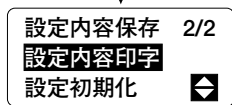
Bluetooth通信の設定をします。
次のページの「Bluetooth通信設定」を参照してください。



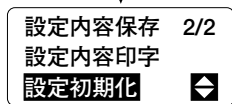
その他の設定をします。
次のページの「その他設定」を参照してください。



「認証設定」、「Bluetooth通信設定」、「その他設定」で設定した内容を保存します。



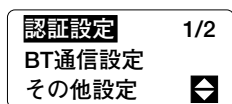
現在のBluetoothインタフェースの設定を印字します。



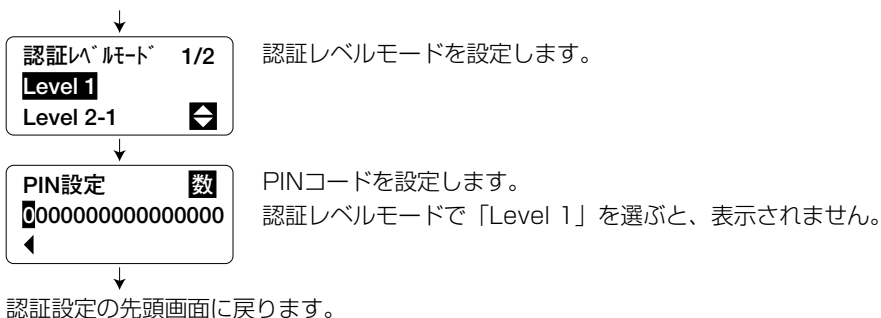
Bluetoothインタフェースの設定を初期化します。

Bluetoothインタフェース設定モードの先頭画面に戻ります。

認証設定



「認証設定」を選んで、**(登録)** キーを押します。



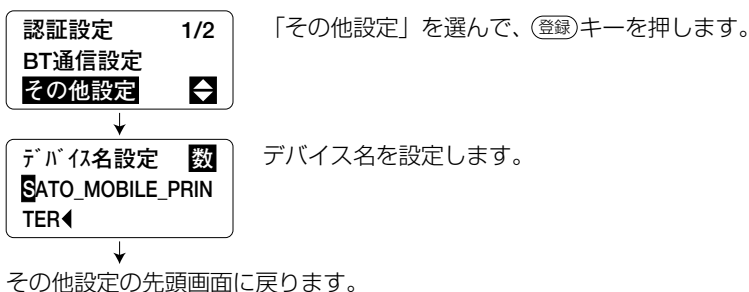
重要 認証設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

Bluetooth通信設定



重要 Bluetooth通信設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

その他設定

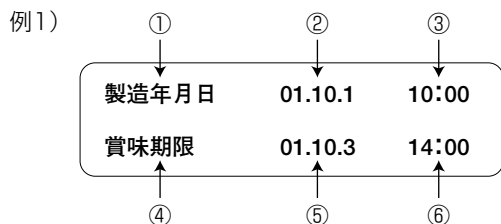


重要 その他設定で設定した内容は、設定内容保存を行わないと、有効になりません。

賞味期限（日付・時間加算）の印字

本プリンタは、カレンダー・日付とカレンダー・時間のフィールドで、加算ありに設定したときに、現在の時刻に日数と時間を自動加算して、消費期限や賞味期限を印字することができます。

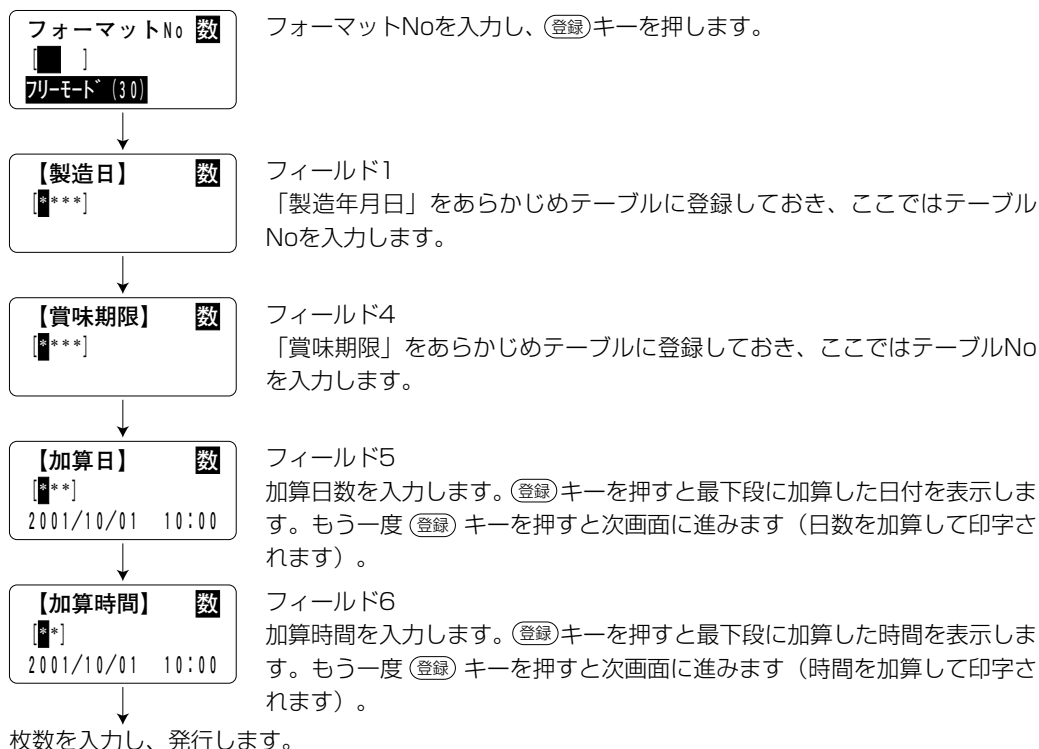
設定方法について、下記の例をもとに説明します。



例1のパラメータ設定内容

- フィールド1：漢字フィールド（テーブル印字）
- フィールド2：カレンダー・日付フィールド（加算なし）
- フィールド3：カレンダー・時間フィールド（加算なし）
- フィールド4：漢字フィールド（テーブル印字）
- フィールド5：カレンダー・日付フィールド（加算あり）
- フィールド6：カレンダー・時間フィールド（加算あり）
- フィールド7：発行枚数

例1のように設定したときの操作画面



フィールド2と3は、カレンダーICより現在の日付や時間を取り出します（画面表示しません）。
フィールド5と6は、文字数の設定に関わらず、画面表示内容は固定です（項目名は設定による）。

プリセットで賞味期限対応するとき

プリセットのときは、プリセット登録処理でプリセットデータごとに加算日と加算時間を、登録しておく、プリセット発行のときは、自動的に加算されて印字します。

プリセットでの設定方法

前頁で説明した例1のようなフィールド指定で、パラメータを登録します。



プリセット登録を行うときに、加算日と加算時間を登録しておきます。



プリセット発行では、入力しなくても、登録されている加算日と時間をもとに自動加算し、賞味期限などを印字します。

添加物テーブルのデータ入力について

マニュアル発行時やプリセット登録/発行時に、漢字入力方法が「添加物テーブル」の漢字フィールドに、添加物テーブルのデータを入力する方法を説明します。

【原料】 数
[***] 01/32 上書

登録する前に表示をして確認する場合は表示する登録Noを入力し (呼出) キーを押します。

(呼出)

【原料】 数
[0250] 01/32 上書
甘味料

入力Noを変更する事で、他のテーブル内容も表示出来ます。また (←) (→) キーを使用してテーブル内容を参照できます。

(登録) キーを押すと入力します。

(登録)

【原料】 数
[335] 02/32 上書

テーブルの内容を表示させず即入力する場合は (呼出) キーを押さずに (登録) キーを押します。

(登録)

【原料】 数
[***] 03/32 上書

登録したデータを確認するときは、(↑) (↓) キーを押し、登録内容を表示します。

(↓)

【原料】 数
[335] 02/32 上書
アジピン酸

登録したデータを変更するときは再度テーブル番号を入力します。登録画面に戻るには (↑) (↓) キーで選んで、(登録) キーを押します。

(登録)

【原料】 数
[000] 03/32 上書

データ登録を終了するときは、“0000”を入力し、(登録) キーを押します。

(登録)

次のデータ入力に進みます。

※画面表示で【原料】と表示されているのは、フィールドの項目名入力で“原料”と入力したためです。

注) (←) (→) キーでテーブル内容を参照するとテーブルを作成する際に登録した順番にテーブル内容を表示します。
添加物テーブルデータのアンダーラインは、1フィールドで32ラインまで印字できます。
1つのテーブルデータが2行となった場合、2ラインとしてカウントされます。
アンダーラインを付加した添加物テーブルデータが、32ラインを超えた場合、添加物テーブルデータは印字しますが、アンダーラインが付加されずに印字されます。
ご注意ください。

※登録プリセットNo.入力時に、コピーNo.を入力した場合

プリセットNo.35に登録された【原料】を参照し、プリセットNo.36に【原料】を新規登録します。

※同じフォーマットで【原料】のフィールド（添加物テーブルデータ入力を行う漢字フィールド）の一部分のみ変更したい場合に便利な機能です。

参照データ（プリセットNo.35）

昆布〔0005〕・大豆〔0002〕・醤油〔0011〕・砂糖〔0110〕

新規登録データ（プリセットNo.36）

大豆〔0002〕・小麦粉〔0020〕・醤油〔0011〕・食塩〔1002〕



※〔 〕内の番号は添加物テーブルNo.を表します。



店名テーブルのデータ入力について

マニュアル発行時やプリセット登録/発行時に、漢字入力方法が「店名テーブル」の漢字フィールドに、店名テーブルのデータを入力する方法を説明します。

①即入力する場合、以下の操作を行ってください。

【店名】 数
[5***]

登録

登録する店名テーブル番号を入力します。(登録)キーを押して次のデータ入力に進みます。

②テーブルを表示する場合、以下の操作を行ってください。

【店名】 数
[5***]

呼出

店名テーブルを参照するときは店名テーブル番号を入力し、(呼出)キーを押します。

【店名】 数
[5***]
(株) サトー

登録

(←)(→)を使用してテーブル内容を参照できます。登録するときは、(登録)キーを押します。

【住所】
[5***]
東京都渋谷区恵比

漢字フィールドに店名テーブルで、コピー指定「受ける」を選択したフィールドは、自動的にコピー元のテーブルNoが登録されます。

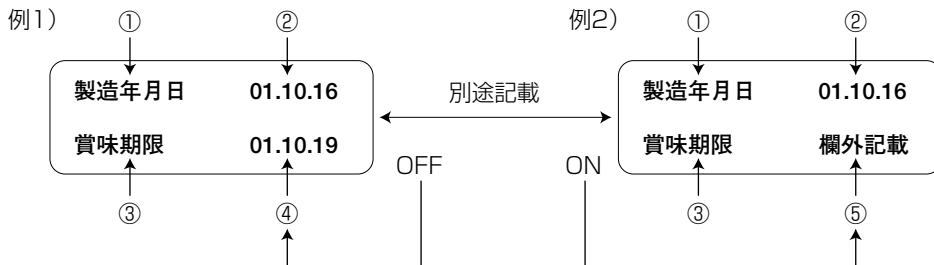
別途記載機能について

食品ラベルで、消費期限、賞味期限などを印字するパターンと、欄外に記載されている商品のラベル用に、「欄外記載」などを印字するパターンがあるとき、日付印字と、「欄外記載」などのコメント印字を切り替えて使うことができる機能です。

『別途記載』機能を利用すると、下記のようなラベルを1つのフォーマットで対応できます。

例1：惣菜などの賞味期限をカレンダーで印字する

2：仕入れ品で賞味期限が欄外に印刷されている



例1、例2のパラメータ設定内容

- フィールド1：漢字フィールド（テーブル印字）
- フィールド2：カレンダー・日付フィールド（加算なし）
- フィールド3：漢字フィールド（テーブル印字）
- フィールド4：カレンダー・日付フィールド（加算ありで別途記載対応）
- フィールド5：漢字フィールド（漢字直接入力）＝別途記載対応として印字する
- フィールド6：発行枚数

例の場合、フィールド4（『賞味期限』を印字するカレンダーフィールド）で、「加算あり別途記載対応」と設定します。

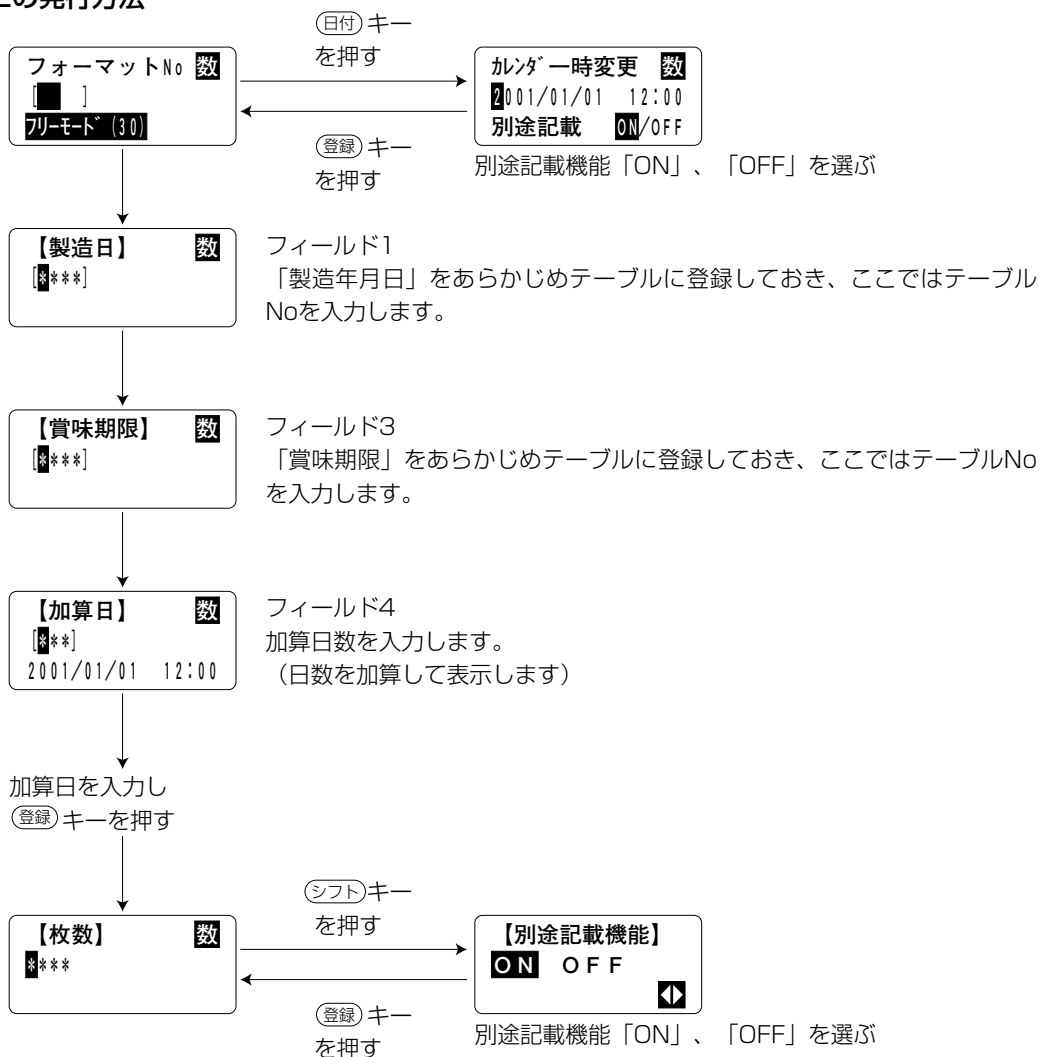
そして、フィールド5（『欄外記載』を印字する漢字直接入力のフィールド）を設定し、「別途記載対応として印字する」と設定します。（このフィールドで、コメント＝「欄外記載」を固定データとして入力しておく）

設定項目（参考）

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	30：カレンダー・日付 ← フィールド4
17	加算機能	3：加算ありで別途記載対応

桁位置	指定項目	指定内容
1、2	フィールド指定	51：漢字コードによる直接入力 ← フィールド5
21	別途記載機能	1：別途記載対応として印字する

例1、2の発行方法



別途記載機能OFFにしたとき

例1のように加算した日付が印字されます。
(フィールド2の日付+フィールド4で入力した値→フィールド4で印字)

別途記載機能ONにしたとき

例2のように、日付加算せずに、フィールド5の固定データ(「欄外記載」)が印字されます。

※『欄外記載』などのコメントは、固定データですので、16文字以内で自由に設定できます。
今回の例では、欄外記載を設定するフィールドをつくりましたが、このフィールドを作らないと空白で印字することができます。



工場出荷時の別途記載機能は「OFF」となります。

日付の一時変更機能について

プリンタの日付（カレンダー）を一時的に変更させる機能です。

重要 この機能は、一時的に日付（カレンダー）を変更するものであり、システム日付（カレンダー）の変更ではありません。

一時変更する期間については、9ページ「ユーザーメンテナンスモード」にて設定することができます。

1アイテムのみ（日付一時変更を設定した直後の1アイテムのみに有効です。2アイテム以降は、システム日付に戻ります。）

電源を切るまで（日付一時変更を設定した直後からプリンタの電源を切るまで有効です。）

プリセット発行時に日付の一時変更する方法について説明します。

プリンタの電源を入れて、**(設定)**キーを押します。

↓

フォーマットNo	数
■]
フ-モ-ト	(30)

ここで、**(呼出)**キーを押すと、発行モードからプリセットモードに移ります。

プリセットモード **(呼出)**

↓

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

プリセットを発行しますので、**(登録)**キーを押してください。

↓ **(登録)**

発行プリセットNo	数
■]
2001/01/01	12:00

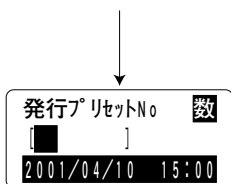
日付を一時変更しますので、**(日付)**キーを押してください。

↓ **(日付)**

カレンダー一時変更	数
2001/01/01	12:00
別途記載	ON/OFF


日付を一時変更し、**(登録)**キーを押します。

↓ **(登録)**



発行プリセットNo入力に戻ります。
画面に一時変更した日付を表示します。



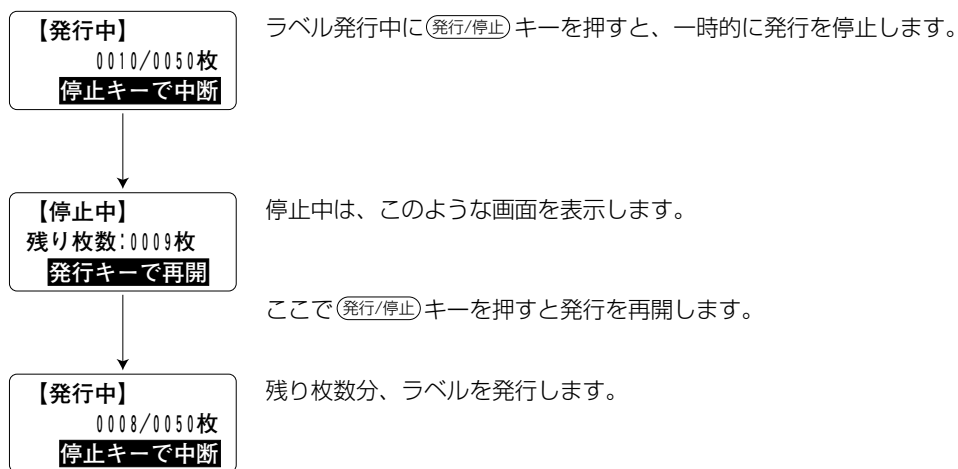
日付が一時変更されているとき、画面表示している日付は白黒反転します。
フォーマット番号入力、発行プリセット番号入力時に、キーを押すと、日付の一時変更入力画面に移ります

発行の一時停止/再発行について

①一時停止について

ラベル発行中に、一時的に発行を中止したいときに、発行の停止・再開を行うことができます。

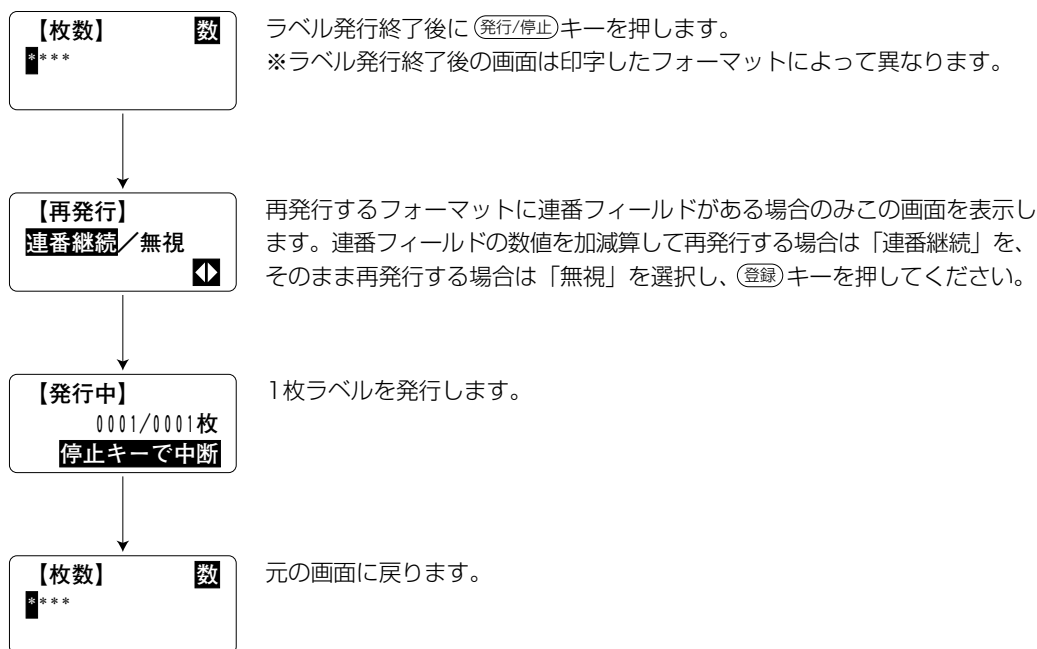
発行停止方法



一時停止中に(設定)キーを押すと、発行処理をやめて、フォーマットNo入力次の画面に戻ります。

②再発行について

発行終了した同じフォーマットを(発行/停止)キーを押す毎に、ラベルを1枚発行します。



バーコード検索発行について

プリセット発行済のバーコードが印字されたラベルと同じラベルを発行する場合、オプションのバーコードをスキャナで読み取ることで、プリセットNoを入力することなく発行することができます。

フォーマットNo **数**
[]
リモート (10)

呼出

プリセット
発行 登録 変更
削除 ダンプ

「発行」を選んで、**登録**キーを押します。

発行プリセットNo **数**
[]
2000/08/16 15:00

この画面の時に、バーコードをスキャンし、プリセットデータ中のデータを検索してプリセット番号を呼び出します。

※該当するプリセットデータがない場合には、「データが未登録です」と表示します。

【枚数】 **数**

プリセット発行時に入力がない場合は、すぐにこの印字枚数指定画面になります。



重要 バーコード検索発行は、フィールドNo1のプリセットデータを検索するため、フィールドパラメータ設定時にフィールドNo1をバーコードフィールドにしてください。

第7章 エラーが発生したとき

エラーのときの対処方法について説明します。

エラーメッセージと対処方法

画面のメッセージ	原因と対処方法
ラベルエンドピッチエラー	用紙を正しくセットするか、交換してください。 →取扱説明書「第2章 用紙をセットする」 (発行/停止)を押すと、印字が再開されます。
カバーオープン	カバートップをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。 →取扱説明書「第1章 各部の名称」
バッテリーEMPTY	バッテリーが少なくなってきましたので充電してください。
充電してください	バッテリーがなくなりました。 充電してください。
メモリ電池交換	電池を交換する必要がありますので、販売店又はサポートセンターにお問い合わせください。 重要 電池がなくなる前にバックアップ用のカードにコピーしておくことを、おすすめします。
メモリ電池エラー	販売店又はサポートセンターにお問い合わせください。
カードがありません	カードスロットにPCカードをセットしてください。
カードをクリアしてください	データメンテナンスモードで、カードをクリアしてください。 →取扱説明書「第5章 PCカードをクリアする」
カード電池交換してください	もう1台のプリンタかパソコンを使って他のカードに一度コピーしてから、電池を交換してください。
カード電池エラー	カード内のデータは保証できませんので、プリセットを登録した場合は、もう一度登録してください。
カード書きこみ禁止	カードのライトプロテクトを確認してください。
カードクリアが違います	カードの使い方に応じた、クリアを行ってください。 (たとえば、「登録用」でクリアしたカードをバックアップ用として使おうとした)
ラベルサイズ設定エラー	フォーマット番号によって、使用できるラベルサイズが異なりますので、正しいラベルサイズを設定し直してください。 →取扱説明書「第8章 ラベルとバーコードの種類を確認する」
フォーマットが未登録です	フォーマット番号を確認してください。
データが未登録です	番号を確認してください。
データ登録済み	番号を確認してください。

画面のメッセージ	原因と対処方法
登録件数オーバー	プリセットデータの最大登録件数を超えました。
ダンプデータがありません	ダンプ発行するプリセットデータが登録されていません。
データエラー	パラメータ登録において、存在しない文字種を入力した場合などに原因があります。
チェックデジット照合エラー	チェックデジットを入力し直してください。
送信データがありません	転送するプリセットデータがありません。
通信エラー	プリンタとホストコンピュータの各インタフェースの通信モード（通信速度、パリティなど）を確認してください。
ヘッドチェックエラー	ヘッド面の清掃を行い、電源を入れ直して、再度確認してください。それでも、メッセージが表示されるときは、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。
ヘッド交換電源OFF	一度本体の電源を切って、しばらくしてから発行してください。
マシンエラー	電源を切ってしばらくしてから、電源を入れ直してください。それでも、表示されるときは、販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。
データが違います	プリンタの設定とパソコン（ホスト）からの送信データ内容を確認してください。
コピー元のフォーマットが違います	プリセット登録において、入力したコピーNoのプリセットデータと登録フォーマットNoが違います。 同じフォーマットNoで登録したプリセットNoを入力してください。
コピー元が未登録です	プリセット登録において、入力したコピーNoのプリセットデータが登録されていません。 登録済みのプリセットNoを入力してください。
フィールド数の指定が違います	データメンテナンスモードのプリセット転送において、受信側と送信側プリンタのフィールド数が違います。 受信側のプリンタのフィールド数を送信側と同じフィールド数に設定してください。
カレンダーの日付を変更してください	カレンダー日付が不適正な数値になっています。 カレンダー日付を入力し直してください。
WLANモジュールエラー	販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。
BTモジュールエラー	販売店またはサポートセンターにお問い合わせください。

第8章 オンライン発行

オンラインでのデータ受信発行について説明します。

本プリンタは、ホストコンピュータとRS-232C、無線LANまたはBluetoothで接続し、オンライン発行することができます。

ホストからプリンタに転送するデータの指定方法について説明します。

操作方法

本プリンタの操作方法について説明します。

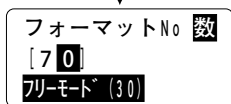
プリンタ本体の電源を切ります。

シリアルインタフェースの場合、オンラインケーブルをRS-232C用コネクタに差し込みます。

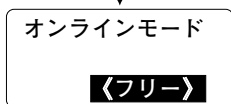
つぎに通信条件を設定してください。

「第6章 ユーザーメンテナンスモードについて」をご覧ください。各インタフェースの通信条件（通信速度、パリティ、発行通知）を設定してください。

プリンタの電源を入れて、**(設定)**キーを押します。

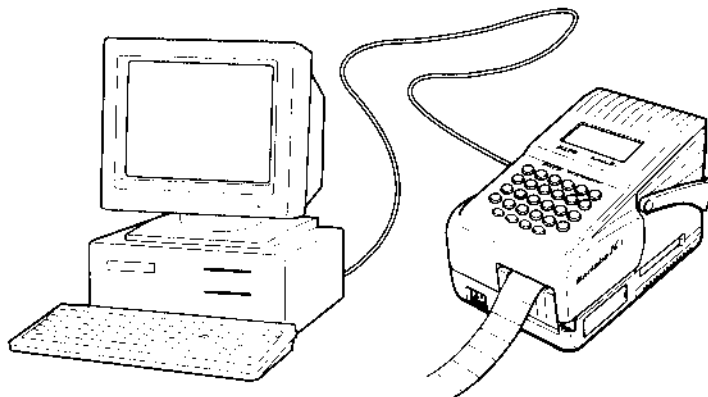


フォーマットNo.70を入力してから**(登録)**キーを押してください。



ここで、ホストからデータを送信してください。

オンラインケーブル



1. 表現方法

(1) 『コマンド』の表現

下記のような形式で、印字する文字の種類や、大きさ、印字位置などを指定します。

<D01>	ABCDE
コマンド	印字する文字

上記の記述は、『フィールド1は「ABCDE」と文字を印字しなさい』という意味です。
コマンド：Dは印字する文字ではなく、ホストからの指示であることを示す符号です。「D」を送信するまえに、符号『ESC』を送信します。

※『ESC』：文字コードの16進数で（1Bh）で指定する符号です。

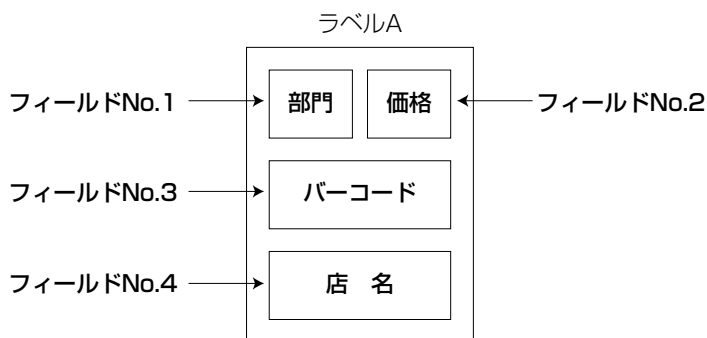
以降の説明では、<D>は、ESC・「D」と、2文字を送信する事を示します。

(2) 『フィールド』の説明

本プリンタは、どの大きさのラベルに、どのような文字や数字、バーコードをどういうレイアウトで作りたいかデザインし、自由に設定できますが、この設定したデータをフィールドパラメータと呼びます。

ホスト側で、このフィールドパラメータを作成して、本プリンタに転送してください。フィールドパラメータにしたがって、ラベルを印字します。フィールドは、29種類まで設定することができます。

フォーマットとフィールドの考えかた（例）



ラベルAを発行するときは、フィールド1～4のフィールドパラメータと印字データを、プリンタに転送します。

2. コマンド構成

(1) 基本的な構成内容

コマンドをプリンタに送る場合、冒頭指定、フィールド指定、印字データ指定、枚数指定、末尾指定の順で構成します。具体的には、次のようになります。

冒頭指定	STX	〈A〉	}	フィールド数分
フィールド指定		フィールド番号と、印字パラメータ		
印字データ指定		フィールド番号と、印字したいデータ		
		⋮		
		⋮		
枚数指定		〈Q〉		
末尾指定		〈Z〉		ETX

(2) 搭載コマンド一覧

コマンド	処 理 内 容
〈A〉	データの送信開始を示します。
〈M〉	用紙情報の送信を示します。
〈L〉	フィールドパラメータの送信を示します。
〈D〉	フィールドデータの送信を示します。
〈Q〉	発行枚数を指定します。発行枚数の送信を示します。
〈Z〉	データの送信終了を示します。

(3) 冒頭指定コマンド

STX · 〈A〉 [02h, 1Bh, 41h]
データの開始を示すコマンドです。

本コマンドの受信前の通信エラーや、送信データはすべて無効となります。

(4) 末尾指定コマンド

〈Z〉 · ETX [1Bh, 5Ah, 03h]
データの終了を示すコマンドです。本コマンドを送る前に、用紙情報、フィールド情報、発行枚数情報を送り出してください。

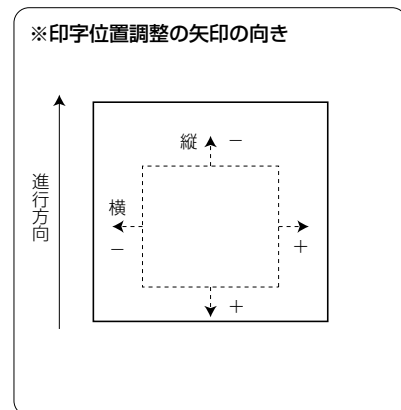
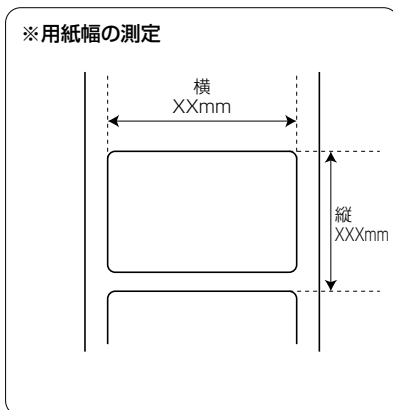
(5) 用紙情報

用紙情報として、用紙サイズ、用紙種別、印字位置調整値を指定するコマンドです。

<M> [1Bh, 4Dh] nnn

ESC	M	サイズ (縦) 指定			サイズ (横) 指定		用紙 種別	縦位置 調整			横位置 調整		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

桁位置	項目	データ	指定内容
1~3	サイズ指定 (縦)	nnn	用紙の縦サイズをmm単位で指定します。
4~5	サイズ指定 (横)	nn	用紙の横サイズをmm単位で指定します。
6	用紙種別	n	用紙の種別を指定します。*注1 1: HT/BarlabeK用カス取りラベル 2: M32ラベル 3: M3201POPラベル
7	縦位置調整 (方向)	n	印字先頭を上に見て、下げる=+、上げる=- 指定値 1: +、0: -
8~9	縦位置調整 (移動量)	nn	ドット単位の数字で指定します。*注2
10	横位置調整 (方向)	n	印字先頭を上に見て、右=+、左=- 指定値 1: +、0: -
11~12	横位置調整 (移動量)	nn	ドット単位の数字で指定します。*注2



全方向5mm (40ドット) まで調整できます。

※注1 用紙種別

「第3章 用紙種別の設定について」をご覧ください。

※注2 ドット単位

1ドット=0.125mmですので、1mm=8ドットとなります。

(6) フィールドパラメータとフィールドデータの送信

フィールドパラメータは、印字位置、文字の種類などを指定し、それに続くフィールドデータでは、印字データを指定します。

パラメータとデータはフィールド単位にセットで送信してください。最大29フィールドまで繰り返し指定することができます。

〈L〉 [1Bh, 4Ch] NNnnn・・・

〈D〉 [1Bh, 44h] NNnnn・・・

ESC	L	フィールド番号		印字指定													ESC	D	フィールド番号		印字データ (未使用桁省略可)												
		N	N	1	2	3	15	16	21	N	N	1	2	3			32													

フィールドパラメータ

フィールドデータ

オンラインで利用できるフィールド指定

フィールド指定		選択できる文字種			
1: 通常	0:	0: X1	1: X2	2: X3	4: OB
		5: 価格文字	6: POP1	7: POP2	8: POP3
2: 価格	0:	0: X1	1: X2	2: X3	5: 価格文字
	1: POP	0: POP1文字 1: POP2文字 2: POP3文字			
3: カレンダ	0: 日付	1: X2	2: X3		
	1: 時間				
5: 漢字	1: 漢字直接入力	0: 16×16	1: 22×22		
7: バーコード	0: 解説文字無し	0: NW-7	1: CODE39	2: INT2of5	
	1: 解説文字付き	3: JAN13	4: JAN8	5: UPC-E	
		6: CODE128 (Bセット、Aセット)			
		7: CODE128 (Cセット)			
		9: UPCアドオン			

※下記の機能は、オンラインでは利用できません。

項番	機能名	対応策
1	チェックデジット計算	ホスト側でチェックデジットを付加して転送してください。 (CODE128はプリンタ側で自動的に付加します)
2	コピー機能	ホスト側での文字データ加工を行ってから、転送してください。
3	入力チェック	受信データに対するエラーチェックは行いません。
4	テーブル	ホスト側のデータベースで対応してください。
5	連番発行	ホスト側で制御してください。
6	本体価格	ホスト側で制御してください。
7	グラフィック印字	グラフィックは印字できません。
8	QRコード印字	QRコードは印字できません。



連続^{ほくり}／剥離発行、チェックラベル有／無の設定は、初期設定で設定してください。
→「第3章 初期設定をしましょう」

(7) 送信データ例

STX	ESC	A	ESC	M	縦サイズ	横サイズ	用紙種別	縦調整	横調整
					0 2 5	3 2	2	0 0 0	0 0 0

ESC	L	FINo	印字指定											入力チェック				
		0 1	1 0 2 0 3 5 0 2 5 0 3 0 3 1 1	0 0 0 0 0 0														

フィールド1

ESC	D	FINo	印字データ		
		0 1	3 5 0		

ESC	L	FINo	印字指定											入力チェック				
		0 2	2 0 0 0 3 5 0 8 4 0 2 0 5 1 1	0 0 0 0 0 0														

フィールド2

ESC	D	FINo	印字データ			
		0 2	¥ 1 2 8 0			

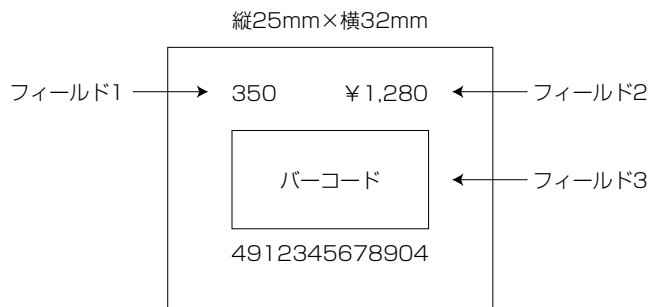
ESC	L	FINo	印字指定											入力チェック				
		0 3	7 1 3 0 8 8 0 2 6 0 5 1 3 0 2	0 7 6 0 0 0														

フィールド3

ESC	D	FINo	印字データ										
		0 3	4 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 4										

ESC	Q	0 0 0 5	ESC	Z	ETX
-----	---	---------	-----	---	-----

印字結果



オンライン発行のフィールドパラメーター一覧表

フィールド指定			印字指定							
フィールド指定			文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦倍	横倍
桁	1	2	3	4,5,6	7,8,9	10	11	12,13	14	15
	通常	0	文字種	縦位置	横位置	回転	文字間	文字数	縦倍	横倍
	価格	0	//	//	//	//	//	//	//	//
		1	//	//	//	//	//	//	//	//
	カレンダー	日付	//	//	//	//	//	//	//	//
		時間	//	//	//	//	//	//	//	//
	漢字	漢字コード入力	//	//	//	//	//	//	//	//
	バーコード	解説文字なし	//	//	//	//	0	//	バー比率	バー倍率
		解説文字あり	//	//	//	//	文字間	//	//	//

フィールド指定	入力チェック指定			
	16	17	18	19~21
バーコード以外	0	0	0	0...
バーコード	バー天地			//
	//			//

バーコード以外のフィールドは16~21桁目は0を指定のこと
バーコードフィールドではバー天地のみ指定のこと

※ “0” は設定できない項目です。

①スタート・ストップ符号のあるバーコード (NW-7・CODE39)

NW-7・CODE39バーコードは、フィールドパラメータの設定では、スタートストップ符号を除いた「データの桁数」を設定します。オンラインデータとして送信の場合は、下記のように送信データの桁数が2桁増えます。

NW-7 d d d d d d

CODE39 d d d d d d

----- フィールド・パラメータの設定桁数

----- 印字データとして送信するデータ

②カレンダーフィールド

プリンタ内蔵のカレンダーを利用する場合、送信データとして、日付は“000”、時刻は“00”を送信してください。

特別な送信データについて

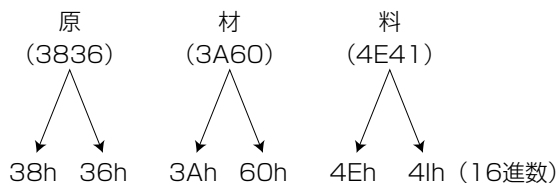
③漢字コードのデータ送信

フィールド指定＝漢字・漢字コード入力の場合は、印字データとしてJIS漢字コードを送信してください。

JIS漢字コード4桁を2桁ずつに分けて指定します。

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ケ	3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	梘	肩	見	謙	賢	軒	遣
	3830	鍵	険	顕	験	鹼	元	原	蔽	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	3840	言	諺	限													

例) 「原材料」と印字したいとき



漢字は1フィールドで16文字まで指定できます。

④CODE128バーコード

オンライン印字では、スタート符号、ファンクション符号を含めたデータ送信で、スタンドアロン時に対応していないCODE128 (Aセット) も利用できます。

- 1: フィールド・パラメータは、CODE128 (Bセット) を指定してください。
- 2: 送信データは、付属のCODE128文字コード表で指定の文字となります。
- 3: 送信データは1フィールドあたり32バイトが最大値となります。
- 4: スタート・コードの省略はできません。
- 5: ストップ・コード、モジュラス103C/Dは自動付加されます。
- 6: バーコード内に制御記号が含まれるため、自動解説文字はできません。

CODE128 (Cセット) のバーコードデータは必ず偶数桁で指定してください。奇数桁の場合印字しませんので注意してください。

3. シリアルインタフェース

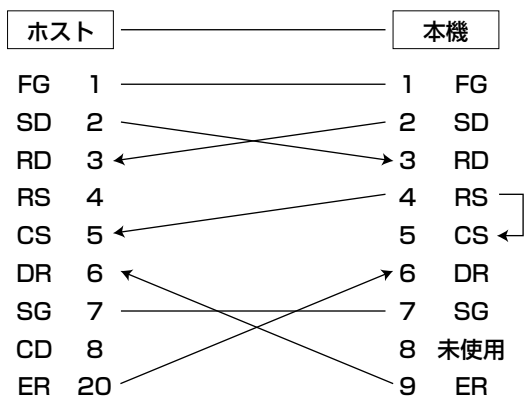
本プリンタのシリアルインタフェースは、RS-232Cに準じます。
各種受信モードは、ユーザーメンテナンスモードで設定できます。

(1) インタフェース仕様

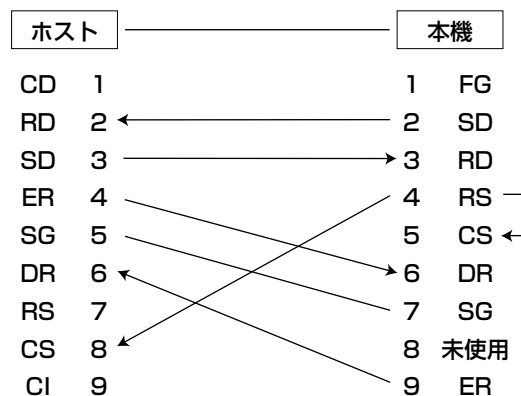
プロトコル	ACK/NAK制御 (1アイテム受信)
通信速度	4800/9600/19200bps (切替可能)
同期式	調歩同期式
キャラクター構成	データビット 8ビットJISコード スタートビット 1ビット ストップビット 1ビット パリティチェック 偶数/奇数/なし (切替可能)
接続コネクタ	プリンタ側 DSUB-9P (相当品) ホスト側 DSUB-25P (相当品) ケーブル長 5m以下
伝送形式	スタート b1 b2 b3 b4 b5 b6 b7 b8 ストップ
信号レベル	Highレベル : +5~+12V Lowレベル : -5~-12V

(2) 結線図

①ホストが25ピンの場合



②ホストが9ピンの場合



結線図の番号は、ピン番号を表しますが、ホスト側は機種により異なることがあります。

(3) 入出力信号の説明

ピン番号	信号名	方向	内 容
1	FG	—	フレームグラウンド
2	SD	出力	プリンタからホスト側に転送するデータ
3	RD	入力	ホスト側からプリンタに転送されるデータ
4	RS	出力	常に“High”レベルとなります。
6	DR	入力	常に“High”を保持してください。
7	SG	—	シグナルグラウンド
9	ER	出力	オンラインモード時に“High”となります。 通常モード時は“Low”となります。

(4) 通信プロトコル

本プリンタのプロトコルは、ACK、NAKを基本としたソフトウェアハンドシェイクによる方式です。本プロトコルでは、下記のコードを制御コードとして使います。

制御コード表

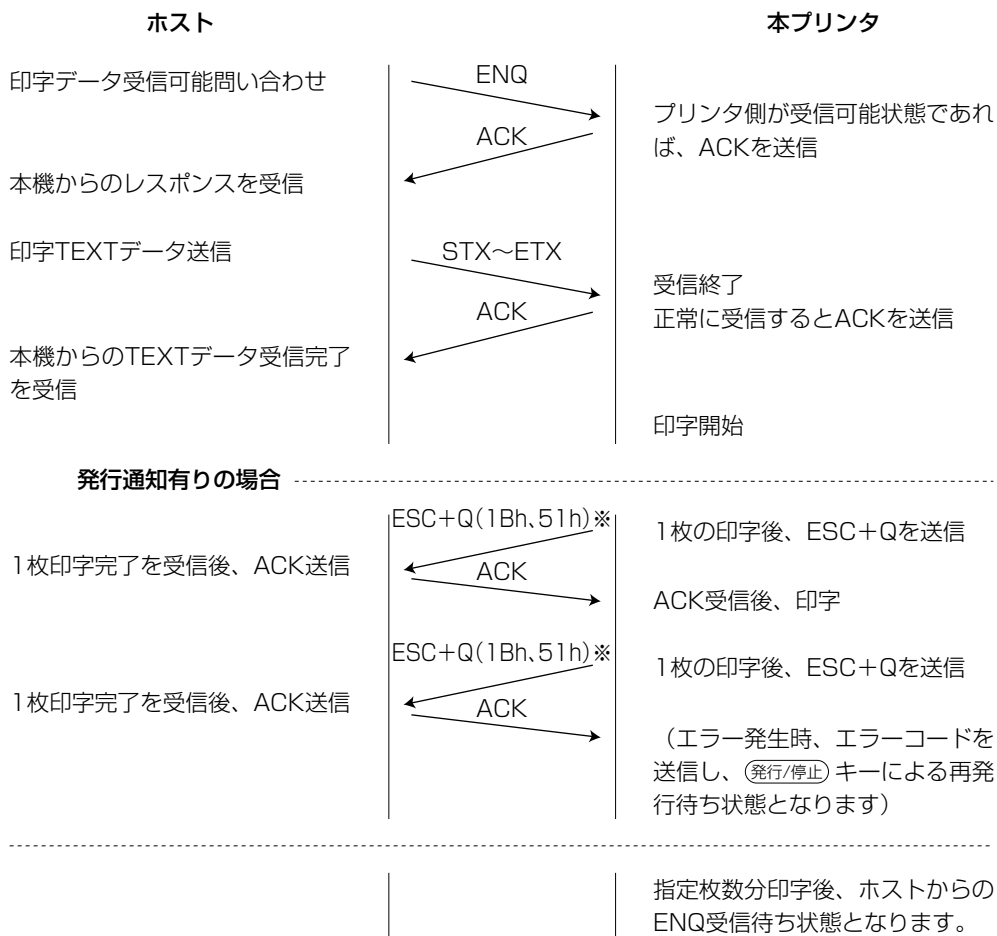
名 称	コード	処 理	仕 様
ENQ	05h	問い合わせ	ホスト→プリンタ
ACK	06h	肯定応答	ホスト↔プリンタ
NAK	15h	否定応答	ホスト←プリンタ
STX	02h	TEXTデータ開始	ホスト→プリンタ
ETX	03h	TEXTデータ終了	ホスト→プリンタ
ESC	1Bh	コマンド指定用	ホスト→プリンタ
ESC “Q”	1Bh 51h	発行管理（1枚発行終了）	ホスト←プリンタ

エラーコード

名 称	コード	処 理	仕 様
ESC “L”	1Bh 4Ch	ローバッテリー	ホスト←プリンタ
ESC “P”	1Bh 50h	ペーパーエンド	ホスト←プリンタ
ESC “H”	1Bh 48h	カバーオープン	ホスト←プリンタ

※発行枚数とエラーコード通知の有無は、プリンタの操作画面（ユーザーメンテナンスモード）「通信設定・発行通知有/無」で設定できます。

(5) プロトコル手順



印字中にENQを受信すると、ホストにNAKを送信します。

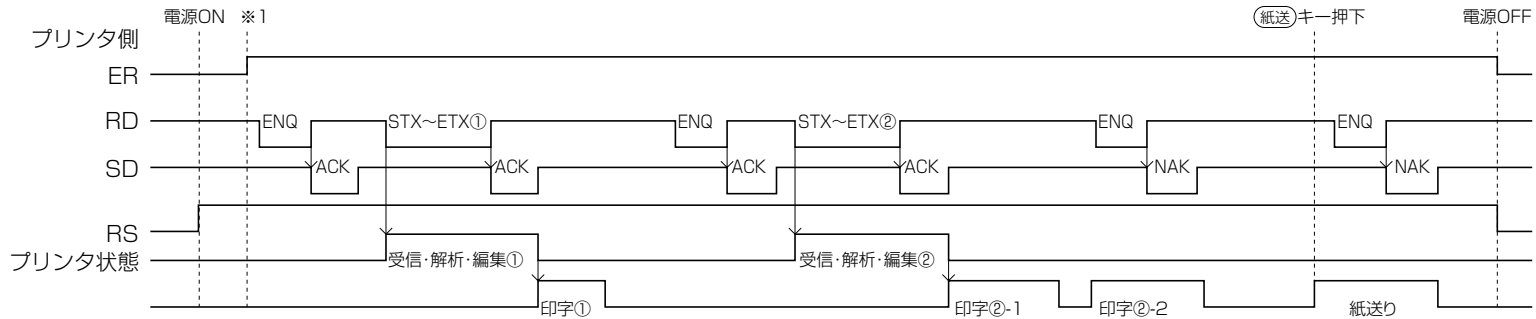
ENQによる受信可能の問い合わせは省略可能です。

※エラーコード返送制御

発行通知有りの設定では、エラー発生時、ESC+Qのかわりにエラーコードを送信します。ESC+Q送信のタイミング以外では、エラーが発生してもエラーコードを送信しません。本機は、ホストにエラーコード送信後、**発行/停止**キー押下による再発行待ち状態となります。(エラーコード受信後のACK送信は必要ありません)

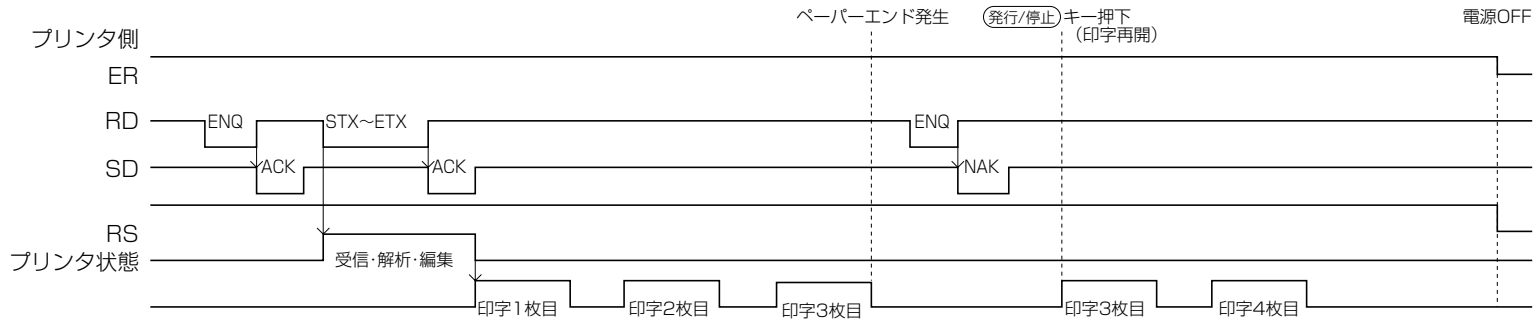
1. 発行通知なしのとき

①通常処理



※1 フォーマット番号70入力後、(登録)キー押下

②エラー処理



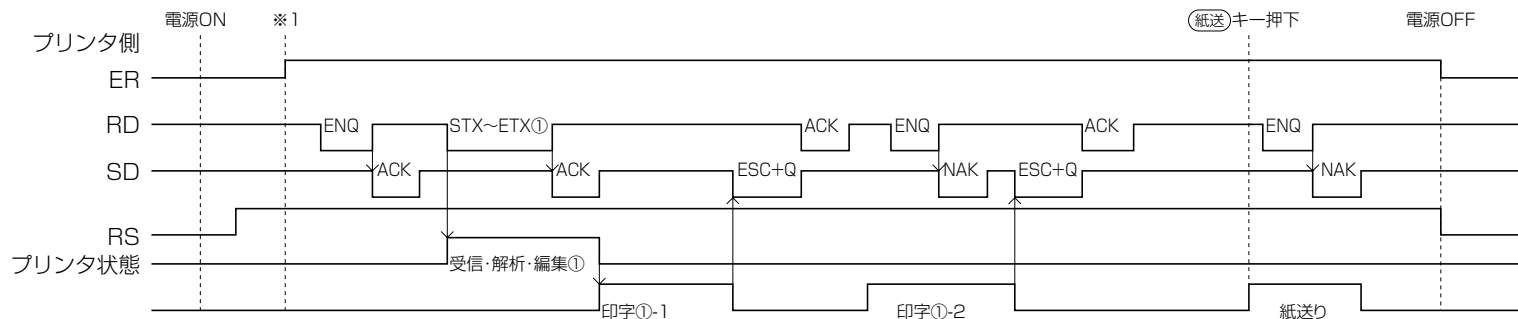
ハード信号による制御は行わず、ソフト手順による通信プロトコルでオンライン受信を行います。

※ペーパーエンド、ピッチエラー発生時もER、RSはHighレベルです。

※受信・解析・情報処理中に(紙送り)キーを押しても無効です。

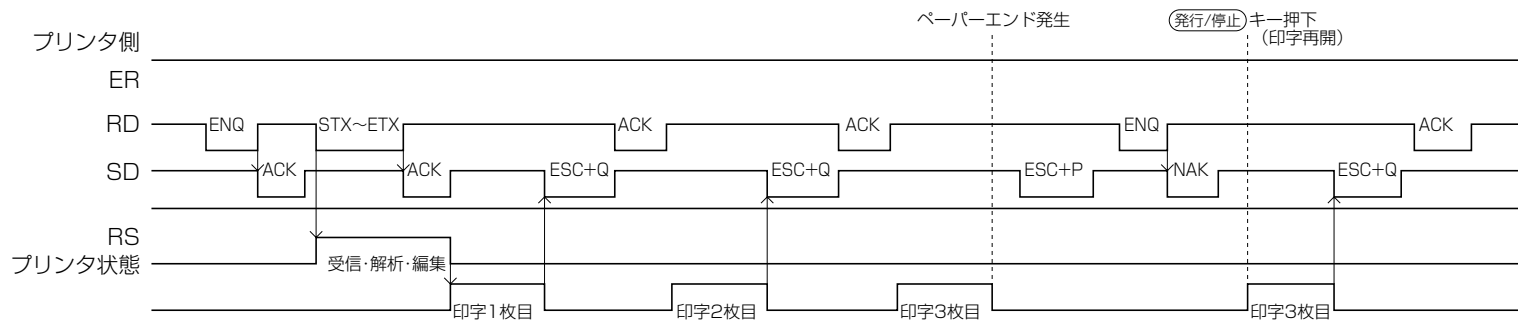
2. 発行通知ありのとき

①通常処理



※1 フォーマット番号70入力後、**登録**キー押下

②エラー処理



ハード信号による制御は行わず、ソフト手順による通信プロトコルでオンライン受信を行います。

※ペーパーエンド、ピッチエラー発生時もER、RSはHighレベルです。

※受信・解析・情報処理中に**紙送り**キーを押しても無効です。

(7) コーディング サンプル

```

100 STX$=CHR$(2) : ETX$=CHR$(3) : ESC$=CHR$(27)
110 OPEN "COM:N81NN" AS #1
120 PRINT #1,STX$;ESC$;"A";
130 PRINT #1,ESC$;"M025322000000";
140 PRINT #1,ESC$;"L01";"102048028030311000000";
150 PRINT #1,ESC$;"D01";"350";
160 PRINT #1,ESC$;"L02";"200034118030411000000";
170 PRINT #1,ESC$;"D02";" ¥1280";
180 PRINT #1,ESC$;"L03";"713086035051302076000";
190 PRINT #1,ESC$;"D03";"4912345678904";
200 PRINT #1,ESC$;"Q0005";
210 PRINT #1,ESC$;"Z";ETX$;
220 A$=INPUT$(1,#1)
230 IF A$=CHR$(6) THEN N=5 : GOTO 240 ELSE 220
240 A$=INPUT$(2,#1)
250 IF A$=ESC$+"Q" THEN 260 ELSE 240
260 PRINT #1,CHR$(6);
270 N=N-1 : LOCATE 0,3 : PRINT USING "QTY=####";N
280 IF N=0 THEN 290 ELSE 240
290 CLOSE #1

```

印字サンプル



補足説明

- (1) 行番号230
 IF A\$=CHR\$(6) : 本プリンタへ送信したデータが正しく受信されたか?
 受信OKの場合 枚数=5をセットし(2)へ
 受信NGの場合 ACK受信待ち
- (2) 行番号250
 IF A\$=ESC\$+"Q" : ラベル1枚発行完了か?
 受信OKの場合 (3)へ
 受信NGの場合 ESC+Q受信待ち
- (3) 行番号260
 PRINT #1, CHR\$(6) : 本プリンタへ応答符号(ACK)送信
 指定枚数印字完了の場合、終了
 残り枚数分印字の場合、(2)へ

4. 無線LANインタフェース

各種無線LANモードの設定は、無線LANインタフェース設定モードで設定できます。

(1) インタフェース仕様

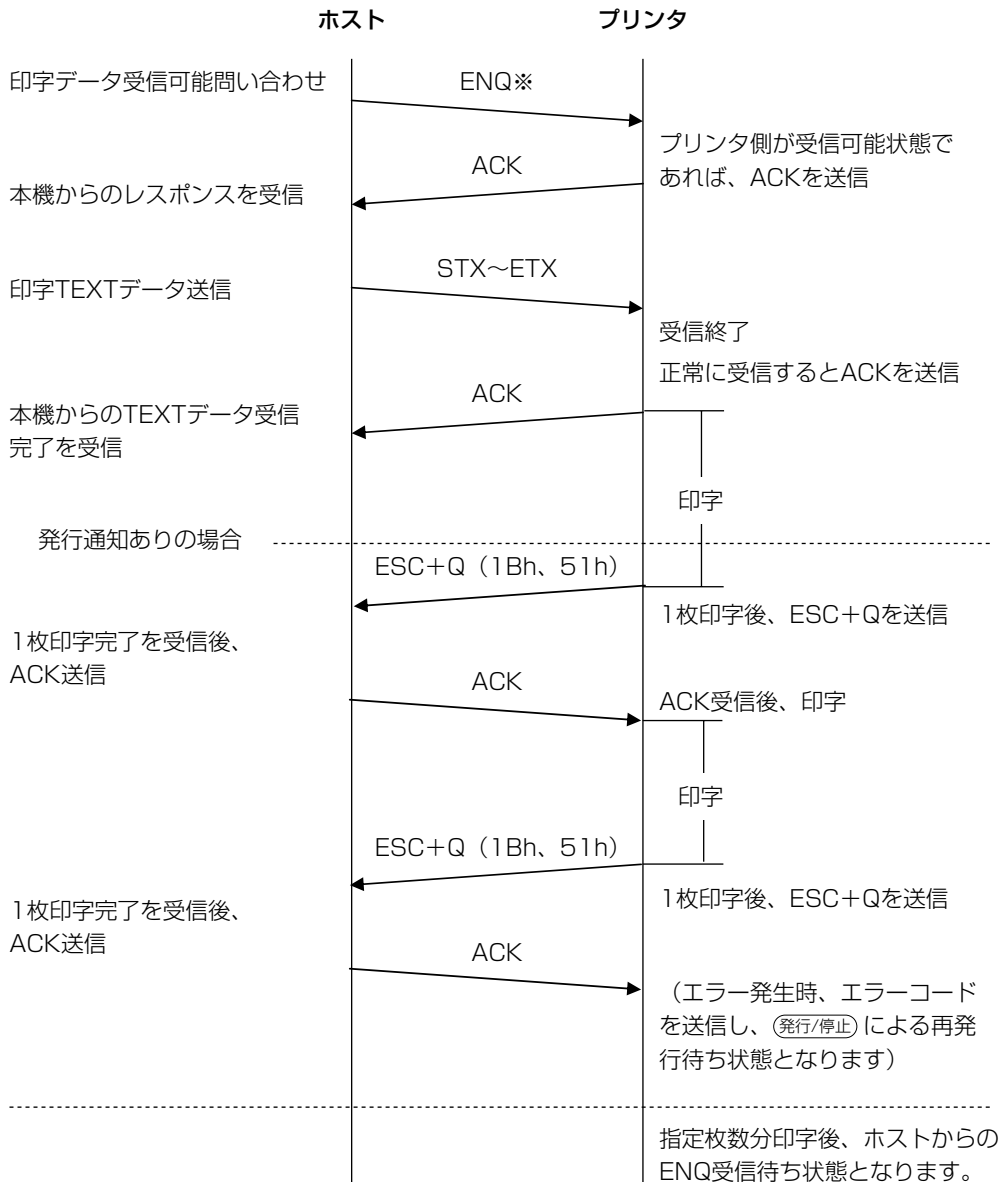
項目	内容
無線LAN規格	<ul style="list-style-type: none">・通信規格 IEEE802.11b/g・周波数帯 2.4GHz・通信速度 最大54Mbps (IEEE802.11b/g)・チャンネル 1~14・接続モード インフラストラクチャ/アドホックモード
無線LANセキュリティ	<ul style="list-style-type: none">・(E)SSID 文字列によるグループ識別・WEP 40/104ビット (最大4件を登録可) WEPキーインデックス: 1~4・WPA-PSK方式 TKIP、AES・IEEE802.1x認証 MD5、PEAP、TLS
対応プロトコル	TCP/IP(ARP、IP、ICMP、UDP、TCP)
対応アプリケーション	FTP(FTPサーバ機能)、Socket
IPアドレス設定方法	手動設定、DHCPによる自動設定
自動接続機能	指定 (E) SSIDのアクセスポイントに自動接続
使用符号	ASCII文字コード JIS漢字コード

(2) 通信プロトコル

シリアルインタフェースの通信プロトコルと同じになります。

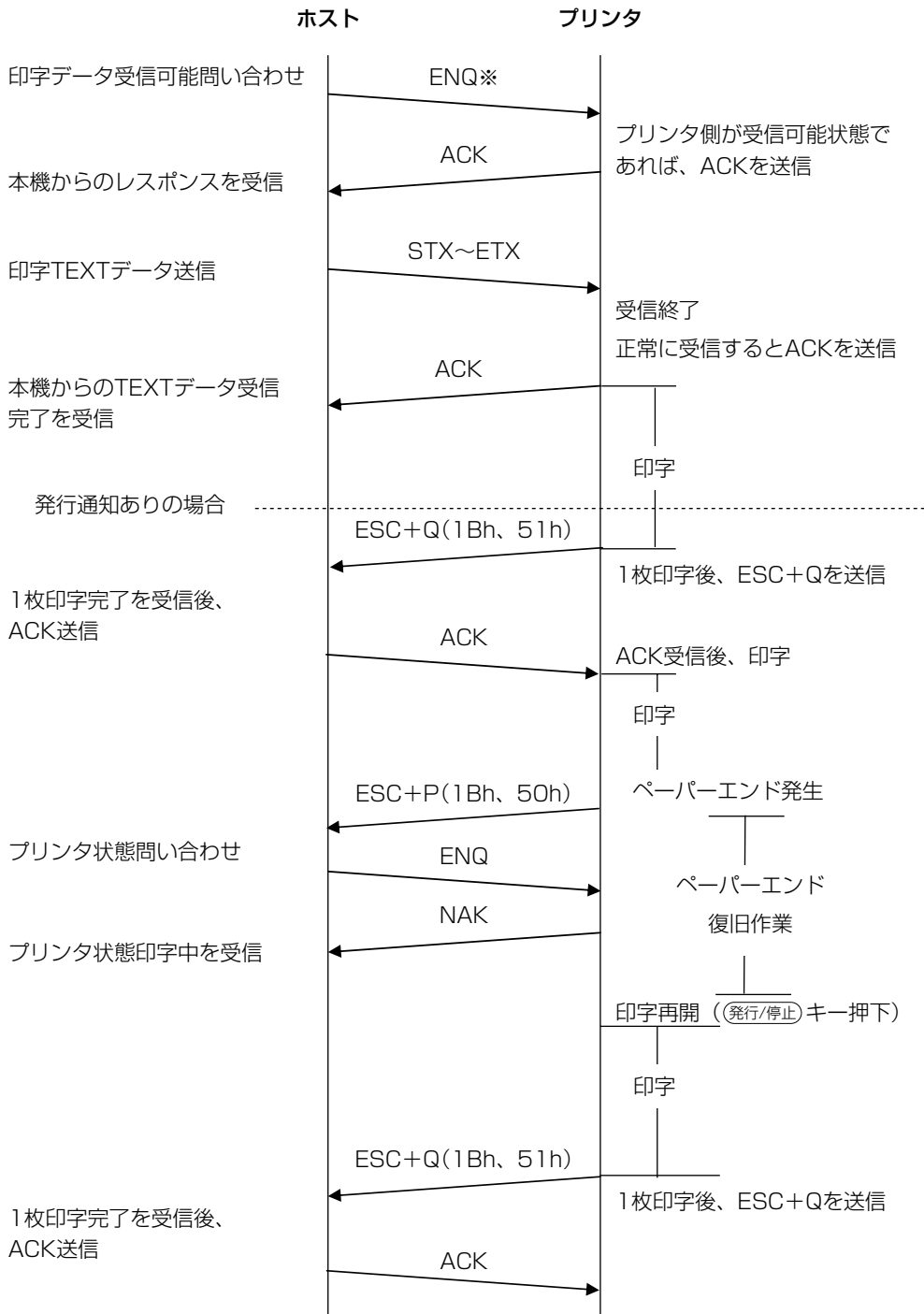
(3) プロトコル手順

①正常動作の場合



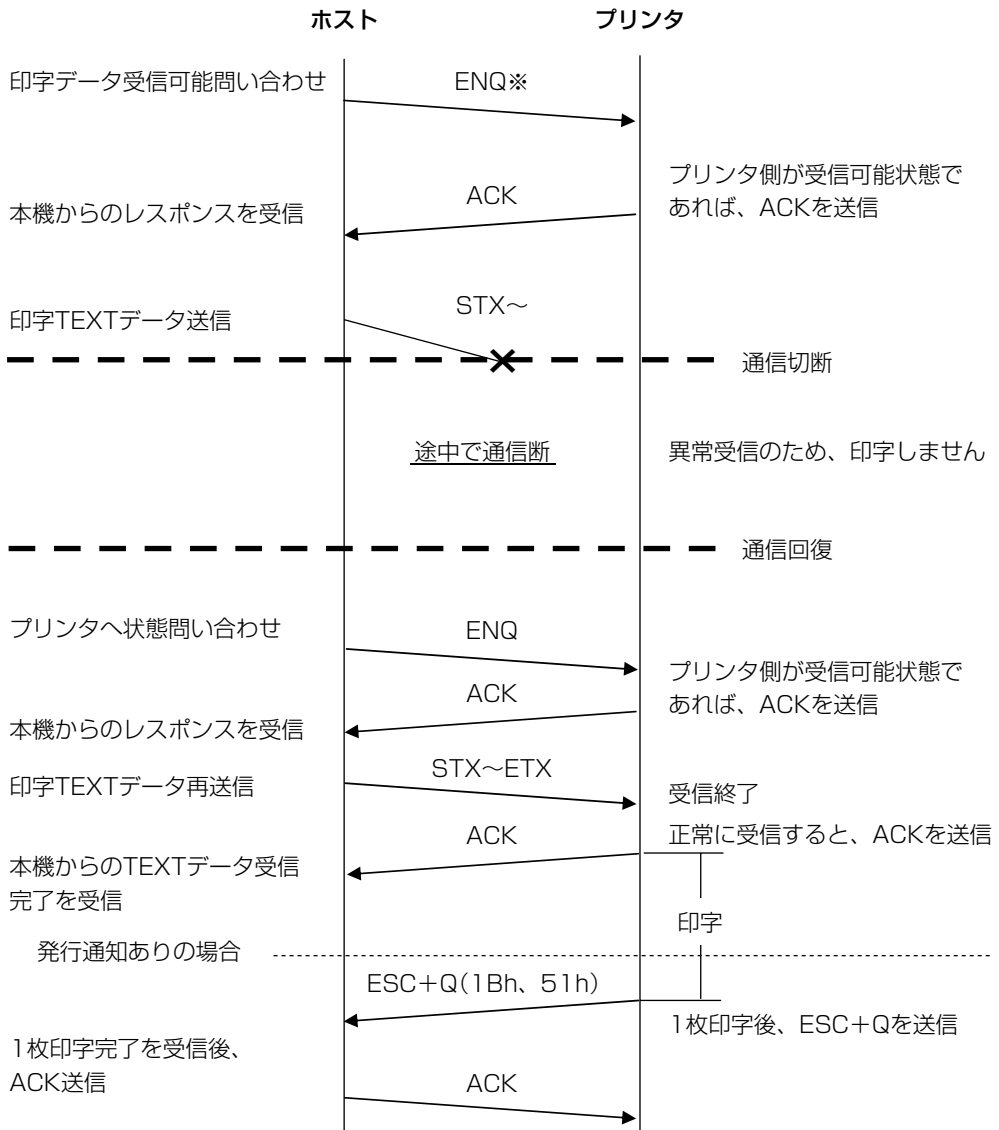
※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

②ペーパーエンド発生の場合



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

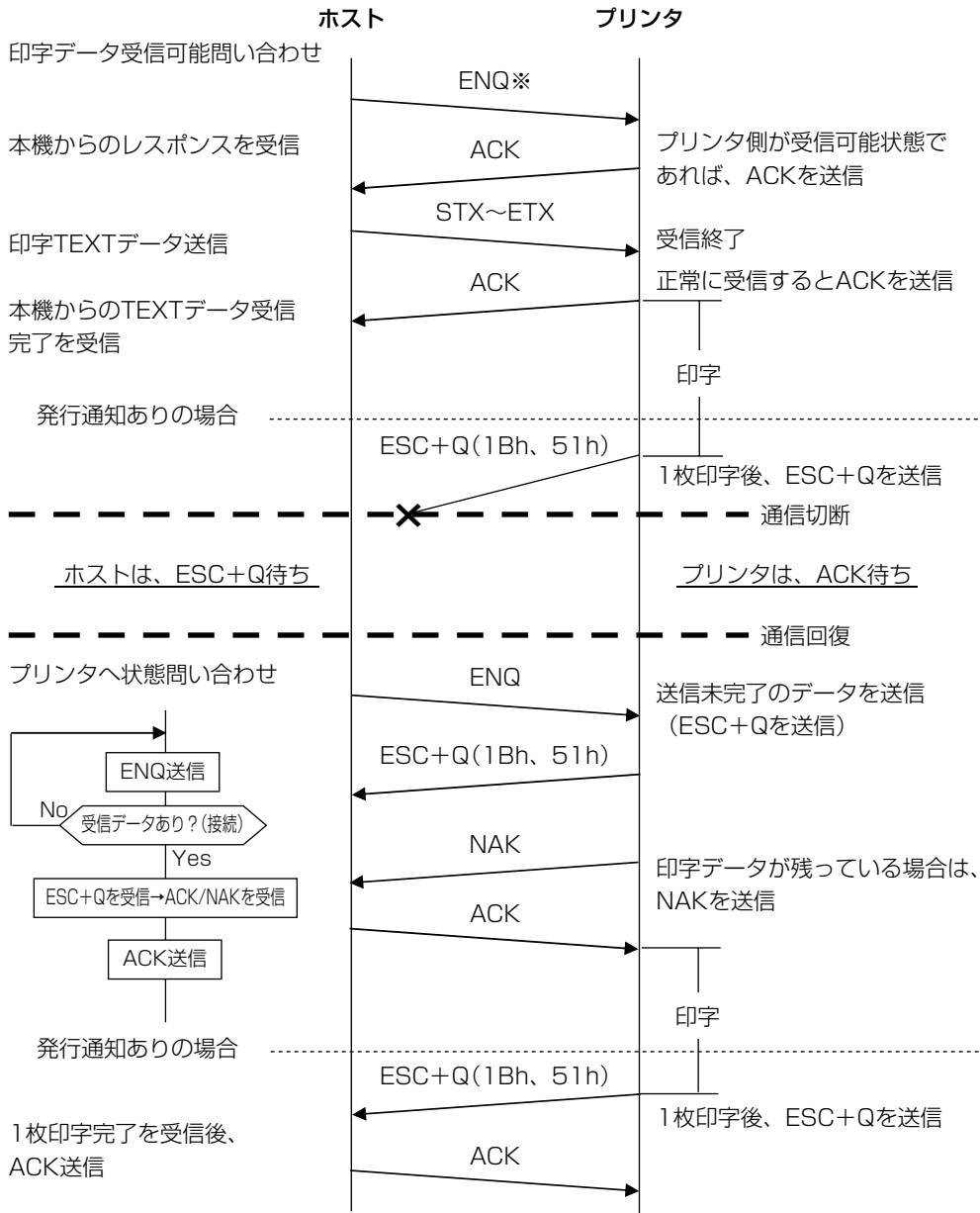
③印字データ受信中に通信の切断が発生した場合



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では、印字データ受信中に通信の切断が発生したため、STX~ETXまでの印字データを正常に受信できず、印字およびACK/NAK返送しません。ホスト側では、印字データ送信後のACK/NAKを受信できなかった場合、ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。ACK/NAKを受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

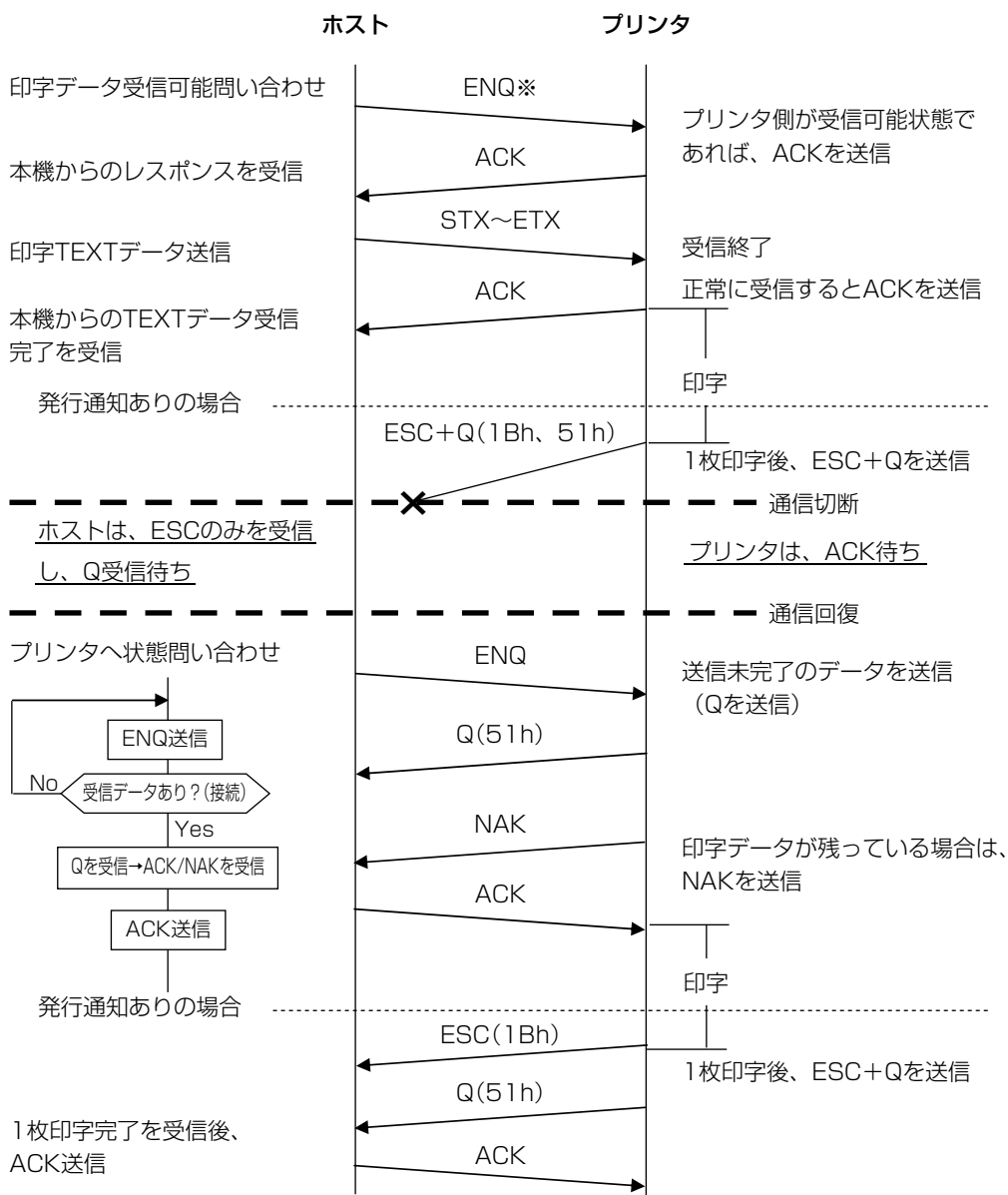
④印字中に通信の切断が発生した場合（ESC+Qが未受信のとき）



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では印字後にESC+Qを送信した状態になっていますが、ホスト側では通信の切断が発生しているため、印字後のESC+Qを受信できません。ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。ESC+Qが受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

⑤印字中に通信の切断が発生した場合（ESC受信、Qが未受信のとき）



※印字データを送信する前に、必ずENQを送信して通信の接続およびプリンタの受信状態を確認してから送信してください。

プリンタ側では印字後にESC+Qを送信した状態になっていますが、ホスト側では通信の切断が発生しているため、印字後のESCのみを受信して、Qを受信できないケースがあります。

ENQを送信してプリンタとの通信の接続を確認してください。

Qが受信できない場合は通信が切断しているため、再接続し、ENQを送信してプリンタの受信状態を確認してからもう一度印字データを送信してください。

5. Bluetoothインタフェース

各種Bluetoothモードの設定は、Bluetoothインタフェース設定モードで設定できます。

(1) インタフェース仕様

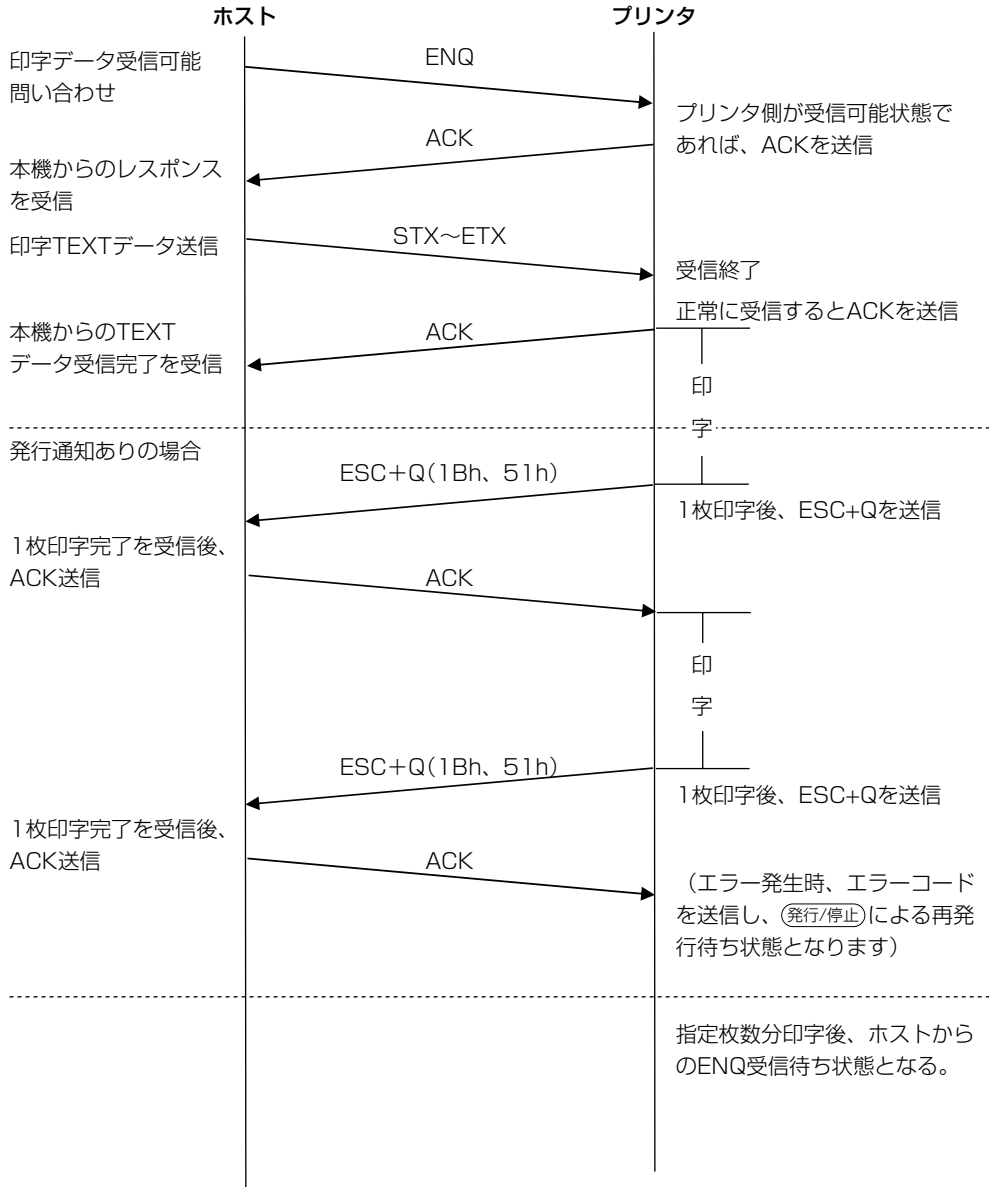
項目	内容	
規格	Bluetooth仕様Ver.1.1 Class 2	
使用プロファイル	Serial Port Profile	
動作モード	スレープモード	
セキュリティモード	レベル1	認証無し
	レベル2-1	PINコード認証、サービスレベル、暗号化なし
	レベル2-2	PINコード認証、サービスレベル、暗号化あり
	レベル3	PINコード認証、リンクレベル
PINコード	16桁のアスキーコード指定	
通信タイムアウト時間	10秒（固定）	
通信リトライ時間	1秒（推奨値）	
使用符号	ASCII文字コード JIS漢字コード	

(2) 通信プロトコル

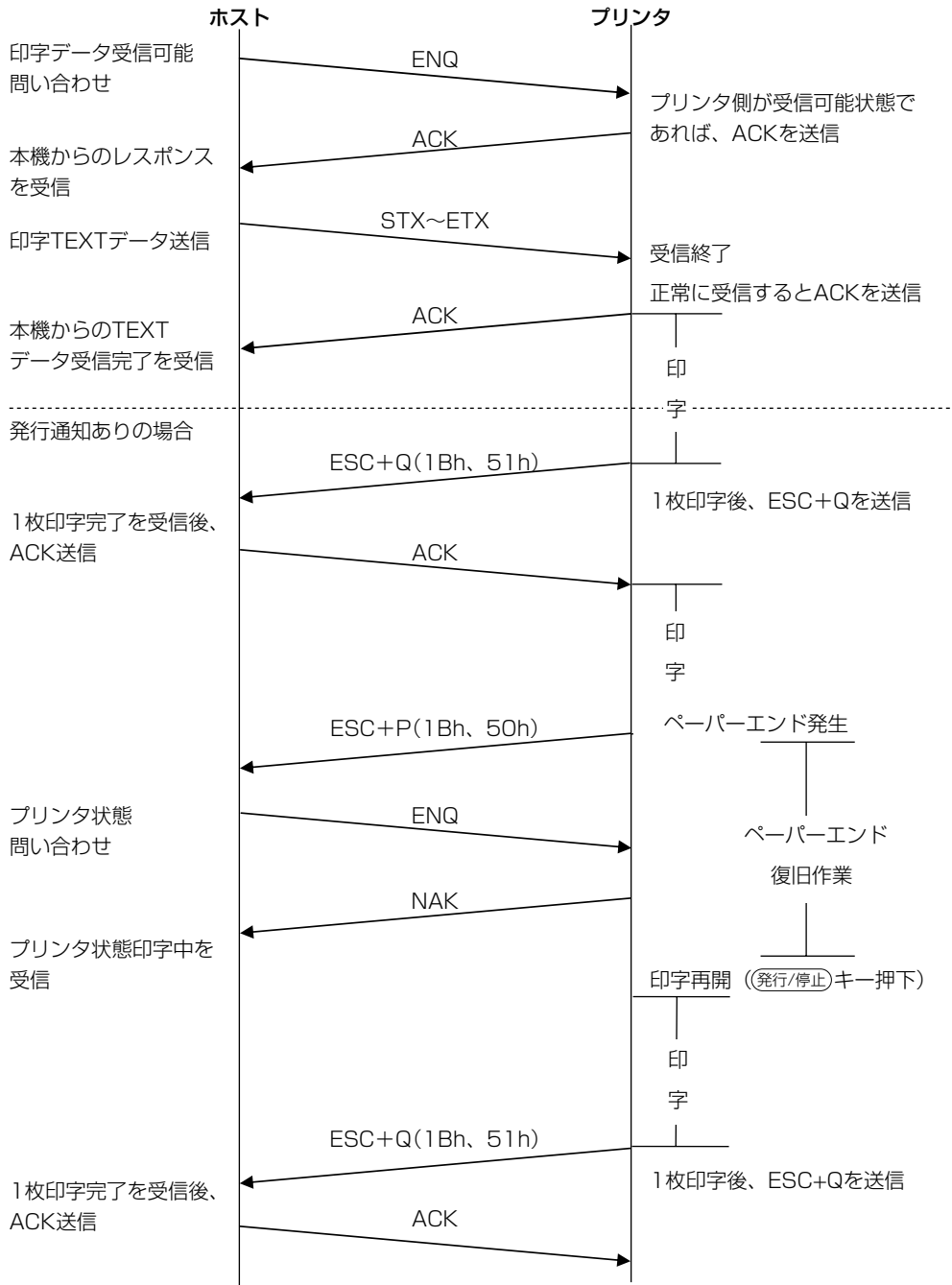
シリアルインタフェースの通信プロトコルと同じになります。

(3) プロトコル手順

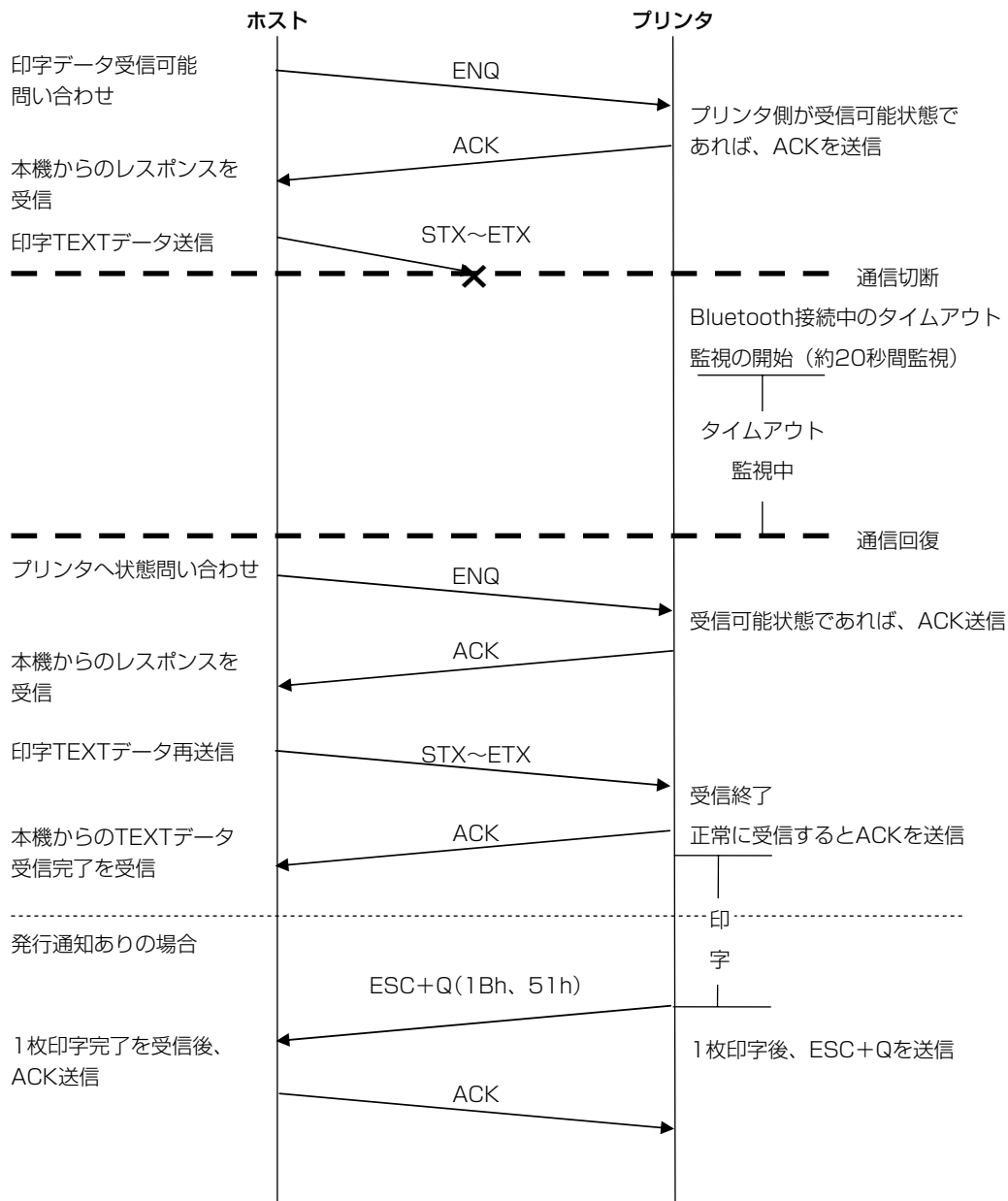
①正常動作の場合



②ペーパーエンド発生の場合

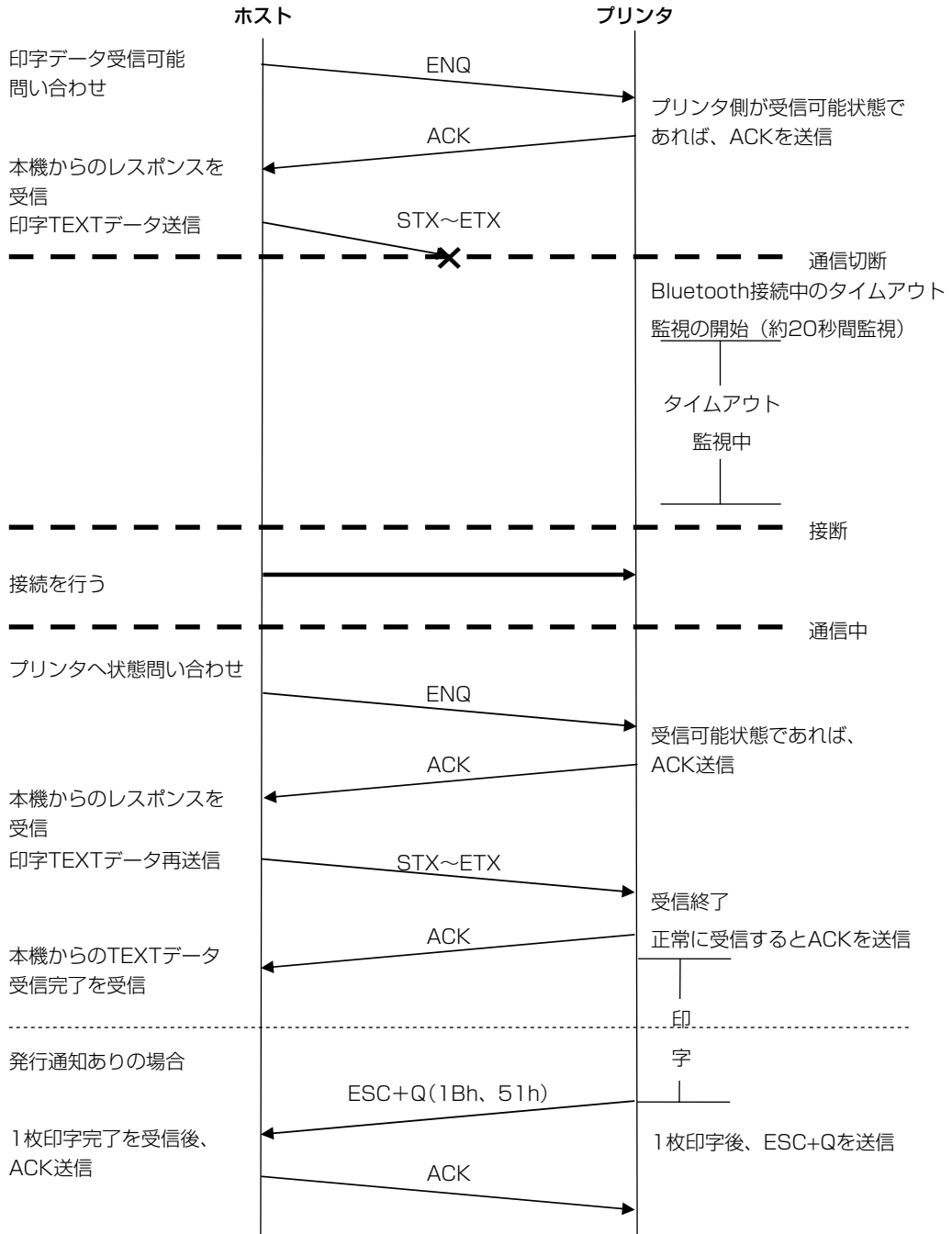


③印字データ受信中に通信の切断が発生した場合
(通信切断後、タイムアウト監視内で通信が復旧したとき)



印字TEXTデータをSTX~ETXまで正常に受信していないため、印字しません。
通信復旧後、ENQ送信にて通信接続を確認し、再度、印字データを送信してください。

④印字データ受信中に通信の切断が発生した場合
(通信切断後、タイムアウト監視外で通信が復旧したとき)



印字TEXTデータをSTX~ETXまで正常に受信していないため、印字しません。
プリンタ側の切断が確立した場合は、ホスト側からプリンタに対して再接続してください。
通信復旧後、ENQ送信にて通信接続を確認し、再度、印字データを送信してください。

文字コード表

各文字種の説明

文字種	サイズ (横×縦)	キャラクタ範囲	印字サンプル
X1文字	20×50ドット	数字 (0~9)、記号 英字 (大文字、小文字)	ABC 123
X2文字	8×20ドット	数字 (0~9)、記号 英字 (大文字、小文字) カタカナ	ABC 123 アイウ
X3文字	13×21ドット	数字 (0~9)、記号 英字 (大文字、小文字) カタカナ	ABC 123 アイウ
OB文字	20×24ドット	数字 (0~9)、記号 英字 (大文字)	ABC 123
価格文字	16×24ドット	数字 (0~9)、¥ カンマ	¥1234567
漢字16	16×16ドット	JIS第1、第2水準	消費期限 年月日 あいう
漢字22	22×22ドット	JIS第1、第2水準	消費期限 年月日 あいう
POP1	28×48ドット	数字 (0~9)、¥ カンマ	¥12345
POP2	48×68ドット	//	¥ 12345
POP3	26×56ドット	//	¥12345

X1文字（横20×縦50ドット）

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P		p								
1	!	1	A	Q	a	q								
2	"	2	B	R	b	r								
3	#	3	C	S	c	s								
4	\$	4	D	T	d	t								
5	%	5	E	U	e	u								
6	&	6	F	V	f	v								
7	'	7	G	W	g	w								
8	(8	H	X	h	x								
9)	9	I	Y	i	y								
A	*	:	J	Z	j	z								
B	+	;	K	[k	{								
C	,	<	L	¥	l	;								
D	-	=	M]	m	}								
E	.	>	N	^	n	~								
F	/	?	O	_	o									

X2文字（横8×縦20ドット）

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P		p				ー	タ	ミ		
1	!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2	"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3	#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4	\$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5	%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6	&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7	'	7	G	W	g	w			ア	キ	ヌ	ラ		
8	(8	H	X	h	x			イ	ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y	i	y			ウ	ケ	ノ	ル		
A	*	:	J	Z	j	z			エ	コ	ハ	レ		
B	+	;	K	[k	{			オ	サ	ヒ	ロ		
C	,	<	L	¥	l	;			ャ	シ	フ	ワ		
D	—	=	M]	m	}			ユ	ス	ヘ	ン		
E	.	>	N	^	n	~			ヨ	セ	ホ	ゝ		
F	/	?	O	_	o				ッ	ソ	マ	。		

X3文字（横13×縦21ドット）

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P		p				ー	タ	ミ		
1	!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2	"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3	#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4	\$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5	%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6	&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7	'	7	G	W	g	w			ア	キ	ヌ	ラ		
8	(8	H	X	h	x			イ	ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y	i	y			ウ	ケ	ノ	ル		
A	*	:	J	Z	j	z			エ	コ	ハ	レ		
B	+	;	K	[k	{			オ	サ	ヒ	ロ		
C	,	<	L	¥	l	!			ャ	シ	フ	ワ		
D	—	=	M]	m	}			ユ	ス	ヘ	ン		
E	.	>	N	^	n	~			ヨ	セ	ホ	ッ		
F	/	?	O	_	o				ッ	ソ	マ	°		

OB文字（横20×縦24ドット）

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0	@	P										
1	!	1	A	Q										
2	"	2	B	R										
3	#	3	C	S										
4	\$	4	D	T										
5	%	5	E	U										
6	&	6	F	V										
7	'	7	G	W										
8	(8	H	X										
9)	9	I	Y										
A	*	:	J	Z										
B	+	;	K											
C	,	<	L											
D	-	=	M											
E	.	>	N											
F	/	?	O											

価格文字 (横16×縦24ドット)
 POP1文字 (横28×縦48ドット)
 POP2文字 (横48×縦68ドット)
 POP3文字 (横26×縦56ドット)

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0												
1		1												
2		2												
3		3												
4		4												
5		5												
6		6												
7		7												
8		8												
9		9												
A														
B														
C	,			¥										
D														
E														
F														

NW-7のコード表

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0												
1		1	A		a									
2		2	B		b									
3		3	C		c									
4	\$	4	D	T	d	t								
5		5	E		e									
6		6												
7		7												
8		8												
9		9												
A	*	;												
B	+													
C														
D	-													
E	.		N		n									
F	/													

CODE39のコード表

	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		0		P										
1		1	A	Q										
2		2	B	R										
3		3	C	S										
4	\$	4	D	T										
5	%	5	E	U										
6		6	F	V										
7		7	G	W										
8		8	H	X										
9		9	I	Y										
A	*		J	Z										
B	+		K											
C			L											
D	-		M											
E	.		N											
F	/		O											

CODE128 文字コード表 (1)

Value	Code A	Code B	Code C
0	SP	SP	00
1	!	!	01
2	"	"	02
3	#	#	03
4	\$	\$	04
5	%	%	05
6	&	&	06
7	'	'	07
8	((08
9))	09
10	*	*	10
11	+	+	11
12	,	,	12
13	-	-	13
14	.	.	14
15	/	/	15
16	0	0	16
17	1	1	17
18	2	2	18
19	3	3	19
20	4	4	20
21	5	5	21
22	6	6	22
23	7	7	23
24	8	8	24
25	9	9	25
26	:	:	26
27	:	:	27
28	<	<	28
29	=	=	29
30	> (注4)	> (注4)	30
31	?	?	31
32	@	@	32
33	A	A	33
34	B	B	34
35	C	C	35
36	D	D	36
37	E	E	37
38	F	F	38
39	G	G	39
40	H	H	40
41	I	I	41
42	J	J	42
43	K	K	43
44	L	L	44
45	M	M	45
46	N	N	46
47	O	O	47
48	P	P	48

CODE128 文字コード表 (2)

Value	Code A	Code B	Code C
49	Q	Q	49
50	R	R	50
51	S	S	51
52	T	T	52
53	U	U	53
54	V	V	54
55	W	W	55
56	X	X	56
57	Y	Y	57
58	Z	Z	58
59	[[59
60	\	\	60
61]]	61
62	^	^	62
63	_	_	63
64	NUL >SP	>SP	64
65	SOH >!	a >!	65
66	STX >"	b >"	66
67	ETX >#	c >#	67
68	EOT >\$	d >\$	68
69	ENQ >%	e >%	69
70	ACK >&	f >&	70
71	BEL >'	g >'	71
72	BS >(h >(72
73	HT >)	i >)	73
74	LF >*	j >*	74
75	VT >+	k >+	75
76	FF >.	l >.	76
77	CR >-	m >-	77
78	SO >.	n >.	78
79	SI >/	o >/	79
80	DLE >0	p >0	80
81	DC1 >1	q >1	81
82	DC2 >2	r >2	82
83	DC3 >3	s >3	83
84	DC4 >4	t >4	84
85	NAK >5	u >5	85
86	SYN >6	v >6	86
87	ETB >7	w >7	87
88	CAN >8	x >8	88
89	EM >9	y >9	89
90	SUB >:	z >:	90
91	ESC >:	{ >:	91
92	FS ><	><	92
93	GS >=	} >=	93
94	RS >>	~ >>	94
95	US >?	DEL >?	95
96	FNC3 >@	FNC3 >@	96
97	FNC2 >A	FNC2 >A	97

CODE128 文字コード表 (3)

Value	Code A	Code B	Code C
98	SHIFT >B	SHIFT >B	98
99	Code—C >C	Code—C >C	99
100	Code—B >D	FNC4 >D	Code—B >D
101	FNC4 >E	Code—A >E	Code—A >E
102	FNC1 >F	FNC1 >F	FNC1 >F

103	START CODE A >G
104	B >H
105	C >I

注意

1. STARTコードは必ず、送信してください。
2. STOPコードはプリンタ内部で自動付加します。
3. Code A、Code BにおけるValue64以上のコードは>が付加された2文字コードとして指定してください。
4. 「>」の指定コードは、「>J」とします。

マニュアル発行時の入力可能文字

CODE128 (Bセット)

SP	0	@	P
!	1	A	Q
"	2	B	R
#	3	C	S
\$	4	D	T
%	5	E	U
&	6	F	V
'	7	G	W
(8	H	X
)	9	I	Y
*	:	J	Z
+	;	K	
.	<	L	
-	=	M	
.	>	N	
/	?	O	

SP : スペース

CODE128 (Cセット)

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

※CODE128 (Cセット) のデータは必ず、偶数桁で指定してください。

パラメータ定義表

フォーマット番号【 】

用紙サイズ (mm)

縦		横	
---	--	---	--

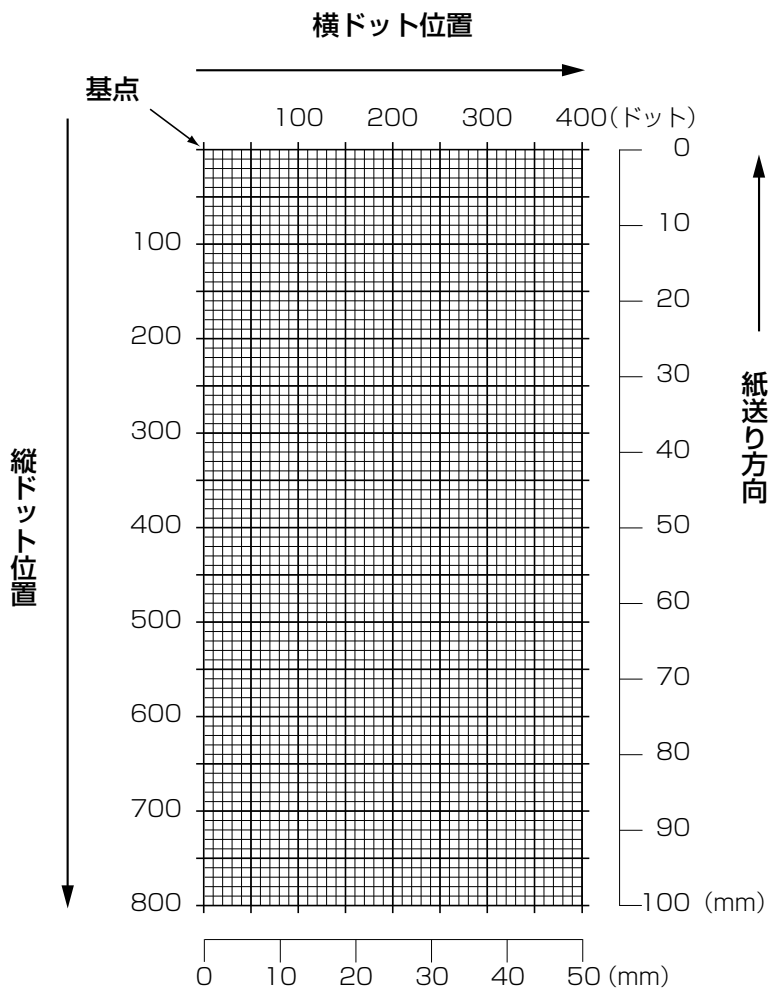
フィールドNo		項目名		01:フィールド指定	
02		03		04:縦位置	07:横位置 10:回転
11		12	14	15	16 17
18		19		20	21 22:コピー
23:コピー先1フィールドNo		25:コピー先1桁位置		27:コピー先2フィールドNo	
29:コピー先2桁位置		固定データ			

フィールドNo		項目名		01:フィールド指定	
02		03		04:縦位置	07:横位置 10:回転
11		12	14	15	16 17
18		19		20	21 22:コピー
23:コピー先1フィールドNo		25:コピー先1桁位置		27:コピー先2フィールドNo	
29:コピー先2桁位置		固定データ			

フィールドNo		項目名		01:フィールド指定	
02		03		04:縦位置	07:横位置 10:回転
11		12	14	15	16 17
18		19		20	21 22:コピー
23:コピー先1フィールドNo		25:コピー先1桁位置		27:コピー先2フィールドNo	
29:コピー先2桁位置		固定データ			

フィールドNo		項目名		01:フィールド指定	
02		03		04:縦位置	07:横位置 10:回転
11		12	14	15	16 17
18		19		20	21 22:コピー
23:コピー先1フィールドNo		25:コピー先1桁位置		27:コピー先2フィールドNo	
29:コピー先2桁位置		固定データ			

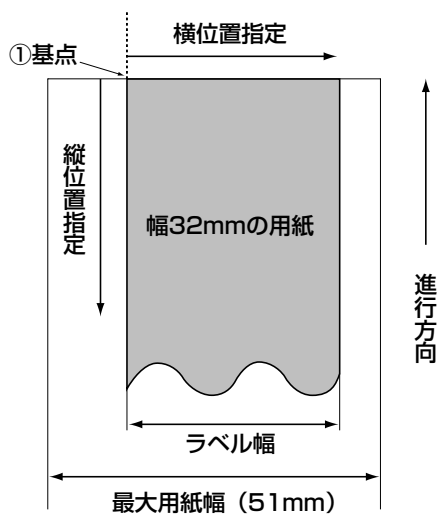
印字位置目安表



右図のように、幅32mmの用紙を使う場合でも、基点は①のようになります。

縦位置は基点から縦方向のドット位置
横位置は基点から横方向のドット位置

※1ドット=0.125mm
(8ドット=1mm)



データ格納件数

下記一覧表は、各データの最大登録件数です。

モード	データ名	本体・カード	登録件数
固定モード	プリセット	本体	2500件
		PCカード	2500件
フリーモード	印字パラメータ	本体	15件
	漢字テーブル	本体	800件 ×2 (16桁)
	添加物テーブル	本体	500件 (16桁)
	店名テーブル	本体	20件
			店名 (20桁)
			住所 (30桁)
			電話番号 (20桁)
	プリセット	本体	30フィールド : 100件
			20フィールド : 200件
			10フィールド : 400件
PCカード		30フィールド :	250件 (256Kbyte)
			1000件 (1Mbyte)
			2000件 (2Mbyte)
		20フィールド :	400件 (256Kbyte)
			1600件 (1Mbyte)
			3200件 (2Mbyte)
10フィールド :	800件 (256Kbyte)		
	3200件 (1Mbyte)		
	6400件 (2Mbyte)		

各テーブル登録件数の () 内は、1テーブルのデータ桁数を表します。

プリセット登録件数の () 内は、PCカードの容量を表します。

基本仕様

印字方式	ダイレクトサーマル方式
印字密度	8本/mm
印字有効範囲	最大 幅48mm×ピッチ96mm 用紙の上下2mm、左右端 1.5mmは印字不可領域。 但し、印字有効範囲の幅が48mmのため、ラベルサイズの幅が51mm以上のラベルでは、左右端の印字不可領域が1.5mmより大きくなる場合があります。
印字速度	60、80mm/S (2段階で切り替え可能) バッテリー使用時は60mm/S 但し、用紙の種類によっては調整が必要
用紙	当社製、純正用紙を必ずお使いください。
紙厚	0.14mm~0.19mm
形状の種類	ロール紙
ラベルサイズ	幅 28~ 58mm (最大) ピッチ 16~103mm (最大) 但し、使用条件によってサイズを規制する場合があります
収容枚数 ロール紙	最大外形 Φ75mm
ラベル発行	連続、ハクリ
外部インタフェース	オンライン受信用 RS-232C スキャナ接続用 RS-232C
オプション	無線LAN (通信規格: IEEE802.11b/g) (通信プロトコル: TCP/IP) Bluetooth (Ver1.1)
寸法 重量	W132×D230×H151mm バッテリー装着時: 約2.4kg 電源ユニット装着時: 約2.5kg
【電源】 入力電圧	バッテリーまたは電源ユニット 電圧 8.4V±10%
環境条件	動作周囲温度 5~40℃ 湿度 30~80% 但し、結露無きこと 保存周囲温度 -5~60℃ 湿度 30~90% 但し、結露無きこと 用紙環境は除く
操作パネル スイッチ LCD	(設定) (前画面) (呼出) (シフト) (登録) (←) (AC) (0)~(9) (機能1) (機能2) (セット) (紙送) (発行/停止) (目付) (削除) (↑) (↓) (←) (→) かな漢字変換機能付き 漢字表示時 8桁×3行 英数・カナ表示時 16桁×3行 バックライト付
調整用ボリューム	VR1: ハクリ停止位置 VR2: 印字位置調整 VR3: アイマークセンサレベル VR5: 漢字LCD輝度調整

印字フォーマット	データ入力、及び、オンライン受信によるフリーフォーマット
収容文字種 標準	X1文字 : 横20×縦50ドット (英数、記号) X2文字 : 横 8×縦20ドット (英数、カナ、記号) X3文字 : 横13×縦21ドット (英数、カナ、記号) OB文字 : 横20×縦24ドット (数字、英大文字) 価格文字 : 横16×縦24ドット (数字、¥、カンマ) POP1文字 : 横28×縦48ドット (数字、¥、カンマ) POP2文字 : 横48×縦68ドット (数字、¥、カンマ) POP3文字 : 横26×縦56ドット (数字、¥、カンマ) 漢字 角ゴシック 16×16、22×22ドット 第一、第二水準 文字拡大倍率: 縦/横 1~4倍 (POP文字は1~3倍)
バーコード 標準	JAN8、JAN13 (EAN) NW7 INTERLEAVED 2of5 CODE39 UPC-A/E CODE128 (Bセット、Cセット/制御符号を除く)、UPCアドオン ※オンライン発行時Aセットも可
2次元コード	QRコード (モデル2) 全角・半角混在可能 最大244バイト
バーコード比率	1 : 2、1 : 2.5、1 : 3
細バー幅	2L (0.25mm)、3L (0.375mm)、4L (0.5mm) バー比率1 : 2.5は2Lと4Lのみ
回転	パラレル1、シリアル1、パラレル2、シリアル2 但し、バーコードは、パラレル1、パラレル2
ユーザーモード設定	1 .印字濃度 2 .印字速度 3 .オートパワーオフ設定 4 .起動画面設定 5 .通信速度 6 .パリティビット 7 .オンライン発行通知 8 .固定フォーマット設定 9 .カレンダー設定 10.カレンダー時変更 11.ヘッドチェック 12.キー入力音 13.モード設定 14.通信種別 (RS-232C、無線LAN、Bluetooth) 15.LCD節電設定
自己診断機能	カバーオープン ペーパーエンド ヘッドチェック テスト印字 バッテリーチェック メモリバックアップ電池チェック PCカード電池チェック
ノイズ規格 放射ノイズ	VCCI クラスA
オプション	標準バッテリー、容量アップバッテリー、 標準バッテリーチャージャ、容量アップバッテリーチャージャ、SRAMカード 外部巻き取り機、外部供給装置、タッチスキャナ、 RS-232Cケーブル、RS-232C延長ケーブル、無線LANインタフェース、 Bluetoothインタフェース



DCS & Labeling Worldwide

株式会社 サトー



Q01863000